



# ウエイトリフティング



2006 No. 93



# 熱戦！秋の団体戦四大会

【女子インカレ】

9月16日～18日 電子スポーツセンター

早稲田大学が僅差で日本体育大学を破り初優勝！

平成17年度

第32回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会

第6回全日本大学対抗女子ウエイトリフティング選手権大会



【国民体育大会】

10月23日～26日 岡山県倉敷市

沖縄県が地元岡山県をかわし

3年振り9度目の天皇杯獲得！！



# 真の団体日本一はどこ?!

【男子インカレ】 11月19日~20日 男子スポーツセンター  
日本大学が法政大学に2点差を付けて逆転勝ち!  
2年ぶり13回目の優勝を飾る!



【社会人大会】 11月25日~27日 兵庫県明石市  
自衛隊体育学校が他を寄せ付けず“4年連続  
30回目”の内閣総理大臣杯を受賞!!



# 目次

“グラビア写真”「2005年熱戦秋の団体戦四大会」		1
「巻頭言」	副会長 桜井 勝利	4
第13回日・韓・中ジュニア交流競技会報告	野呂記代志	5
ジュニア交流競技会に参加して	団長 舟喜 信生	6
第6回女子インカレ大会を終了して	岡本 実	11
女子インカレ団体優勝して	岡田 純一	14
第37回アジア選手権大会報告	武井多加志	17
第50回全日本学生新人選手権大会報告	加藤 智子	21
第60回国民体育大会	菊池 俊美	25
2005第4回東アジア競技会報告	西澤 勝美	30
2005年世界選手権大会終了報告	浅田 浩伸	33
第51回男子インカレ大会報告	小平 紀生	37
インカレ団体優勝への思い	難波 謙二	40
第42回全日本社会人選手権大会		
◆のじぎく兵庫国体記念杯を終了して	小高 正宏	41
2005年インターナショナルフレンドシップトーナメント報告	原 徹	45
平成17年度公認スポーツ指導者講師研修会	小栗 和成	48
高校紹介～「愛媛県立新居浜工業高校」	浅野 泰典	55
《公認記録表》		
第32回東北総合体育大会記録から		59
?		?
2005年インターナショナルフレンドシップトーナメント大会記録まで		83

## 表紙写真：国体団体表彰式。優勝の沖縄県選手団

10月23日から26日までの間、白壁の街「岡山県倉敷市」で開催された第60回国民体育大会は、沖縄県が地元岡山県チームを振り切って、3年ぶり9回目の優勝を飾った。

# 巻頭言



日本ウエイトリフティング協会  
副会長 櫻井 勝利

第28回アテネ五輪大会は、日本五輪史上最多の37個のメダル獲得する日本選手の活躍は、国民の夢と感動を与えてくれました。それから早や2年目となる2006年を迎え、本年は、北京五輪に向かつての正念場といえよう。当協会も選手強化委員会が中心となって競技力向上トータルシステムの構築に向け鋭意努めており、ジュニアからトップレベルまで、一貫した指導を実現するための指導者育成プログラム、「ナショナル・トレーニングシステム」を推進しているところでもある。

一貫指導とは、指導理念や内容・カリキュラムが継続的、かつ一貫しておこなわれることが重要であることは、御承知のとおりである。日本の環境を考えると、年間を通じてトレーニングキャンプを实践して、選手の育成強化を図ることは物理的に不可能である。本年は、北京五輪男女出場枠を獲得するための戦いが始まる。

日本の環境で効果的な競技力向上を図る方策としては、五輪候補選手が所属する機関・クラブ等の指導者との連携を図り、各個人に応じた指導カリキュラムが共有され、ナショナル合宿時も日頃の所属トレーニング拠点における活動も反映されることが大切であると思う。アテネ五輪の反省を踏まえ、一人でも多くの出場枠獲得を果たすためにも、2006年は極めて重要な年といえよう。

次に、協会の基本方針にある生涯スポーツ振興策について考えてみたい。21世紀のスポーツを体系的、計画的に推進するため、2000年9月（当時文部省）は、スポーツ振興計画を策定、生涯スポーツに関する政策目標として、次の2点をあげている。

①国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、関心に応じて、いつでも、どこでもいつまでもスポーツができる生涯スポーツができる生涯スポーツ社会を実現する。

②その目標として、出来る限り早期に成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人となることを目指す。

この政策目標のための必要不可欠である施策として、日常的にスポーツを行う場として期待されている総合型地域スポーツクラブ（以下「クラブ」という。）の全国展開を最重点施策としている。そして、このクラブの全国展開の到達目標として、2010年までに全国各市町村において少なくとも1つはクラブ育成を目指しているものである。

スポーツ振興計画が策定されてから、本年は6年目を迎え、現在、各都道府県体育協会、自治体、関係諸団体等がこのクラブの育成、設立に向けて、諸準備に取り組んでいます。しかし、地域住民が、自らのスポーツ活動の環境を地域で主体的に創り出すという意識や地域スポーツ団体の間においても、クラブの意義、必要性が十分認識されていないのが現状である。全国のウエイトリフティングの指導者には、このクラブについての研鑽に努め、クラブの創設、育成や指導・運営面で強力・支援していくことが求められている。そして、クラブにウエイトリフティング「多世代の仲間」が集う一種目として定着することは競技の普及振興及び競技力向上の一貫指導を進める基盤整備に繋がるものと確信するものである。

2006年が、ウエイトリフティング界にとって飛躍の年となるよう祈念したい。

## 第13回日・韓・中ジュニア交流競技会北海道大会



第1日目(午前)男子 56・62・69・77 kg級 選手紹介

### <日本選手団>

男子 56kg 江本 (倉敷商) 204 (90-114) 3位	85kg 平原 (埼玉栄) 261 (121-140) 3位
62kg 黒江 (田村高) 235 (100-135) 3位	94kg 川畑 (加悦谷) 265 (115-150) 2位
69kg 三谷 (加悦谷) 252 (110-142) 3位	105kg 山内 (加悦谷) 255 (105-150) 3位
77kg 谷崎 (名城大) 255 (115-140) 3位	+105kg 大西 (多度津工) 260 (115-145) 2位
女子 48kg 竹下 (加悦谷) 150 (66-84) 2位	69kg 吉見 (須磨友が丘) 131 (58-73) 3位
53kg 狩俣 (宮古農林) 151 (68-83) 2位	75kg 井上 (四日市中央工) 165 (70-95) 3位
58kg 金城 (豊見城) 157 (69-88) 1位	+75kg 嶋本 (和歌山東) 0 (0-0)
63kg 盛島 (豊見城) 155 (70-85) 3位	

2005年度日・韓・中ジュニア交流競技会は日本開催(北海道札幌市)が決定しており、予定通り8月24日、ロイトン札幌において陸上・サッカー・テニスなど全11競技の開会式がおこなわれ、ウェイトリフティング競技は男女とも26・27日の2日間の日程で、札幌市西区体育館においておこなわれた。滅多に見られない高校生の国際大会とあって、ハイレベルな戦いに地元の観客を大いに唸らせた。特に中国と韓国の戦いは、親善試合とは思えない熱い戦いが繰り広げられ、大変印象深いものとなった。結果的には韓国の男子5階級・女子1階級・合計6階級に対し、中国が男子3階級・女子5階級・合計8階級を制覇し、中国が一步リードする形となったが、内容としては男子の韓国、女子の中国という印象が強い。一方、インターハイ直後という厳しいコンディションの中であったが、日本選手の中で唯一優勝した女子58kg級の金城尚乃選手や、接戦を演じ準優勝の48kg級の竹下菜緒選手など、日本選手団も大変よく健闘して大会を盛り上げてくれた。

この競技会は日・韓・中3カ国のジュニアの交流事業ということで、3カ国の友好と親善を目的としてスタートし、今日を迎えるに至ったが、13回という長い歴史の間には、「親善」を目的とする主催者と「競技会」としての充実を願う競技団体との考え方の違いが明確に現れるようになってきた。

実際に運営にあたる地方の体育協会と競技団体が、互いに協力し合い少しでも普及につなげられるよう、また選手のために少しでも良い大会運営ができるよう、できるだけ早く見解が統一されることを期待したいところです。

報告者 普及委員会 野呂 記代志

## 第13回 日・韓・中ジュニア交流競技会に参加して

団 長 舟 喜 信 生

日本体育協会主催による、第13回日・韓・中ジュニア交流競技会は、国際親善と競技力の向上を目的に、平成17年8月24日～27日の間、北海道札幌市を中心に開催されました。3カ国の高校生、約1000名が、陸上やサッカーなど11競技種目に別れ、熱戦を繰り広げました。

選手は、24日に現地入りし、参加者が一同に会して開催された開会式に臨みました。式では、森喜朗日本体育協会会長をはじめ、北海道知事他多数の来賓が出席され選手を激励下さいました。

ウエイトリフティング競技会は、26日・27日の二日間、札幌西区体育館で開催されました。選手団は、川畑勉男子監督・平良真理女子監督・中川卓コーチ、選手は、男子が全国高校選抜大会の優勝者、女子は全国高校選手権大会優勝者を中心に15名を選考し大会に臨みました。女子の竹下選手以外は、初めての日本代表選手ということで緊張した面もちで集合しましたが、JAPANのユニフォームに身を包むと、チームとして連帯感が芽生え、打ち解けた事ができて結束が深まり良い雰囲気で大いに臨むことができました。各選手とも、全国大会直後でコンディションは万全ではありませんでしたが、初の国際大会ということで張り切って試技を行い、平均試技数が4試技と、まずまずの試合運びができたと思います。試合結果は、個人の優勝が女子58kg級の金城選手ひとりで、残念ながら中国、韓国にはかないませんでした。しかし、選手は互いの交流をとおして、大会前に抱いていた「中国・韓国は、特別に強い国」という思いが、「練習量の差や、競技の経験年数の違いだけ」と思うようになり、練習をしっかりとすれば十分戦えると多くの選手が感じたようです。試合直後から練習する選手おり、大変よい刺激になったと思います。また、他国選手の、物怖じしない姿勢につられ、ジェスチャーを交えて会話をすることで、何かを感じ取ったようです。次代を担う高校生にとって、外国選手と友好を深め、互いに理解し合うことにより、世界を意識できるようになった有意義な大会だと思います。

最後になりましたが、立派な会場を用意していただき、スムーズで心のこもった大会運営をしていただきいた、北海道協会を中心とする関係者に深く感謝申し上げます。

**女子48kg級 2位 記録 S66kg J84kg T150kg**

**竹下 葉緒 (京都府立加悦谷高等学校3年)**

今回、私は3度目の国際試合だったので、あまり緊張もせずに試合に臨むことができました。昨年は、初めての国際試合でとても緊張してしまい悔しい思いをしました。だから、今年は頑張ろうと思い集中して試技をすることができ、5本成功、トータル150kgと目指していた重量が挙げられ良かったです。これからは、世界で戦える選手になりたいです。最後になりましたが、舟喜先生、川畑先生、平良先生本当にありがとうございました。

**女子53kg級 2位 記録 S68kg J83kg T151kg**

**狩俣 聖美 (沖縄県立宮古農林高等学校3年)**

初めての日・韓・中の試合に出場して、最初、中国・韓国の人達と話ができるか不安でした。でも、通訳さんを通して会話したりしてとても楽しかったです。試合も目標を「自分の試合のベストを持つ」と決め、試合まで調整してきました。スナッチは、満足できませんでしたが、ジャークで試合の新記録が取れとても嬉しかったです。また、他国の人達ともっとふれ合いがしたい、そしてもっと強くなって中国を負かせられるようになりたいという気持ちになり、これから考えて練習しようと思います。

**女子58kg級 1位 記録 S69kg J88kg T157kg**

**金城 尚乃 (沖縄県立豊見城高等学校3年)**

この大会は、初めての国際大会で分からないことだらけでしたが、いろいろ先生方やチームメイトに教えてもらい本当に助かりました。中国や韓国の強さを見て本当に圧倒されました。もっと中国や韓国の選手のように、集中するときと普段とのけじめをしっかりと付けられるようにしたいです。この大会の経験を次に生かし、もっともっと練習を頑張り世界に通用する選手になりたいです。5日間でしたが、先生方・チームメイトにいろいろお世話になり真下。ありがとうございました。

**女子63kg級 3位 記録 S70kg J85kg T155kg**

**盛島 加奈子 (沖縄県立豊見城高等学校2年)**

この大会で、自分の弱い所を痛いほど感じました。しかし、自分の弱点を見つけることができ、目標もできました。同じ高校生なのに力の差がありすぎ話にならなかったけど、とてもいい勉強をし、いい経験をしました。これからの課題は沢山ありますが、少しでも中国や韓国の選手の記録に近づき越えられるよう頑張っていきたいです。お世話になった先生方・役員の皆さん、ありがとうございました。

**女子69kg級 3位 記録 S58kg J73kg T131kg**

**吉見 慶子 (兵庫県立須磨友が丘高等学校3年)**

私は試合前、肘をケガしてしまい、正直、不安と心配で一杯でしたが、いざ試合が始まると周りの人がフォローしてくれ、とてもやりやすい状態でできました。スナッチは、危なげで戸惑いながらやりましたが、ジャークは楽しんでできました。韓国、中国の選手は、まず一本一本にしっかり集中し取り組んでいて、スピードもフォームもしっかりしていると思います。日本の高校生のダラダラした雰囲気はなく、楽しむときとキチッとするときのけじめがあつてすごかったです。これからは私生活などにおいても、けじめを付けられる人になりたいです。こんないい体験ができて良かったです。ありがとうございました。

**女子75kg級 3位 記録 S70kg J95kg T165kg**

**井上 佐織 (三重県立四日市中央工業高等学校2年)**

初めて国際大会にでてみての感想は、女子75kg級の中国の選手も韓国の選手も、私より年下なのに重い重量をしていて、練習の時の重量や練習量が全然違うと思いました。女子75kg級だけでなく、どの階級も練習量の違いを感じました。自分が試合にでての反省は、スナッチもジャークも自分の心が弱いから自分の力を全然だせなく、目標記録が挙げられませんでした。これからの練習では、重量に対しての自信を付けるために自分のベストとか自己新とかの重量を練習でもして自信を付け、国際大会で活躍できるようになりたいです。

**女子+75kg級****記録 S 0 J 0 T 0****嶋本 麻美 (和歌山県立和歌山東高等学校3年)**

初めての国際大会で、すごく緊張しました。それも関係合ったと思いますがスナッチ0、ジャーク0でした。ここまで悔しいと思った大会は初めてです。初めての国際大会で、初めてのスタート重量とは、後々考えると無茶なことだと分かりますが、これからの大会に向け自信を付けようと思ってやりました。しかし自分のメンタル面が不十分で、取ることができませんでした。これからは、心身共に鍛えながら、一本一本の試技を大切にしていきたいと思いました。

**男子56kg級 3位****記録 S 90kg J 114kg T 204kg****江本 慶伸 (岡山県立倉敷商業高等学校3年)**

今回の日本・韓国・中国交流大会は、自分にとっては初めての国際大会で、間近で他国の選手と交流してとてもいい刺激になりました。わずか3カ国とえども、他国の実力は非常に高く、日本でトップの力を持つ我々日本陣でも全く歯が立ちませんでした。この交流試合を通じて、己の非力差、そして努力の重要さを知ることができました。日本という小さな島国でトップになっても、少し国をでればもっと強い奴がいる。そんな奴らに少しでも追いつけるように、今の自分に満足することなく精進しようと思います。

**男子62kg級 3位****記録 S 100kg J 135kg T 235kg****黒江雄治 (福島県立田村高等学校3年)**

今回、日本の代表選手として大会に参加しました。自分は試合をする前から、「韓国・中国の選手にはかなわないだろうな」という気持ちがありました。なので、この大会では勝つというよりも、韓国や中国の選手とどんな所が違うのかを体験して、自分にプラスになる大会にしたいと思いながら臨みました。試合の結果は予想通りの順位でしたが、韓国の選手と一緒に練習することができ、韓国の雰囲気を楽しむことができたと思います。初めての国際大会でしたが、とても良い経験ができました。この経験を生かして、これからまた頑張っていきたいと思います。最後に今大会でお世話になった、舟喜先生、川畑先生、平良先生ありがとうございました。

**男子69kg級 3位****記録 S 110kg J 142kg T 252kg****三谷 洋平 (京都府立加悦谷高等学校3年)**

今回自分は日本の高校リフターと親睦を深めること、韓国、中国の選手と積極的に交流すること、世界のレベルを肌で感じることを目的として参加しました。日本チームは、みんな明るくとても良い雰囲気です。試合に臨むことができました。全体の成功率も良く、みんな仲が良い最高の日本代表チームだったと思います。韓国、中国の試合は圧倒されてばかりでした。特に全体的なスピード、きめの早さが日本人とはおおく違うと感じました。さらに韓国の選手などは、集中力とリラックスの切り替えがすごくはっきりしていました。この大会は多くの方々のおかげがあり、とても素晴らしい大会でした。この大会で学んだことをこれからの競技生活に生かしていきたいです。

**男子77kg級 3位****記録 S 115kg J 140kg T 255kg****谷 正尚 (名城大学附属高等学校3年)**

この大会を終えて感じた率直な感想は不安と喜びでした。いつもと違う環境や初めて出会ったメンバーとの中でやる今回の大会は不安と緊張で一杯でした。しかし、同じくらい感じられたのが、このメンバーと一緒に試合をやれた喜びでした。最初はぎくしゃくしていたみんなが試合で一つにまとまって応援する姿は感動でしたし、自分のこのメンバーの一員であるという誇りを強く持つことができました。自分にとって初めての体験となる今回の国際大会は、改めて中国と韓国の強さを知った良い機会でもありました。その無駄のないフォームやスピード、筋力などを目の当たりにして、今の自分に足りないものや今後の自分に大きく生かせるものを学べたと思います。これからは、今回であったメンバーを仲間であると同時にお互い良きライバルとして意識して楽しく、そして充実した競技生活を送りたいと思います。

**男子85kg級 3位 記録 S121kg J140kg T261kg**

**平原 孝人 (埼玉栄高等学校2年)**

僕は今回、初めて国際大会に出たのですが、結果はスナッチは良かったのですが、ジャークが一本しか取れずトータルでは決して良いとはいえない試合でした。しかし、他国の人達と仲良くなれ、その点は非常に良かったと思います。他にも、他国の方々から学ぶことがあり、肉体的にも精神的にも競技に取り組む姿勢は見習う所が多々あり、よい刺激になったと思います。

**男子94kg級 2位 記録 S115kg J150kg T265kg**

**川畑 颯大 (京都府立加悦谷高等学校3年)**

今回、日韓中ジュニア交流競技会に参加させてもらいとてもいい思い出になりました。自分にとって初めての国際大会だったのですが、こんなに楽しいものとは思っていませんでした。世界でも強いとされる中国、韓国の選手達と試合ができたことはとてもいい刺激になり、自分も世界で戦いたいと強く思いました。あと、日本代表として、全国から集められた仲間と一緒に5日間を過ごして、なんとこの言えない、いい関係になれました。今回集められた仲間と試合で会うのが楽しみです。そして、自分はずっと力を付け、この試合で会った中国、韓国選手と会えることを目標に頑張って練習していきたいと思っています。最後になりましたが、監督・コーチをはじめ、会場の用意、片付けをして下さった北海道の皆さんありがとうございました。

**男子105kg級 3位 記録 S105kg J150kg T255kg**

**山内 薫 (京都府立加悦谷高等学校3年)**

今回、初めての国際大会だったが、肘を痛めており思うようなスタートができず悔しい試合となりました。今後、肘を治しもう一度体を作り直してさらに記録を伸ばしたいと思いました。さらに、今回は韓国、中国の競技する姿を見ることができ、日本人選手とのスピードの違い、基礎体力の違いなど身体的な部分の違いと、練習に対する姿勢など精神的な部分の違いなどが見られ、今後の練習の糧となるものを獲られたと思います。このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。この経験を次の競技生活に生かしていこうと思います。

**男子+105kg級 2位 記録 S115kg J145kg T260kg**

**大西 教平 (香川県立多度津工業高等学校3年)**

今大会が行われる前に、自分は膝の故障があったため、あまり重い重量を触れないので、少しでも韓国や中国の試技を観察しようと思っていました。実際、試合を行ったときは、韓国や中国の選手の試技は、きちんとした形や高さがあり、とても参考になりました。自分にとってどういう所を意識しなければならないか、どこを鍛えなくてはならないかということが学べた試合でした。今後は、膝のことをよく直し、試合に望めるようにしたいです。

第13回 日・韓・中 ジュニア交流競技会結果

男子

札幌西区体育館 2005.8.26~27

Class	Name	Nation	Weight	BEST				Total Result	Rank
				S Result	Rank	J Result	Rank		
56kg	GO, Jong-Won	Korea	55.65	101	2	130	1	231	1
56kg	Pan Baoning	China	55.50	101	1	120	2	221	2
56kg	江本 慶伸	Japan	56.00	90	3	114	3	204	3
56kg	Ozaki Youjirou	Hokkaido	52.80	75	4	90	4	165	4
62kg	LEE, Chang-Ho	Korea	61.80	105	2	145	1	250	1
62kg	Wei Zhan	China	61.45	106	1	135	2	241	2
62kg	黒江 雄治	Japan	61.45	100	3	135	3	235	3
62kg	Kumagai Takeshi	Hokkaido	59.80	85	4	107	4	192	4
69kg	He Lin	China	67.85	125	2	160	1	285	1
69kg	WON, Jong-Jae	Korea	68.80	130	1	155	2	285	2
69kg	三谷 洋平	Japan	67.90	110	3	142	3	252	3
77kg	KIM, Tae-Hwan	Korea	76.15	126	1	155	1	281	1
77kg	Chen Tuo	China	69.05	125	2	142	2	267	2
77kg	谷崎 正尚	Japan	75.15	115	3	140	3	255	3
77kg	Terada Syuji	Hokkaido	75.85	95	4	123	4	218	4
85kg	Fu Tao	China	77.10	125	2	171	1	296	1
85kg	LEE, Jae-Yong	Korea	84.50	131	1	165	2	296	2
85kg	平原 孝人	Japan	84.40	121	3	140	3	261	3
85kg	Yamamoto Masayuki	Hokkaido	81.30	97	4	115	4	212	4
85kg	Kabe Teppei	Hokkaido	81.05	0		0		0	
94kg	HWANG, Jae-Chol	Korea	91.90	130	1	165	1	295	1
94kg	川畑 奨大	Japan	85.20	115	2	150	2	265	2
94kg	Chen Xu	China	92.30	110	3	140	3	250	3
94kg	Yun Pyoniru	Hokkaido	91.30	95	4	130	4	225	4
105kg	Zhu Lei	China	94.05	155	1	171	1	326	1
105kg	KIM, Hyeon-Ho	Korea	104.65	130	2	160	2	290	2
105kg	山内 薫	Japan	104.25	105	3	150	3	255	3
105kg	Ri Tyegyon	Hokkaido	94.75	90	4	122	4	212	4
105kg	Watanabe Yousuke	Hokkaido	99.95	90	5	110	5	200	5
+105kg	LEE, Jae-Sung	Korea	118.30	135	1	160	1	295	1
+105kg	大西 教平	Japan	134.40	115	2	145	2	260	2
+105kg	Kimura Takashi	Hokkaido	117.25	110	3	138	3	248	3

女子

Class	Name	Nation	Weight	BEST				Total Result	Rank
				S Result	Rank	J Result	Rank		
48kg	Huang Yuezhen	China	45.50	70	1	90	1	160	1
48kg	竹下 菜緒	Japan	47.70	66	2	84	2	150	2
48kg	LEE, Sun-Young	Korea	46.80	60	3	81	3	141	3
53kg	Luo Bing	China	50.35	70	1	101	1	171	1
53kg	狩俣 聖美	Japan	52.55	68	2	83	2	151	2
53kg	NO, Hyun-Hee	Korea	52.90	58	3	70	3	128	3
53kg	Mizuno Kei	Hokkaido	52.10	39	4	45	4	84	4
58kg	金城 尚乃	Japan	54.90	69	1	88	1	157	1
58kg	YANG, Hee-Youn	Korea	57.75	65	2	80	2	145	2
58kg	Tanabe Nozomi	Hokkaido	55.30	62	3	73	3	135	3
63kg	LEE, Hyo-Jung	Korea	61.90	83	1	105	1	188	1
63kg	Liu Wei	China	58.75	80	2	90	2	170	2
63kg	盛島 加奈子	Japan	62.55	70	3	85	3	155	3
63kg	Kusaka Yukari	Hokkaido	59.95	42	5	0		0	
63kg	Murata Ririko	Hokkaido	58.05	60	4	0		0	
69kg	Guan Yan	China	66.85	95	1	105	2	200	1
69kg	YOON, Saet-Beol	Korea	66.50	80	2	106	1	186	2
69kg	吉見 慶子	Japan	64.50	58	3	73	3	131	3
75kg	Lei Xianglin	China	70.60	81	1	99	1	180	1
75kg	LEE, Jin-Hee	Korea	70.90	80	2	98	2	178	2
75kg	井上 佐織	Japan	72.10	70	3	95	3	165	3
+75kg	Ding Yi	China	102.10	105	1	135	1	240	1
+75kg	YOUN, Sang-Won	Korea	97.95	84	2	110	2	194	2
+75kg	嶋本 麻美	Japan	94.90	0		0		0	

# 早稲田大学初優勝

## 第6回全日本大学対抗女子選手権大会



第6回全日本大学対抗女子選手権大会が9月18日、日本大学生物資源科学部体育館で7大学から23名の選手が参加して開催され、4大学が4名枠のフルエントリーで出場する中、早稲田大学が混戦を制して初優勝を飾った。

また、53kg級で三宅宏実（法政）がスナッチ83kg、C&ジャーク111kg、トータル194kgの日本新記録を、+75kg級でも城内史子（早稲田）がC&ジャーク126kgの日本新記録を樹立した。

48kgから63kg級までの4階級が行われた前半グループ、これまで連覇を果たしてきた日体大は58kg級の守美穂子が今年東日本個人選手権優勝時の記録をトータルで10kg下回って3位、63kg級でも今年の全日本選手権優勝の渡慶次雅子が2位に終わるなど思うように得点を重ねることができず前半は10点にとどまり、立命館も48kg級優勝の角田祥子の9点で終わった。これに対し早稲田は、このグループ唯一出場の松本萌波が58kg級で優勝を飾って8点を獲得し、後半グループに出場する3名の選手に望みをつないだ。

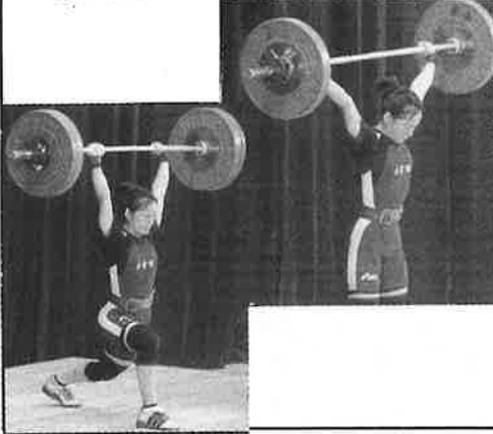
69kgから+75kg級の後半グループ、69kg級では日体大が大真下智恵美の優勝、立命館平嶺綾が2位、早稲田中川諒子が3位となりそれぞれ得点を積み上げた。しかし、75kg級では立命館斉藤里香が優勝、日体大宮城寿子2位となったが、スナッチで早稲田の菊田裕子が1位となる大健闘を見せ、早稲田が優勝に大きく近づいた。残る+75kg級は早稲田の城内史子が実力どおりC&ジャーク1回目の試技で自らの優勝を決め、得点9点を獲得。8点の差があった日体大を大逆転して女子大学対抗での早稲田大学の初優勝を決定した。

（全日本学生ウエイトリフティング連盟理事長 岡本 実）

**48kg級優勝****角田 祥子選手**

立命館大学←倉敷商業高校

S=72kg C&amp;J=90kg T=162kgCR



Q1 優勝した感想は？

→ 今年も48kg級は1人だったので気楽にできました。  
1本1本取ることが、私の役目だったので、優勝することができてうれしいです。

Q2 今回の出来の自己採点とその点数の理由は？

→ 90点(100点満点)  
まず、トータルを出して優勝できたので、90点です。  
残りの-10点はジャーク92kgが立てなかったことです。

Q3 ベスト記録は？

→ S=72.5kg C&J=90kg PJ=75kg BSQ=120kg FSQ=100kg MP=44kg  
HS=62kg HC=81kg DL(S)=102kg DL(J)=110kg PP=60kg

Q4 身長、普段の体重は？

→ 153cm 48kg

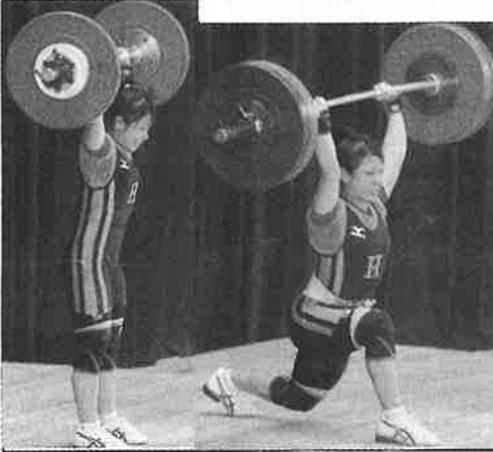
Q4 次の試合とその目標記録は？

→ 世界選手権に選ばれたら、C&J95kgを取りたいです。

**53kg級優勝****三宅 宏実選手**

法政大学←埼玉栄高校

S=83kgNR C&amp;J=111kgNR T=194kgNR



Q1 優勝した感想は？

→ 素直に嬉しく、2連覇することができて良かったです。

Q2 今回の出来の自己採点とその点数の理由は？

→ 85点(100点満点)  
今回、練習でもまったく拳がらず、83-111なんて、およぶ所ではなかったのですが6本成功することができ改めて、調子悪いなりに結果も出せ、調子が良いからといって結果のでも時もあったり、でないこともあったりと、その一瞬は何があるか分からない痛感しました。  
残りの15点は、この83-111が必ずとれるものではないし、コンスタントにこの重量がとれるようにしたい。

Q3 ベスト記録は？

→ S=85kg C&J=111kg PJ=100kg BSQ=145kg FSQ=122.5kg MP=57.5kg  
HS=65kg HC=90kg DL(S)=122.5kg DL(J)=145kg PP=80kg

Q4 身長、普段の体重は？

→ 147cm 49kg

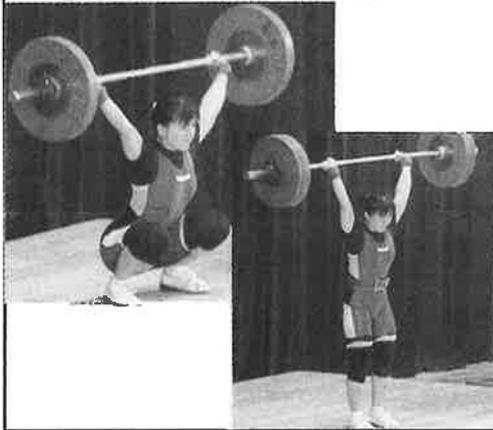
Q4 次の試合とその目標記録は？

→ 10月に行われる東アジア大会で、記録はS 85kg、J 113kg

**58kg級優勝****松本 萌波選手**

早稲田大学←松戸国際高校

S=72kg C&amp;J=94kg T=166kg



Q1 優勝した感想は？

→ 何とか優勝することができてよかったです。初の団体戦だったのでほっとしました。

Q2 今回の出来の自己採点とその点数の理由は？

→ 50点(100点満点)  
記録は決まっていたものではなかった。そしてジャークでは1位をとることができなかった。

Q3 ベスト記録は？

→ S=80kg C&J=97.5kg PJ=85kg BSQ=125kg FSQ=107.5kg MP=50kg  
HS=65kg HC=80kg DL(S)=105kg DL(J)=122.5kg PP=67.5kg

Q4 身長、普段の体重は？

→ 151cm 60kg

Q4 次の試合とその目標記録は？

→ 次の試合はまだ決めていませんが、81の100はやりたいです。

**63kg級優勝****橋田 麻由選手**

金沢学院大学←加悦谷高校

S=84kg C&amp;J=105kg T=189kgCR



Q1 優勝した感想は？

→ とても嬉しいです。

Q2 今回の出来の自己採点とその点数の理由は？

→ 60点(100点満点)  
記録は最悪な結果でしたが、次の試合の自信ができました。

Q3 ベスト記録は？

→ S=87kg C&J=110kg PJ=100kg BSQ=160kg FSQ=125kg MP=50kg  
HS=75kg HC=95kg DL(S)=125kg DL(J)=130kg PP=65kg

Q4 身長、普段の体重は？

→ 150cm 63.2kg

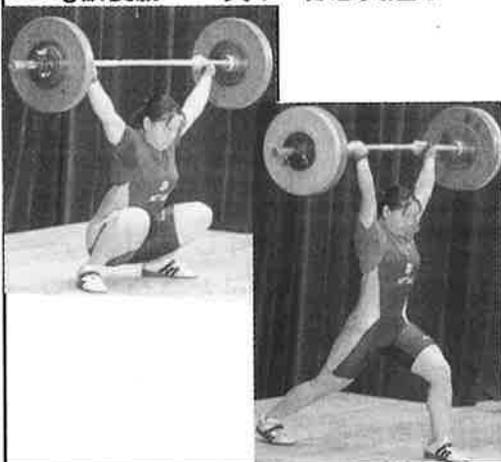
Q4 次の試合とその目標記録は？

→ もっと安定感のある試合をしていきたいです。

69kg級優勝 真下 智恵美選手

日本体育大学→利根実業高校

S=79kg C&J=100kg T=179kg



Q1 優勝した感想は？

→ とても嬉しいです。団体優勝はできませんでしたが、予想よりは良かったので安心しました。

Q2 今回の出来の自己採点とその点数の理由は？

→ 50点(100点満点)  
自己新を狙うつもりでやったけれど、ベストも取れなかったので、点数は良くありません。

Q3 ベスト記録は？

→ S=80kg C&J=103kg PJ=90kg BSQ=140kg FSQ=117.5kg MP=55kg  
HS=70kg HC=87.5kg DL(S)=110kg DL(J)=130kg PP=80kg

Q4 身長、普段の体重は？

→ 160cm 71kg

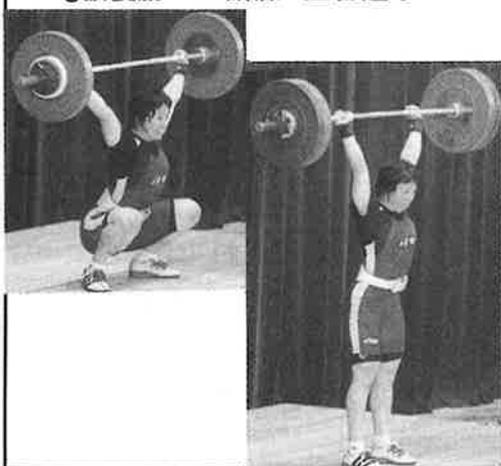
Q4 次の試合とその目標記録は？

→ 次の試合は国体記念杯なので、次の大会ではS 83kg、J 107kgを目標に頑張りたいと思います。

75kg級優勝 齋藤 里香選手

立命館大学→加悦谷高校

S=85kg C&J=113kg T=198kg



Q1 優勝した感想は？

→ トータルでの優勝は嬉しいと思いますが、団体戦という大事な試合で自分が取るべき点数に至らなかったのが悔しい思いの方が大きい。

Q2 今回の出来の自己採点とその点数の理由は？

→ 50点(100点満点)  
団体戦というチームの試合で自分が取るべき点数に至らなかったため。

Q3 ベスト記録は？

→ S=88kg C&J=116kg PJ=90kg BSQ=155kg FSQ=130kg MP=60kg  
HS=75kg HC=100kg DL(S)=140kg DL(J)=160kg PP=80kg

Q4 身長、普段の体重は？

→ 163cm 66.5kg

Q4 次の試合とその目標記録は？

→ 東アジア大会でスナッチ90kg、クリーン&ジャーク120kg

+75kg級優勝 城内 史子選手

早稲田大学→宮古北高校

S=83kg C&J=126kg T=209kg



Q1 優勝した感想は？

→ 女子インカレということで、団体戦だったのでチームの為に自分の役割をはたせて安心した。初優勝できてとても嬉しかった！！

Q2 今回の出来の自己採点とその点数の理由は？

→ 90点(100点満点)  
Jでは126kgの日本新記録を取ることができたが、Snatchは成功率も悪く自己ベストまでも触ることが出来なかった。次の試合では2種目ともベストが出しきれぬ様に頑張りたい！！

Q3 ベスト記録は？

→ S=90kg C&J=126kg PJ=120kg BSQ=172.5kg FSQ=151kg MP=60kg  
HS=75kg HC=100kg DL(S)=135kg DL(J)=155kg PP=90kg

Q4 身長、普段の体重は？

→ 163cm 100kg

Q4 次の試合とその目標記録は？

→ 11月に行われる東アジア大会でC&J130kgを絶対に取りたいと思います。



平成17年度 第6回全日本大学対抗女子選手権を終えて

早稲田大学監督 岡田 純一

早稲田大学ウエイトリフティング部は来年50周年を迎える歴史を有しておりますが、女子がフルエントリー（4名）できるようになったのは4回大会からでした。これまで力及ばず先輩校の後塵を拝し、優勝するにはまだ時間がかかると感じておりましたが、選手達の努力並びに多くの関係諸氏から賜ったご指導ご厚誼のお陰で榮に浴することができました。本誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

大会は回を追うごとに参加校も増え、今回は戦国時代の様相を呈しておりました。従って我々は胸を借りる気持ちと、混戦を乗り切るためにも、「成功率の良い試合をしよう」という気持ちで臨みました。試合は1試技ごとに1kgルールをフル活用して互いの駆け引きが展開され、目まぐるしい重量変更にコントローラと進行係もフル回転です。まさに選手・セコンド一体となった総力戦でした。重量変更で舞台裏が混乱するなか、松本が接戦を制してT1位。これで勢いがつき、続く後半戦では、菊田が自己新の86kgを決めスナッチで1位、6本成功の中川が各部門で得点しトータル3位を確定させ、優勝が現実味を帯びて来たのでした。最後は城内が日本新記録（ジャーク126kg）を成功させ、喜びを一層高めてくれたのでした。

試合後、来場された方々から「おもしろい試合だった」、「見応えがあった」と感想を戴きました。それは単に接戦を意味するだけでなく、共に参加した全選手が真剣勝負を演じ、見る者に訴えかけたのでしょう。

部員 [階級：氏名（出身校）]

4年

主務 島袋 希（沖縄：沖縄尚学）

副将 河村 麻衣子（京都：加悦谷）

3年

副務 中川 諒子（熊本：熊本第一） \*69kg

城内 史子（岩手：宮古北） \*+75kg

2年

松本 萌波（千葉：松戸東） \*58kg

菊田 裕子（石川：飯田） \*75kg

小川 絵里香（岐阜：中津）

マネ 石井 清香

1年

大山 恵理（群馬：前橋育英）

# 早稲田大学チーム練習風景写真



## 第6回女子インカレ団体優勝者の感想

**58kg級 松本 萌波 早稲田2年 身長151cm 松戸東高出**

練習ベスト S80、J100、Sq125、DL122.5、Mp50

<優勝の感想>

記録は充分ではなかったが、優勝できてほっとしている。自己採点は50点。

<今までで辛かったこと>

怪我をして、長く続いたリハビリや失敗からの不安。

<小・中学校のスポーツ歴>

中学は、走り幅跳び・砲丸投げ・100m走

<座右の銘は？>

“情熱”

**69kg級 中川 諒子 早稲田3年 身長166cm 熊本第一高校出**

練習ベスト S77.5、J95、Sq110、DL125、Mp53

<優勝の感想>

本数をとることによって、団体優勝へつなげる事ができてうれしかったです。メンバーやセコンド等に支えられて試合に臨む事ができ感謝しています。

自己採点は85点。

<今までで辛かったこと>

試合でスタート重量がとれないために、試合に自信が持てなかったことです。

<小・中学校のスポーツ歴>

中学はバレーボール

<座右の銘は？>

“努力”

**75kg級 菊田 裕子 早稲田2年 身長167cm 飯田高校出**

練習ベスト S80、J100、Sq140、DL157.5、Mp55

<優勝の感想>

メンバーそれぞれが自分のやるべきことをやって得た優勝だと思います。

自己採点は75点。

<今までで辛かったこと>

重量に対して恐怖心を持ってしまうこと

<小・中学校のスポーツ歴>

小学校は剣道、中学はバレーボール

<座右の銘は？>

“根性”

**+75kg級 城内 史子 早稲田3年 身長163cm 宮古北高校出**

練習ベスト S90、J126、Sq172、DL160、Mp65

<優勝の感想>

優勝を狙っていましたが、本当に優勝できたときは早稲田のチームに入れて本当に良かったと改めて思いました。今回の優勝は部員全員の想いが形となって表れた結果だと思います。自己採点は90点。

<今までで辛かったこと>

特にありません。

<小・中学校のスポーツ歴>

小学校6年間柔道、中学はバレーボール。

<座右の銘は？>

“I CAN DO IT”

## 第 37 回 アジア選手権大会



報告者 武井多加志

期 日	調整合宿 (9月20日～21日)、派遣 (9月22日～10月2日)、大会 (9月26日～30日)		
会 場	アラブ首長国連邦 (UAE) ドゥバイ市アルワスルクラブ体育館		
宿 舎	ドゥバイ市 アルプスタン・レジデンス ホテル		
選手団	監 督	小宮山哲雄	選手 女子 48kg級 竹下菜緒 (京都・加悦谷高校)
	コーチ	川畑 勉	" 女子 48kg級 中部有理 (兵庫・須磨友が丘高校)
	コーチ	武井多加志	" 男子 69kg級 今村俊雄 (山梨・高野建設)
	国際審判	知念 玲子	" 男子 85kg級 高橋竜太 (福岡・九州国際大学)
			" 男子 94kg級 川畑源大 (京都・金沢学院大学)
			" 男子+105kg級 天野 満 (山梨・お宮橋精肉店)
			" 男子+105kg級 関谷圭介 (新潟・県旭トリフィング協会)

《9月20日 (火)》14:00 大阪府堺市プラザホテル集合、ミーティングで各々の今大会の目標・大会までの調整練習重量等確認し 15:00 時から調整練習開始。練習場は羽曳野市体育館ウエトリフティング場を借用させていただいた。今回は関西空港からの出発ということで試合前合宿を初めて大阪で行った。

《9月21日 (水)》AM・PM 調整練習。夕方には羽曳野クラブの小中学生の練習を拝見させていただき、指導者の橋本先生の熱意と心配りに感動した。夜には大阪府WL協会主催の激励会まで開いていただき深く感謝・感謝。

《9月22日 (木)》午後調整練習、23:30分、関西国際空港からドゥバイに向け出発、直行便で9時間、日本との時差は5時間遅い。UAEの航空機で新型モデル。心配されていたエコノミー症候群もないようだ。

《9月23日 (金)》現地時間の早朝 4:00 到着、気温 40℃湿気が強い。日中は 50℃にもなるという。仮ホテルで食事&仮眠、14:00 本宿舎のアルプスタン・レジデンスホテルに到着。外とは違いホテル内は寒いほどの冷房が効いている。

《9月24日 (土)》AWFの理事会に三宅義行理事出席、2008年のアジア選手権が日本の金沢市で開催が決定。選手の練習は 15:00～16:30 練習場はホテルからバスで10分。会場とは別の体育館で冷房完備。選手は集合時のミーティングで確認した予定重量をほぼ現在までこなしている。長時間のフライトでの時差ぼけの様子はあまり見られない。

《9月25日 (日)》本日はファイナルエントリー、予定通り。女子選手はストレッチのみ、男子選手は調整練習で旅疲れから徐々に回復している。

《9月26日(月)》女子48kg級13:00試合開始。竹下菜緒、中部有理が出場。竹下のSは軽いが2・3回目ともに後ろに回す。Jは体重減少から少し重たい。中部のSは予定重量より2kg下ろしてスタート、功を奏して2本成功、Jは手堅く2kg刻みで上げていったことが3本成功につながった。

女子48kg級 竹下 菜緒 S 65 69 69 C-J 78 81 81 T 143 8位/9

女子48kg級 中部 有理 S 53 56 56 C-J 70 72 74 T 130 9位/9

《9月27日(火)》男子69kg級19:00開始。今村俊雄が出場。今村は昨年アテネオリンピックに62kg級で出場したが、今年度より一階級上げて出場。体の故障箇所をじっくり直しつつ徐々に記録を戻しつつある段階で、試合の勘が今一つであったが、6本中5本を成功させた。

男子69kg級 今村 俊雄 S 118 122 125 C-J 148 148 153 T 278 7位/9

《9月28日(水)》日本選手試合なし

《9月29日(木)》男子85kg級13:00開始、高橋竜太が出場。安定したフォームでSは3本成功、144kgの自己新記録でJr日本新記録を挙げた。続くJは好調かに思われたが1本目でまさかの失敗。気持ちを建て直し2・3本目と成功させ170kgまで挙げたが、トータルでもJr日本新を目指していただけに1本目が悔やまれる。

男子94kg級19:00開始、川畑源大が出場。スピードのあるSで高橋同様3本とも成功。試合自己新の143kgを成功させた。続くJではスタートを難なく成功させ2本目の179kgに挑むが最後の支持でバランスを崩し惜しくも失敗。3回目も同重量に挑んだがCでバランスを崩してしまった。JでのJr日本新が目前であったために本人が一番悔しかった。

男子85kg級 高橋竜太 S 135 140 144 C-J 165 165 170 T 314 5位/9

男子94kg級 川畑源大 S 135 140 143 C-J 175 179 179 T 318 8位/9

《9月30日(金)》男子+105kg級14:00開始、天野満、関谷圭介が出場。両名とも大会前の体調が万全とは言えない状態だったので、スタートを低めに設定し成功率にかけた。S2本目は2人とも後ろに流し失敗したが、3本目で確実に145kgを成功。続くC-Jでは両者ともに3本成功させてT5位6位を死守した。国際大会での5本の成功率を今後につなげ、最重量級として200kg以上を常に挙げる力を期待したい。なお同じ階級には、世界のスーパースターであるイランのラザレ選手も出場しC-Jで世界記録に迫る260kgを成功し、大いに会場を沸かせた。

男子+105kg級 天野 満 S 140 145 145 C-J 180 185 191 T 336 5位/9

男子+105kg級 関谷圭介 S 140 145 145 C-J 180 185 190 T 345 6位/9

《10月1日(土)》深夜、ドゥバイ空港発 ⇒ 《10月2日(土)》関西国際空港17:20着⇒解散

※ 以上が今回の遠征の全日程である。今大会の代表選手は若手中心の編成であり、特に海外で成功本数を高め、自己ベストに近づくといい目標があった。目標に対する選手7名の平均成功率は4.5本であり、目標の5本には及ばなかったがまずまずではなかったろうか。

それにしても、アジアの躍進ぶりには目を見張るものがある。中国・韓国は言うまでもなく、カザフスタンを初めとする中央アジア勢、タイ、ベトナム、台湾などの東南アジア勢と、旧ソ連や中国などのコーチを招聘し確実にレベルアップしている。各国のナショナルチームは年間を通して、プロ的な強化を行っている。

日本の現状とは隔世の感があるが、この辺を見誤ってはいけないと思う。体制の違いを嘆く前に、選手個々のテクニックを今一度見直し、今回出場したような若手の選手から、世界に負けないテクニックを身につけ、パワーを後からつけていく選手を育てていくことが、ナショナルトレーニングシステムの成功につながると感じた大会であった。

## アジア選手権大会 出場選手“大会を振り返って”の感想

### 女子 48kg 級 竹下菜緒 (京都・加悦谷高校)

《大会前の目標記録⇒大会結果》

S 72⇒65 C-J 86⇒78 T 158⇒143

《感想・反省》今回、調整でもうまくいってアップでも調子は良かったのですがS・Jともに本といいウエイトリフティング結果に終わってしまい、とても情けない試合でした。自分のフォームの悪さ、精神面の弱さが出てしまいました。今後はフォームを改善していき試合で本数がとれるようにしたいと思います。

《今大会で得たこと》ジュニアの試合と違い、選手の落ち着き、気迫のすごさを感じました。世界のトップ選手は、とても強く圧倒されました。私もそんな選手になりたいと思いました。

《今年度中の目標》3月の全日本ジュニア選手権で、48kg級で優勝し世界ジュニアの出場権を獲得する。



### 女子 48kg 級 中部有理 (兵庫・須磨友が丘高校)

《大会前の目標記録⇒大会結果》

S 59⇒56 C-J 74⇒74 T 133⇒130

《感想・反省》重量面、体調面で自己管理ができていませんでした。目標の成功率には及びませんでした。中国やタイの選手はパワー・スピードとどれをとっても自分とは違いました。特にJの足の踏み込みの力強さや速さにはとても驚きました。

《今大会で得たこと》自分自身が、まだ重量面・体調面において、自己管理ができていないと痛感できたことです。

《今年度中の目標》高校生の間までに1回は全国で1番になりたい。目標重量はS70・C-J85・T155です。



### 男子 69kg 級 今村俊雄 (山梨・高野建設)

《大会前の目標記録 ⇒ 大会結果》

S 125⇒125 C-J 155⇒153 T 280⇒278

《感想・反省》成功率は6本中5本で悪くはなかったが、試合内容ではJの1本目を失敗してしまったので良いとは言えない。3本目につながるためにも、1本目を大切に、正確にすることが重要であることを改めて認識した。

《今大会で得たこと》今年度初のS125を成功できたことが、今後のステップになると思う。

《今年度中の目標》 S 133 J 163を今年度中に成功。



### 男子 85kg 級 高橋竜太 (福岡・九州国際大学)

《大会前の目標記録 ⇒ 大会結果》

S 145⇒144 C-J 175⇒170 T 320⇒314

《感想・反省》5本成功したが目標記録には及ばなかった。Sは3本成功で自己新だったので悪くはなかった。しかしJはスタート重量を失敗し悔しい思いをした。重量感でいえば173kgから175kgぐらいいけたと思う。最初の1本目で油断してしまったのが、試合の一番の反省点。

《今大会で得たこと》重量をなめてかかってはいけないということと、試合での一本のミスの痛み。外人と比べて圧倒的なパワー不足と、Jのフォームの悪さ。よって今後は補強を伸ばすことに重点を置き、同時にJのフォーム改善を目指す。

《今年度中の目標》今年のインカレまでに、トータル320kgを取る事と、ジャークでJr新を取る事



### 男子 94kg 級 川畑源大 (京都・金沢学院大学)

《大会前の目標記録 ⇒ 大会結果》

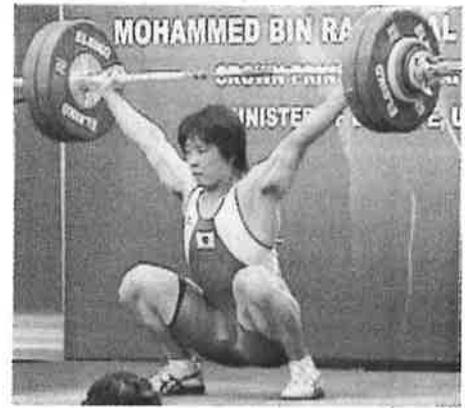
S 143 ⇒ 143 C-J 182 ⇒ 175 T 325 ⇒ 318

《感想・反省》

Sで目標としていた143kgに成功でき、なおかつ余裕もあったので良い試技ができたと思う。しかし、Jでは175kg1本しか成功できず自分の力不足を感じた。

《今大会で得たこと》+105kg級のホセイン=レザザデ選手の試合を実際に見ることができ、世界チャンピオンのすごさを肌で感じたこと。毎回のことだが、自分と世界の選手との力の差を実感でき、高いモチベーションを保つ機会となった。

《今年度中の目標》 トータル325kg



### 男子+105kg 級 天野 満 (山梨・お宮橋精肉店)

《大会前の目標記録 ⇒ 大会結果》

S 150 ⇒ 145 C-J 195 ⇒ 191 T 345 ⇒ 336

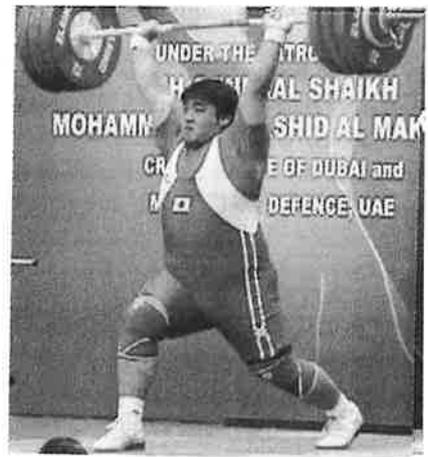
《感想・反省》

試合前の合宿では調子が良かったのだが、怪我をしてしまい本来の力を発揮することができなかった。しっかりと自分の体のケアをして、試合に万全の体調で望めるようにしたい。

《今大会で得たこと》

自分の更なる課題を見つけることが出来たので、これからの練習で重点的に取り組み、次の試合につなげて良い結果を出したい。

《今年度中の目標》 S 160kg J 210kg



### 男子+105kg 級 関谷圭介 (新潟・県ウエイトリフティング協会)

《大会前の目標記録 ⇒ 大会結果》

S 150 ⇒ 145 C-J 190 ⇒ 190 T 340 ⇒ 335

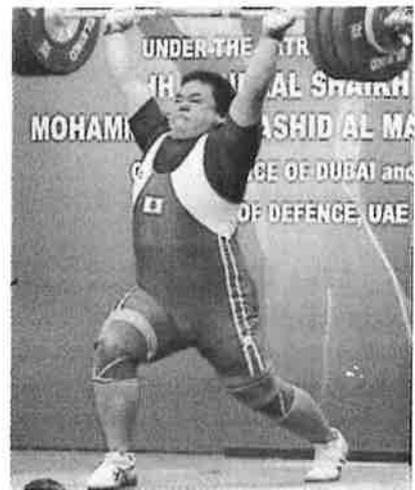
《感想・反省》

スタート重量が低めの設定だったので6本すべて成功しなくてはならない試合でした。スナッチの2本目での失敗は、普段、課題としている部分が出来ずに後ろへ流してしまいました。普段からの意識をもっと強く持って、試合での無駄な失敗を無くしていきたいと思います。

《今大会で得たこと》

確実に挙げなければならない重量を、簡単に失敗してしまうところが私の弱点の一つであり、今回もその弱点が出てしまいました。1階の失敗が順位を左右することを改めて感じ、1本の大切さ重要さを再認識しました。弱点を克服し、国体・全日本社会人と納得のいく試合をしたいと思います。

《今年度中の目標》 S 160 C-J 205kg



## 第50回全日本学生新人選手権大会

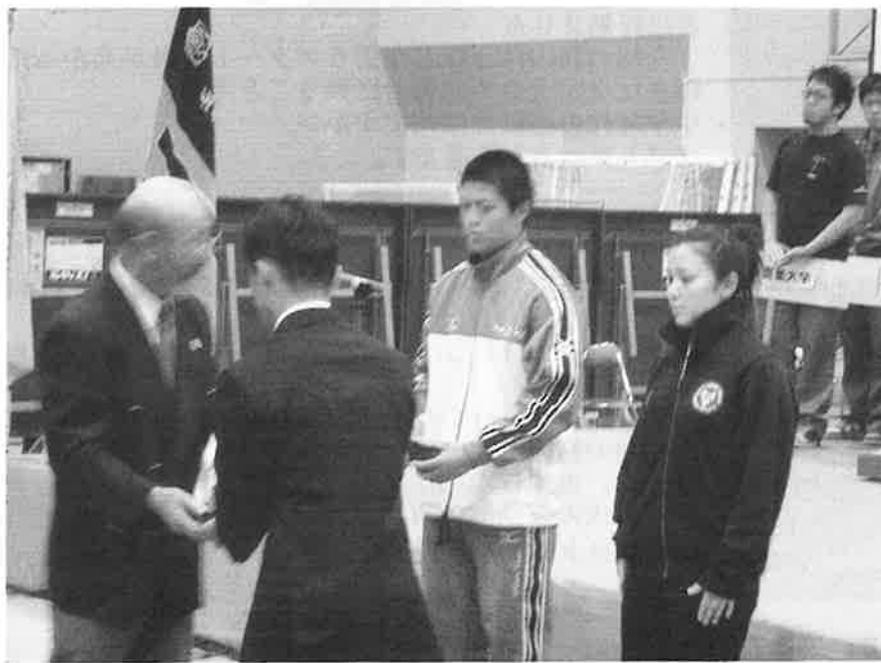
平成17年度第50回全日本学生新人選手権大会が横浜市磯子スポーツセンターにて10月8日（土）から9日（日）の2日間にわたり開催されました。半世紀にわたる長い歴史のなかで、この大会は多くの名選手達が出場し国際大会へのステップとしての大きな役割を果たしている。

今回は全国16大学から98名の選手が参加し、昨年度より参加選手も増え、各階級で熱戦が繰り広げられた。学生の新人大会ということで1年生が大半をしめ緊張をしている選手が多く見られたが、スポーツマンらしくさわやかな試技が多く、また上級生の応援にも熱が入り盛り上がりのある大会となった。

男子+105kg級のC&J競技で176kgの大会新記録が樹立され、女子では58kg級でS、C&Jおよびトータルで69kgではS競技でそれぞれ大会新記録が樹立され、+75kg級ではSおよびトータルで大会タイ記録が樹立された。最優秀選手には男子が77kg級の杉久志選手（日本大学）、女子が58kg級で大会新記録を樹立した守美穂子選手（日本体育大学）がそれぞれ選ばれた。

今回出場した新人選手が記録を伸ばし、学生ウェイトリフティング界を盛り上げていってくれることと、世界の舞台で戦える選手に成長してくれることを大いに期待している。

学生連盟理事、埼玉短期大学／加藤智子



# 第50回全日本学生新人選手権大会優勝の感想 男子最優秀は77kg級 杉(日大)が受賞!!



56kg級優勝 運天 力也 平成国際大1年 身長153cm 南風原校出

練習ベスト S97、J120、Sq150、FSq125、DL160、Mp55

<優勝の感想>

優勝できるとは思っていなかったので、優勝できてとても嬉しい。80点の出来。

今回の勝因は、一本一本集中してとった結果が優勝として結びついた。将来はインカレで日本一になり、次に全日本で優勝してオリンピックに出場したい。

<中学時代の運動部は何ですか>

何もやっていない。

S 88、J 115、T 203



62kg級優勝 高木 悠介 早稲田大1年 身長165cm 愛工大名電高出

練習ベスト S102、J125、Sq160、FSq140、DL155、Mp64

<優勝の感想>

大会前に足首を痛めてしまったので不安でしたが、良い結果が出せてホットしています。80点の出来。

今回の勝因は、順位よりも一本一本大切にとっていくことに心掛けた。将来は、インカレで優勝したい。

<中学時代の運動部は何ですか>

何もやっていなかった。

S 95、J 125、T 225



69kg級優勝 濱田 晃嘉 日体大1年 身長168cm 諫早農業高校出

練習ベスト S112.5、J135、Sq180、FSq160、DL170、Mp82.5

<優勝の感想>

成功率が1本づつしかとれなかったのであまり嬉しくありません。自己評価20点

今回の勝因は、みんなよりスタート重量が高かった。将来は全国大会で表彰台に乗ることです。

<中学時代の運動部は何ですか>

ソフトテニスと柔道です。

S 111、J 130、T 241



77kg級優勝 杉 久志 日本大1年 身長174cm 明石南高校出

練習ベスト S118、J152、Sq210、FSq192.5、DL200、Mp90

<優勝の感想>

大学の試合で初めての優勝で嬉しいです。70点の出来。

今回の勝因は、一本一本を集中して本数をとれたこと。将来は、まず日本一になることです。

<中学時代の運動部は何ですか>

バスケットボール部です。

S 118、J 152、T 270

# +105kg級廣瀬 (日大) がJ176kgの大会新！！



**S113、J154、T267**

**85kg級優勝 米山 圭一 早稲田大1年 身長166cm 吉田高校出**

練習ベスト S113、J154、Sq205、FSq170、DL190、Mp85

<優勝の感想>

優勝できると思っていなかったのでも嬉しい。スナッチ・ジャーク共に新記録が出て良かった。自己評価90点の出来。

試合の勝因は一本一本集中できていたこと。

将来は、インカレでも活躍できる選手になりたい。

<中学時代の運動部は何ですか>

卓球部



**S118、J139、T254**

**94kg級優勝 塩山 泰行 明治大学2年 身長178cm 聖田高校出**

練習ベスト S120、J142.5、Sq190、FSq170、DL200、Mp80

<優勝の感想>

大学に入学して初めて優勝出来て嬉しい。これからももっと重い重量を扱えるようになって試合で活躍したい。自己評価80点

試合の勝因はセコンドのお陰と日頃の練習の成果で優勝することができました。

将来は、全日本学生個人戦や学生選抜大会に出場し頑張りたい。

<中学時代の運動部は何ですか>

水泳部



**S121、J153、T274**

**105kg級優勝 小松 翔 金沢学院大1年 身長180cm 横手工業高出**

練習ベスト S130、J155、Sq207.5、FSq180

<優勝の感想>

優勝できて嬉しいが、記録的にはスナッチは9kg下なので悔しい。ジャークもベストが出せず悔しい。自己評価30点

試合の勝因は運が良かっただけ。

将来は、S150-J170は必ずやりたい。

<中学時代の運動部は何ですか>

卓球部



**S120、J176、T296  
CR**

**+105kg級優勝 廣瀬 将也 日本大1年 身長182cm 吉田高校**

練習ベスト S135、J178、Sq240、FSq195、DL200、Mp100

<優勝の感想>

記録は自己ベストとは遠く満足していないが、完調でない状態で勝ったのは嬉しい。自己評価65点

試合の勝因は、コーチの指導が実を結んだと思います。

将来は、国際大会に出場すること、C&Jで200kgを挙げる事です。

<中学時代の運動部は何ですか>

バスケットボール部

# 女子最優秀は58kg級 守(日体大)が受賞！！



**58kg級優勝 守 美穂子 日体大1年 身長153cm 北九州高校出**  
練習ベスト S 77、J100、Sq140、FSq115、DL115、Mp50

<優勝の感想>

とても嬉しいです。しかしスナッチ・ジャーク共ベスト記録より下回ってしまい悔しい。次の試合は新記録を出したい。自己評価70点の出来。

試合の勝因は6本成功を目標にしましたが、5本の成功率だと思います。

将来は、全日本での優勝。そして世界で活躍できる選手になりたい。

<中学時代の運動部は何ですか>

陸上部

**S 72 CR J 90 CRT 16 2 CR**



**63kg級優勝 大山 恵理 早稲田大1年 身長157cm 前橋育英高校**  
練習ベスト S67.5、J82、Sq100、Sq95、DL100、Mp45

<優勝の感想>

自分の100%の力が十分に出せなかったのが悔しいです。20点のでも次回の大会では、満足度が100点になるよう頑張りたい。

試合の勝因は先輩方のセコンドのお陰です。

今は、他の選手より記録が全然低けれど今年中には必ず抜きたいです。

<中学時代の運動部は何ですか>

柔道部

**S 65 J 75 T 140**



**69kg級優勝 谷 綾野 金沢学院大1年 身長156cm 清川高校出**  
練習ベスト S82.5、J97、Sq135、FSq115、DL135、Mp45

<優勝の感想>

嬉しですが、SとJも自己ベストではなかったのが、ベストを出して優勝することができたら良かったと思います。自己評価78点

試合の勝因はみんなの応援です。練習ではベストの10kg下を落としていましたが、今日みんなの応援で気合いを入れ直す事ができました。将来は、技術面と精神面でもより強くなり世界の大会で通用する選手になることです。

<中学時代の運動部は何ですか>

柔道部

**S 80 CR J 95 T 175**



**75kg級優勝 玉村 弥生 日体大1年 身長165cm 豊見城高校**  
練習ベスト S77.5、J100、Sq145、FSq115、DL115、Mp50

<優勝の感想>

嬉しいですがもっと高い重量で優勝したかった。自己評価30点

試合の勝因は、アップの時に気持ちを落ち着かせて行いました。

将来は、いろんな大会で活躍できるような選手になりたいです。

<中学時代の運動部は何ですか>

バレーボール部と陸上部

**S 68 J 90 T 158**



**+75kg級優勝 系数 麗 日体大1年 身長154cm 糸満高校出**  
練習ベスト S82.5、J108、Sq165、FSq135、DL130、Mp52.5

<優勝の感想>

優勝は嬉しいですが、自己ベストより10kg以上なので残念です。だんだんと調子が戻ってきている感じがするのでしっかりと練習を積んでいきたい。自己評価50点

試合の勝因は、最近の練習で成功率が良くなったことです。

将来は、今のベスト記録より10kg以上上げたい。

<中学時代の運動部は何ですか>

やっていない。

**S 75 CS J 95 T 170 CS**

## 国民体育大会観戦記

競技委員長 菊地俊美

白壁の街であり、江戸時代より天領として栄えた街でもある倉敷は、わが国ウエイトリフティング界においても、高校、一般選手を問わず多くのチャンピオンを輩出した土地でもある。このウエイトリフティング界にとって歴史ある倉敷市で第60回国民体育大会が10月23日から26日まで成年の部が倉敷市体育館、少年の部が倉敷市ウエイトリフティング場で総勢323名の参加をみて盛大に開催された。以下は倉敷市体育館で展開された成年の部を中心に選手の活躍を記したものである。

初日は53kg級、56kg級、62kg級の3階級が行われ、それぞれ越智(大商大)、山田(群馬総合ガードシステム)、上地(日本大学)が総合優勝した。3者とも記録的にはやや物足りないが、越智、上地は大学生であり、経験豊かな社会人に伍しての勝利は価値があるといえる。また、56kg級の山田はフォームの不安定を抱えてのスタートとなったが、スナッチは得点獲得を重視した慎重な試合運で2回成功(104kg)と無難にまとめ、ジャークにおいては143kgの大会新を樹立して完全優勝を果たした。実力はまだまだ大学生の追従を許さないものがあり、さらにスナッチを強化し来年のアジア大会に向けての精進を期待したい。

2日目は69kg級、77kg級の2階級が行われた。69kg級はアテネ五輪代表選手の今村(高野建設)が同じ社会人の上村(尼崎工業高校教員)や近藤(トヨタ自動車)をスナッチ、ジャークとも堅実な試合運びで振り切り、昨年2位の雪辱を果たし総合優勝を飾った。記録的にはやや低調の感は否めないが、上位3選手の接戦は見応えがあり、1kgルールの長所が随所に現れた戦いでもあった。社会人が上位を占めたなかで、坂(日本大学)や野村(福岡大学)といった学生陣も記録を伸ばしており、近い将来この階級を代表する選手となる予感がする。

77kg級は昨年の覇者である松崎(熊本県スポーツ振興事業団)が、地元の期待を一身に背負い昨年の雪辱に燃える片岡(岡山徽章)をわずか1kgでかわし、2年連続の総合優勝を飾った。記録としては昨年の優勝記録より低下しており、全体的にはレベルダウンしているなかで、スナッチで1位になった吉岡(九州国際大)はフォームに安定性があり、クリーン&ジャークの強化が進めばトータル300kg台は望める選手である。

3日目は85kg級、94kg級の2階級が行われた。85kg級は高橋(九州国際大)がスナッチ、ジャークとも他を圧倒し初の総合優勝を飾った。高橋は9月29日にドバイで行われたアジア選手権大会にも出場しスナッチで144kgのジュニア日本新を樹立している。今回はアジア選手権大会から間が無いこともあり、連続しての新記録樹立とはならなかったが、安定感のある試技は将来の日本を背負う人材たるに十分である。

94kg級はスナッチで1位、ジャークで2位を占めた地元岡山県期待の山本(倉敷市立工業高校教員)が水田(法政大学)を5kg差でかわし総合優勝を飾った。全階級の中で最も激しい戦いを展開したのは、大学生と社会人の力が拮抗したこの94kg級と

思われる、実力者の山本や菅井(自衛隊)、平岡(静岡県)に対して、進境著しい若手の水田や川畑(金沢学院大)それに小笠原(法政大学)が挑んだスナッチとジャークは1試技毎に順位が換わる展開を示し、場内の観衆を興奮のるつぼに引き込む大熱戦となった。その接戦の中からジャークで川畑(182kg)と水田(187kg)がジュニア日本新、トータルで水田が330kgの大学新を樹立したことは、重量級での若手の台頭を待ち望んでいる本協会としては明るい材料である。

最終日は105kgと超105kg級の2階級が行われた。105kg級は門脇(日本大学)が同僚の高橋(日本大学)を制し、スナッチとトータルで優勝した。門脇本人のベスト記録よりはかなり低くエントリーに恵まれた勝利でもあったが、実力は全日本を代表するクラスなので怪我を完治させて次年度の地元兵庫国体での活躍を期待したい。

超105kg級は、ここ10年間国内に敵なしの吉本(東村教育委員会)が実力通りの試技を見せ、スナッチ、ジャーク、トータルを制しての完全優勝で締めくくった。この階級の優勝は吉本の指定席の感があるが、最近では学生の台頭も目覚しく総合4位に入った葛葉(日本大学)がスナッチで150kg、トータルで336kgのジュニア日本新、同6位の九州国際大1年生の太田がスナッチで149kgと同じくジュニア日本新を樹立し、次第にレベルアップがはかられている。世界とはまだまだ記録の格差は大きいですが、何事も人材の育成が肝心なことから若手の成長は世界と戦いうえでは一縷の望みといえる。

全体を通して日本記録こそなかったが高校新が1つ、ジュニア日本新が4つ、大学新が2つ、大会新が2つ樹立された。樹立数としてはやや物足りないところではあるが、各階級とも随所に熱戦が展開され、ウエイトリフティングの力と技の戦いを存分に堪能することができた。その要因としては、まずは1kgルールの導入が挙げられる。従来の2.5kgアップではかなりの力の差が無ければ決着がつかないことがあり、その結果体重差に持ち込むことが多かったが、今回からは1kgという最小単位で争うことができたので、重量差での決着がし易くなった。スナッチ、ジャークとも終盤になって試技の変更が頻繁に行われ、体重差での決着が少なかったことはその証左といえる。二つ目は、学生陣の活躍である。9階級中4階級の総合優勝を占めたことは、これからの強化を見据えたら好ましい材料には違いないが、なによりも若者の活躍は大会全体を盛り上げるエネルギーを醸し出すことにある。今後とも国体に限らず各種の大会で活躍されることを望むとともに、必ずしも恵まれたトレーニング環境に身を置いているとはいえない社会人選手に対してもなお一層の奮起を期待する。

最後に団体で優勝された沖縄県には、不断のご努力が報いられたことをお喜び申し上げますとともに、今回の会場地を引き受けられた岡山県の関係者には、会場設営から運営の準備に携われた長年のご努力に対して深く敬意と感謝を表するものである。

# “岡山国体” 熱写真



成年+105kg級吉本選手のC&J



少年56kg級仲本選手のS日本新



成年94kg級S優勝の地元山本選手の表彰式



成年53kg級ジャーク優勝の納富選手



激戦成年94kg級ジャーク優勝の水田選手



成年56kg級S・J優勝の山田選手

# 国体団体優勝（沖縄県チーム）喜びの感想

## <成年・少年総合得点>

1位	沖縄県	101点
2位	岡山県	95点
3位	山梨県	87点
4位	京都府	85点
5位	兵庫県	78点
6位	熊本県	70点
7位	福島県	62点
8位	秋田県	58点

※ 参加点 10点を加算した得点

## <成年総合得点>

1位	岡山県	50点
1位	兵庫県	50点
3位	沖縄県	48点
4位	山梨県	46点
5位	熊本県	45点
6位	京都府	32点
7位	秋田県	31点
8位	福岡県	29点

## <少年総合得点>

1位	沖縄県	43点
1位	京都府	43点
3位	福島県	41点
4位	宮城県	37点
5位	岡山県	35点
6位	香川県	34点
7位	山梨県	31点
8位	大分県	30点

監督・選手	優勝した感想 (満足度は何点)
少年監督 糸満高校教諭 瀧慶次 晃	<p><b>満足度90点</b> 大会期間中は緊張の連続で、+105kg級の吉本選手のジャーク1本目の試技で優勝が決まった瞬間、興奮して言葉がでなかった。 &lt;国体優勝の秘訣と苦勞した点は？&gt; ・少年と成年との合同合宿や計画的な強化合宿がうまくいった。 ・全選手が1点の大切さを理解し、一本一本の試技を確実に成功させ ・苦勞した点は、他の高校からの選手で国体メンバーが選出された為、選手とのコミュニケーションづくりや怪我の予防・コンディショニングづくり等に細心の注意をはらった。 &lt;座右の銘は&gt; 夢を実現させるためには苦勞を惜しむな。</p>
少年コーチ 泊高校教諭 照屋 智康	<p><b>満足度99点</b> 3年振りの優勝なので感無量です。 &lt;国体優勝の秘訣と今後の課題は？&gt; 監督、コーチ、選手の信頼関係がうまくいった。 今後の課題は、高校生の強化が第一優先。  &lt;座右の銘は&gt; 思いはかなう。</p>
少年53kg級 南部工高校3年 小山内伸明 S 92kg~2位 J 104kg~3位  *練習ベスト記録 S100、J107、Sq140 DL130、MP55	<p><b>満足度100点</b> チーム全員で協力しあって優勝できたのでとても嬉しい。 &lt;国体優勝の秘訣と今後の課題は？&gt; 自分の事を考えないで団体優勝のためだけに努力した。 今後もどんどん記録を伸ばして強くなりたいです。 練習時間は3時間です。 &lt;座右の銘は&gt; 一致団結</p>
少年56kg級 豊見城高校3年 仲本 雄太 S 104kg~1位 J 118kg~1位	<p><b>満足度100点</b> 初めての国体での優勝！とても嬉しかったです。そして新記録も出して良かった。 &lt;国体優勝の秘訣と今後の課題は？&gt; 国体合宿を2ヶ月前から、土・日を利用して行っていたという 今後の課題は、Jにおいても高校新記録を出したいです。 練習時間は、木と日が休みで3時間くらいです。 &lt;座右の銘は&gt; 為せば成る何事も。</p>
少年105kg級 辺土名高校3年 宮平 雅士 S 116kg~2位 J 149kg~2位  *練習ベスト記録 S115、J140、Sq220 DL200、MP75	<p><b>満足度100点</b> とても嬉しいです。 &lt;国体優勝の秘訣と今後の課題は？&gt; みんなが自分の仕事をきっちりとこなしたから優勝できたと思います。 今後の課題は、日本高校新記録が出せるように頑張りたい。 練習時間は、2時間位です。 &lt;座右の銘は&gt; 一番。</p>



## 天皇杯を受賞する 沖縄県比嘉成年監督

<p>成年監督 沖縄工業高校教諭 <b>比嘉 敏彦</b></p>	<p><b>満足度 85点</b> 3年振り9度目の優勝という事で結果には満足しています。 &lt;国体優勝の秘訣と苦勞した点は？&gt; 選手一人一人の責任能力とチームに対する思い入れ。 苦勞した点は、①選手選考。②怪我に対する管理、サポート。 &lt;座右の銘は&gt; 忍耐。</p>
<p>成年56kg級 日本大学2年 豊見城高校出 <b>上地 克彦</b> S111kg～5位 J150kg～1位  *練習ベスト記録 S125、J161、Sq205 DL215、MP70</p>	<p><b>満足度 80点</b> 昨年は僅差で負けましたが今年は勝てて良かったです。 &lt;国体優勝の秘訣と今後の課題は？&gt; 優勝を目指し、監督、コーチ丸になって実を結んだ。 今後は、早く日本一になって大学記録を樹立し、来年のアジア大会、オリンピックに出場したい。練習時間は3時間位です。 &lt;座右の銘は&gt; 今を一生懸命。</p>
<p>成年85kg級 県公園スポーツ振興協会 糸満一法政大卒 <b>平良 次悦</b> S132kg～4位 J168kg～3位  *練習ベスト記録 S132.5、J172.5、Sq230 DL210、MP100</p>	<p><b>満足度 90点</b> プレッシャーの中、選手・監督が一つになり、その結果3年振りに優勝できたのでとても嬉しい。 &lt;国体優勝の秘訣と今後の課題は？&gt; 今大会においては、やはり成功率が良かったからだと思います。 今後は連覇に向けて練習に励み、そして怪我をしないように練習後のケアもしっかりやっていきたい。 練習時間は一日2時間、週3～4日です。 &lt;座右の銘は&gt; 継続は力なり。</p>
<p>成年105kg級 南風原高校教諭 糸満一法政大卒 <b>平良 一悦</b> S136kg～8位 J177kg～1位  *練習ベスト記録 S125、J175、Sq240 DL210、MP100</p>	<p><b>満足度 70点</b> 3年振りということでもとても嬉しいです。 &lt;国体優勝の秘訣と今後の課題は？&gt; 一致団結。 今後の抱負は、身体と相談しながらやっていきたい。 練習時間は2時間です。 &lt;座右の銘は&gt; 継続は力なり。</p>
<p>成年+105kg級 東村教育委員会 那覇西一法政大卒 <b>吉本 久也</b> S169kg～1位 J205kg～1位  *練習ベスト記録 S180、J220、Sq300 DL280、MP110</p>	<p><b>満足度 95点</b> とても嬉しいです。個人でも優勝できたので二重の喜びです。沖縄に胸を張って帰ります。 &lt;国体優勝の秘訣と今後の課題は？&gt; 一致団結した結果です。 今後の抱負としては、出場できる試合は全てベストを尽くし優勝できるようにしたい。練習時間は一日1時間です。 &lt;座右の銘は&gt; 向上の一途に終点なし！！</p>

# 2005第4回東アジア競技大会 (MAKAU)

報告者 西澤 勝美

大会期間：平成17年10月30日（日）～平成17年11月3日（木）

場所：中華人民共和国特別行政区マカオ

日本選手団：審判員 篠宮 稔・中川 豊美

監督 小宮山哲雄（男子）・長谷場久美（女子）

コーチ 三宅 義行・川畑 勉・西澤 勝美・木村 春彦

## <男子選手>

56 kg 級：堰川 康信（自衛隊体育学校）  
69 kg 級：平良 健太（法政大学）  
77 kg 級：新谷 義人（石川県体育協会）  
85 kg 級：鈴木 和美（自衛隊体育学校）  
85 kg 級：木曾川 章（富士北稜高校教員）  
94 kg 級：佐藤 彰紘（自衛隊体育学校）  
105 kg 級：園山 昇（自衛隊体育学校）  
+105 kg 級：森田 宗弘（自衛隊体育学校）

## <女子選手>

48 kg 級：三宅 宏実（法政大学）  
48 kg 級：大城みさき（トラウム）  
53 kg 級：松宮紅美恵（自衛隊体育学校）  
63 kg 級：橋田 麻由（金沢学院大学）  
69 kg 級：齋藤 里香（立命館大学）  
75 kg 級：今鉾 一恵（自衛隊体育学校）  
+75 kg 級：城内 史子（早稲田大学）



大会終了後の日本選手団の写真

## 日本選手団大活躍 銀メダル×2個、銅メダル×5個獲得

### 日本新記録達成!! 新谷、三宅、齋藤、今鉢選手

中華人民共和国特別行政区マカオで、17年10月30日(日)～17年11月3日(木)の5日間に渡って、総合開会式で使われたマカオスタジアム内の施設で大会が行われた。

男子は7カ国32名、女子は7カ国33名がエントリーして熱い戦いが繰り広げられた。

日本選手団の最大の目標は「一つでも多くのメダル獲得」メダルに届かない選手は記録の更新又は、全日本選手権大会の記録を1kgでも上まわる事を目標に試合に臨んだ。

17年10月11日(火)から事前合宿を国立スポーツ化学センター(JISS)において実施し、調整トレーニングをへて試合に挑んだ。

#### <男子>

今大会は、非常に成功率の高い試合であった。56kg級堰川選手4本、69kg級平良選手4本、77kg級新谷選手6本、85kg級木曾川選手4本、85kg級鈴木選手6本、94kg級佐藤選手4本、105kg級園山選手4本、+105kg級森田選手6本と48試技中38試技成功と平均4.75本(79.16%)と成功率の高い試合であった。

その結果、銀×1、銅×4のメダルを獲得することができた。

新谷選手がジャーク・トータルにおいて日本新記録を達成し銀メダル獲得、平良選手、佐藤選手、園山選手は順当に戦い3位を獲得、ベテランの二人、鈴木選手は、メダル獲得が厳しい状況であったが6本成功で、この大会連続銅メダル獲得、森田選手も6本成功でメダルには1kgたりず惜しくも4位、堰川選手は、スナッチ・トータルで自己記録更新し5位、木曾川選手は、調整合宿中に肘を痛めたにも関わらず5位と全員大健闘の大会であった。

#### <女子>

今大会は、48kg級大城選手3本、48kg級三宅選手5本、53kg級松宮選手4本、63kg級橋田選手3本、69kg級齋藤選手4本、75kg級今鉢選手4本、+75kg級城内選手4本と42試技中27試技と平均3.85本(64.2%)とまずまずの良い成功率の試合であった。

その結果、銀×1、銅×1のメダルを獲得することができた。

三宅選手が当初53kg級で出場予定であったがエントリー状況を見て、48kg級で出場し、「最大目標のメダル獲得」を確実にするため出場、スナッチ・ジャーク・トータルで日本新記録を達成し、銀メダルを獲得、城内選手はぎっくり腰の痛みが残る中、確実な試合運びをして銅メダルを獲得、齋藤選手は、スナッチ・ジャーク・トータルで自己の記録を塗りかえ日本新記録を達成し5位、今鉢選手もスナッチ・トータルで自己の記録を塗りかえ日本新記録を達成し4位、橋田選手は、ジャークにおいてジュニア日本新を樹立し5位、大城選手も5位と健闘

#### <全体>

今年最大のJOC指定の国際大会で、男女合わせて銀メダル×2個、銅メダル×5個と成果の多い大会であった。また、事前合宿から男女ともにまとまりのあるチームに仕上がりに、よい結果ができた要因の一つに感じた。

# メダル獲得者



W48kg級 三宅選手



W+75kg 城内選手



69kg級 平良選手



77kg級 新谷選手



85kg級 鈴木選手



94kg級 佐藤選手



105kg級 園山選手

# 2005年男子第74回・女子第17回世界選手権大会

2005. 11. 9 ~ 17 カタール国ドーハ

## スタッフ

男子監督	小宮山 哲雄	(山梨県立吉田高等学校教諭)
女子監督	長谷場 久美	(JOC専任コーチ)
コーチ	三宅 義行	(株 光波)
コーチ	木村 春彦	(自衛隊体育学校)
コーチ	浅田 浩伸	(石川県珠洲市スポーツ振興事業団)

男子選手		S	C&J	T	順位
94 kg級	平岡 勇輝 (静岡県協会)	140	186	326	22位
105 kg級	門脇 創一 (日本大学)	150	178	328	14位

女子選手		S	C&J	T	順位
48 kg級	三宅 宏実 (法政大学2年)	81NS	110NS	191NS	4位
63 kg級	渡慶次 雅子 (日本体育大学4年)	82	106	188	15位
69 kg級	斎藤 里香 (立命館大学4年)	90	113	203	12位
75 kg級	今 銚 一恵 (自衛隊体育学校)	105NS	120	225	8位
75 kg級	菊田 裕子 (早稲田大学2年)	84	103	187	15位
+75 kg級	城内 史子 (早稲田大学3年)	87	125	212	12位
+75 kg級	嶋本 麻美 (和歌山東高校3年)	85	110HR	195	16位



世界ウエイトリフティング連盟創設100年を祝う、2005年「世界選手権大会」は中東アラビア半島東部に位置するカタール国の首都ドーハ市カリファスポーツコンプレックスで11月9日～17日に開催された。

カタール国は主に石油と天然ガスに依存する経済体制で、カタール国籍を持つ人よりもインド、パキスタン、イラン等の外国人労働者が総人口よりも多く占めている。またドーハでは2006年の第15回アジア競技大会の開催が決定しているからか、街の至るところに急ピッチで工事、整備している光景が見られた。また、ドーハの11月の気候は日中少々暑いが朝夕は涼しく過ごしやすい食事も特に問題なく、会場やアップ場はエアコンが効いており、選手たちは快適に試合に臨めたと思う。

そして、大会では賞金レースが取り入れられ、優勝 3,000\$ 2位 2,000\$ 3位 1,000\$、世界新記録樹立者に 10,000\$、Jr 世界新記録樹立者に 5,000\$ の報奨金がそれぞれ支給された。

また、当地では在カタール国大使の堀江ご夫妻が日本選手団スタッフを公邸に招き、私達は手厚いお持てなしを受けました。

### 三宅宏実選手、日本選手久々の世界の表彰台 (C & J)

#### 【女子】

48kg級 三宅 宏実 (法政大学) 11月9日 17:30～

S 81 (日本タイ) C&J 110 (日本タイ) T 191 (日本タイ) 4位

Aグループに出場。スナッチ、ジャークとも2本ずつ成功させ、すべて10月の東アジア大会と同記録をマークし、日本タイ記録で4位入賞した (C&Jは銅メダル)。連戦でのコンディションが心配されたが、ここ一番の勝負に賭ける集中力は凄まじく、世界の強豪と渡り合っただけの4位は立派だった。今後さらに世界のトップへ上り詰めてくれることを期待したい。

63kg級 渡慶次 雅子 (日本体育大学) 11月12日 13:00～

S 82 C&J 106 T 188 15位

世界選手権初出場でスナッチ、ジャークとも2本ずつ成功させた。いずれも2本目失敗→3本目成功で、若干余力を残した感があり本人としても不完全燃焼かもしれないが、ジャークは自己新記録で締めくくられた。無駄のないフォームとまとめの巧さに磨きをかけて、さらにレベルアップし国際大会を経験して行ってほしい。

69kg級 齋藤 里香 (立命館大学) 11月13日 15:00～

S 90 (日本タイ) C&J 113 T 203 12位

11日前の東アジア大会で全て日本新をマークし、その勢いも駆って試合間隔が短いながら再び記録更新が期待された。スナッチは1本目失敗したものの3本目に90を成功させたが、ジャークはスタートの113で終わり記録更新はならなかった。しかし体重がリミットまでには余裕があり効率良い筋量増加を課題として記録を伸ばし、世界との差を縮めていってほしい。

75kg級 菊田 裕子 (早稲田大学) 11月13日 15:00～

S 84 C&J 103 T 187 16位

従来の69kg級から階級を上げて国際大会は75kgで初試合だった。もともと成功率が高く、勝負強い選手だがスナッチ、ジャークとも2本成功し、いずれも3本目に積極果敢に自己記録更新を狙ったが惜しくも失敗した。今後、絶対的筋力の向上を図り、試合期トレーニングで高重量をマークできるようにして更に記録を伸ばして貰ってほしい。

75kg級 今鋒 一恵 (自衛隊体育学校) 11月13日 20:00~

S 105 (日本タイ) C&J 120 T 225 8位

Aグループに出場。全て日本新を出した東アジア大会から10日間と短い試合間隔での連戦となった。スナッチは2本成功で東アジア同様105をマーク。ジャークは2本目125を失敗の後、日本新と6位を賭け127へ挑戦したが差しで失敗。しかし8位に入賞した。現時点で重量級のエースであり日本ではほぼライバルがいない状態だが、世界における位置をしっかりと見据えて世界の上位に入賞をして貰ってほしい。

+75kg級 嶋本 麻美 (和歌山東高校) 11月14日 15:00~

S 85 C&J 110 (高校新) T 195 16位

高校生で唯一の出場。事前合宿から手首の痛みがあったが克服し、スナッチの1本目に失敗したものの、後は自分のリズムをつかみ、伸び伸びとした試技で5本成功した。世界選手権初出場で本人としても納得のいく試合になったと思う。今後も重量級のホープとして国際試合の経験を積んでスケールの大きい世界の重量級に通用する選手になってくれることを望みたい。

+75kg級 城内 史子 (早稲田大学) 11月14日 15:00~

S 87 C&J 125 T 212 12位

10日前の東アジア大会で痛めた腰が心配されたが、今回の試合には影響なかったようで安心した。スナッチは1本目成功の後2、3本目は引ききれず失敗。ジャークは1、2本目成功し3本目に自らの持つ日本記録更新と、日本女子初を賭けて130に挑んだが、クリーンしたものの少し焦ったか、ディップで前にいき失敗した。まだまだこの階級としてはトップとは距離があるが、他の若手選手の台頭もあるので切磋琢磨し、記録を向上させてほしい。

## 【男子】 大会参加しての本人の感想

男子94kg級 平岡勇輝 (静岡県協会)

《大会結果》

S 140 C&J 186 T 326 22位

《今大会の目標》

今大会の目標はS145以上J185以上やることです。全日本選手権大会から約半年が過ぎているので怪我があったとはいえ、S Jのどちらかで自己新記録を出し自分に自信がつくような試合が出来れば良いと思います。そして、海外試合では調子が悪くなるというジンクスを打ち破りたいです。

《大会を終わって》

今大会での収穫は自分と世界の一流リフターとの違いが分かった事、自分に必要なものは何か、今やるべき事は何か、そして、自分のなかで何が変わったかだと思いません。他国の選手の詳しい練習内容は聞けませんでした。試合の試技を見ていて、ど

の選手もテクニックよりもパワー重視、特にデットリフトが桁違いに強く、身体の線が細い選手でもデットリフトのスピードがとても速かったです。今回の試合内容はとても悔いが残る結果となりましたが、少しずつ力がついていることが分かったので、この経験を生かして更なる競技力向上を目指して頑張っていきたいと思います。

男子 105kg 級 門脇創一（日本大学）

《大会結果》

S 150 C&J 178 T 328 14位

《今大会の目標》

今大会の目標はトータル 340kg 以上やることです。4ヶ月前に足首を怪我してしまって、まだ本調子で試合に臨んだことはありません。自分に自身をつける為にもこの試合で満足のいく結果が出せればよいと思います。

《大会を終わって》

日本と世界では挙げる重量が全然違い、レベルの違いを感じました。重量級でも体つきが明らかに違い、フォームよりもパワーに違いがありました。あと、身体の柔軟性がとてもあり、肩や膝、股関節の柔らかさが自分と比べると圧倒的に違いました。自分のこれからの課題は、上半身の強化と PULL、種目の成功率を上げることです。そのためには、種目は出来るだけ高重量でセットを組み、今までとは全くと言って良いほどしていなかった上半身の筋力トレーニングを積極的に取り入れていきたいと思います。大会で自分の試合内容はあまり良くありませんでしたが、得たものは非常に沢山ありました。本大会の参加させて頂きありがとうございました。

## 最優秀選手に男子 17 歳 (K A Z) 女子 20 歳 (C H N)

今大会の最優秀選手には男子、女子共に Jr の選手が選ばれた。競技開始年齢は 8 歳～10 歳という・・・

### <今回の大会全般の感想>

今回の世界選手権は 18～23 歳と若い年齢層でのチームになった。全員がトータルを出して次に繋がる試合をしたということが最大の収穫になったと思う。しかし他国と比べると全体的な筋力不足は否めないと思うので、各選手が高い目標を持って課題をクリアし、世界の強豪と競って戦ってほしい。また 1kg ルールに関しては従来よりも細かい駆け引きが要求されるようになったが、どうしても練習ベストや持ち記録が高い方が勝負を賭ける場合でも精神的にも有利だと言える。

来年以降、アジア競技大会、世界選手権大会、そして北京オリンピックと主要大会が続いていくが今回出場した選手たちが中心となって、一人でも多くの選手が上位入賞してもらいたいと思う。

今回初めてコーチで参加させていただき、世界最高水準の試合を感じたことは大変有意義な経験をさせていただきました。今後いろいろな形で今回の経験を次世代の選手たちに還元できるようにしたいと思います。そして今回遠征するにあたってお世話になった関係各位に心より感謝申し上げたいと思います。

文責 女子コーチ 浅田浩伸

## 平成17年度文部科学大臣杯第51回全日本大学対抗選手権大会

全日本学生ウエイトリフティング連盟  
会長 小平 紀生

平成17年度文部科学大臣杯第51回全日本大学対抗選手権大会が、11月19日20日の2日間にわたり母校の榮譽を担った1部校10大学より79名の選手が参加し、横浜市磯子スポーツセンターで開催された。

62kg級上地(日大)スナッチ118kg。85kg級高橋竜(九国)スナッチ145kg。+105kg級葛葉(日大)スナッチ152kg。同じく太田(九国)スナッチ153kg。以上4名の選手がジュニア日本新記録を樹立した。

77kg級仲程(日大)ジャーク165kg。94kg級小笠原(法大)スナッチ145kgと2名が大会タイ記録をマークした。

団体優勝の行方は、昨年度優勝し連覇を狙う法政大学と、今年度の東日本大学対抗戦で優勝した日本大学と実力伯仲の両校の間で、学生連盟17年度最終戦を飾るにふさわしい熾烈な優勝争いが展開された。

勝負は最後の+105kgまでもつれ込み、法政大学野原と日本大学葛葉・寺島、両選手の結果次第という激戦となる。ジャークで必死に追い上げる野原を葛葉・寺島の両選手が振り切り、日本大学が158点。法政大学が156点となり日本大学が2年ぶり13回目の優勝を飾った。日本大学の選手ならびに関係者の皆様に心からお祝い申し上げます。

今大会は、4名の選手がジュニア日本新記録を更新するなど、各階級において、手に汗握る熱戦が展開され充実した大会であった。

18年度に向けて学生連盟の益々の充実発展を願うものとして、学生スポーツマンとしての矜持を保ち、心身の陶冶に努め、競技の習熟に励み、新年度が更なる飛躍の年となるよう念願するものです。



# 第51回全日本大学対抗選手権大会優勝しての感想

## 上地 (日大) がS118kgのジュニア日本新記録樹立

56kg級優勝 奥山 正和 法政大4年 身長165cm 八千代松陰高校出



S103-J122-T225

<優勝の感想> 練習ベスト S107.5、J135、Sq192.5、DL160、Mp85  
個人的にはインカレ初優勝なので少し嬉しいが、団体戦で負けてしまったのでそちらの悔しさの方が大きい。60点のでき。

これからの課題はクリーンの受けの動作をうまくし、デッドリフトの強化もする。

<今までで辛かったこと>

怪我をして練習が出来ずに記録が伸びなかった事。



62kg級優勝 上地 克彦 日本大2年 身長156cm 豊見城高校出

<優勝の感想> 練習ベスト S125、J161、Sq205、DL215、Mp70

スナッチでジュニア日本新をとりましたが満足はしていません。  
22点の出来。

これからの課題はS135kg、J170kgを目指すこと。

<今までで辛かったこと>

減量がつらい。

<小・中学校のスポーツ歴>

バスケットボール、空手

S118-J145-T263  
JNR



69kg級優勝 平良 健太 法政大4年 身長169cm 沖縄工業高校出

<優勝の感想> 練習ベスト S126、J160、Sq202.5、DL200、Mp90

ジャーク・トータルで8点とれたのはいいがスナッチで1点の失点が悔しい。自己評価10点

これからの課題は、怪我を治す、また自分の弱い部位を強化する。

<今までで辛かったこと>

怪我で練習が全然出来なかった事。

<小・中学校のスポーツ歴>

サッカー・陸上

S120-J151-T271



77kg級優勝 仲種 忠史 日本大3年 身長167cm 豊見城高校出

<優勝の感想> 練習ベスト S131、J166、Sq232.5、DL205、Mp95

スナッチ・ジャークとも全部成功したので100点のでき。

これからの課題は、怪我を早く治して満足いく練習をたくさんやり自己記録を伸ばしたい。

<今までで辛かったこと>

怪我をして練習が全然出来なかった事です。

<小・中学校のスポーツ歴>

野球

S126-J165-T291

**+105kg級は葛葉(日大)がJr日本新で制し団体優勝!!**

**高橋(九国大)もS145kgのジュニア日本新!**

85kg級優勝 高橋 竜太 九州国際大3年 身長169cm九国大付属高出



<優勝の感想> 練習ベスト S145、J175、Sq220、DL200、Mp95  
あまり嬉しくはない。Sは148、J178をとるつもりだったが出来ず。  
自己評価10点の出来。  
これからの課題は、下半身の強化と自分に適した調整方法を考え、来年は2種目大学新記録を樹立したい。  
<今までで辛かったこと>  
合宿はいつも一番辛い。  
<小・中学校のスポーツ歴>  
空手

**S145-J166-T311**  
**JNR**

94kg級優勝 小笠原 伸吾 法政大3年 身長173cm 吉田高校出



<優勝の感想> 練習ベスト S150、J182、Sq245、DL230、Mp101  
優勝出来た事は嬉しいが、記録をとれなかったのが残念。自己評価70点  
これからの課題は、もっと強くなり補強を中心に伸ばし記録を伸ばしていきたい。  
<今までで辛かったこと>  
昨年から1年間怪我などで記録が低迷していたこと。  
<中学校のスポーツ歴>  
柔道

**S145-J180-T325**  
**CS CR**

105kg級優勝 水田 理 法政大3年 身長170cm 八代産業高出



<優勝の感想> 練習ベスト S147、J191、Sq255、DL230、Mp105  
優勝したのは嬉しいがスナッチ2位だったのが悔しい。自己評価80点  
これからの課題は、失敗のない練習をして成功率をあげる。  
<今までで辛かったこと>  
怪我の痛み  
<小・中学校のスポーツ歴>  
剣道

**S140-J182-T322**

+105kg級優勝 葛葉 崇博 日本大3年 身長182cm 札幌琴似工高



<優勝の感想> 練習ベスト S152、J190、Sq280、DL230、Mp107.5  
安心と喜びです。自己評価65点  
これからの課題は、自己ベスト以下の重量を試合で落とさないこと。  
<今までで辛かったこと>  
合宿でやった最終日の最後の種目DL(各)3×10  
<小・中学校のスポーツ歴>  
バレーボール・野球

**S152-J186-T338**  
**JNR JNR**

# インカレ団体優勝への想い

日本大学保健体育審議会重量挙部

監督 難波 謙二

感極まるインカレ団体優勝とはこのことである。昨年は法政大学に2点差での準優勝・・・。出場した選手はよくやってくれた。3階級でトータル優勝、怪我を負いながらもチームのために死力を尽くした主将、ほぼ全員が3位以内入賞、そして声を嗄らすほどの応援、本当によくやってくれた。ただ、責任があるのは監督、コーチであろうと私は思う。そんな経過を受けての今年の団体優勝。本当の意味での重量挙部というチームが一丸となることができ、監督としての責務を果たすことができた。

昨年のインカレから今年のインカレまでの1年間、私は背水の陣で臨んだ。他大学をみると有力な選手が破竹の勢いで記録を伸ばしている。我が日本大学は有望な部員はいるものの伸びあぐねていた。部員たちに団体優勝を経験してほしい、喜びを分かち合ってもらいたいという思いから、私は鬼になろうと思った。この1年間、部員たちは努力した。お世辞抜きで厳しい練習を乗り越えてくれた。練習、指導方法は諸説あり、決して最適な方法をとったとはいえないかもしれない。しかし、部員たちに団体優勝の喜びを味あわせたいという想いと、私自身の重量挙に対する想いは誰よりも高邁であると自負している。

くしくも今年のインカレは準優勝の法政大学との差は2点。私はこの2点を重く受け止めたい。部員たちの弛まぬ努力と私の想い、既述の私の責務を果たせた結果であると思う。しかし、次は連覇を狙わなければならない。私は部員たちが努力しやすい環境作り、そして練習、指導方法を模索することが最優先課題である。私は連覇をして初めてチームを強くできたと考えている。次からは追われる立場であり、部員たちにはそのプレッシャーが重くのしかかる。私はそのような状況を部員と共に奮起し、連覇そして常勝を目標に勇往邁進で努力していきたい。

この度、インカレ優勝にご尽力いただいた、日本大学関係者、保護者の方々、諸先輩方、又応援して下さった方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

内閣総理大臣杯 第42回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会  
のじぎく兵庫国体記念杯女子ウエイトリフティング競技会  
＜第61回国民体育大会ウエイトリフティング競技リハーサル大会＞

全国から多くの選手・監督・大会関係者の皆様をお迎えし、「内閣総理大臣杯 第42回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会」ならびに「のじぎく兵庫国体記念杯女子ウエイトリフティング競技会」が、兵庫県明石市において盛大に開催することができました。

大会は、平成17年11月25日（金）～27日（日）、「明石市立産業交流センター展示場」および「兵庫県立明石城西高等学校体育館」を会場に、社会人171名、女子104名、合計281名の選手が参加し、3日間にわたり熱戦が繰り広げられました。

内閣総理大臣杯は、昨年度に続き「自衛隊体育学校A」が獲得しました。また部門別優勝では、地域スポーツクラブチーム「かいじクラブA」、官公庁等チーム「自衛隊体育学校A」、そして企業チーム優勝に地元兵庫県から「菊妻商会」が初の栄冠に輝きました。

最優秀選手賞は、85kg級クリーン&ジャーク種目において181kgの大会新記録を樹立した鈴木和美選手（自衛隊体育学校A）が文部科学大臣賞を受賞しました。

また、のじぎく兵庫国体記念杯女子競技会では、63kg級橋田麻由選手（金沢学院大学）、+75kg級嶋本麻美選手（和歌山東高校）が日本新記録に挑戦するなど大いに会場を沸かせました。

兵庫県は、平成7年1月17日、阪神淡路大震災により、6,400人を越す尊い命が奪われ、甚大な被害を受けました。被災から10年が経過し、現在では世界最長のつり橋パールブリッジ（明石海峡大橋）が完成するなど、街は順調に復興しています。この10年間、決して平坦な道のりではありませんでしたが、全国の皆様のあたたかい心に支えられてきました。兵庫県ウエイトリフティング協会関係者一同、心から深く感謝いたします。

さて、平成18年度には、第61回国民体育大会（のじぎく兵庫国体）が明石市で開催されます。『“ありがとう”心から・ひょうごから』をスローガンに全国から寄せられたあたたかいご支援に感謝の意を表す機会とするとともに、震災から学んだ「人と人との絆」を大切に、新たな出会いと交流の場になることを願っています。

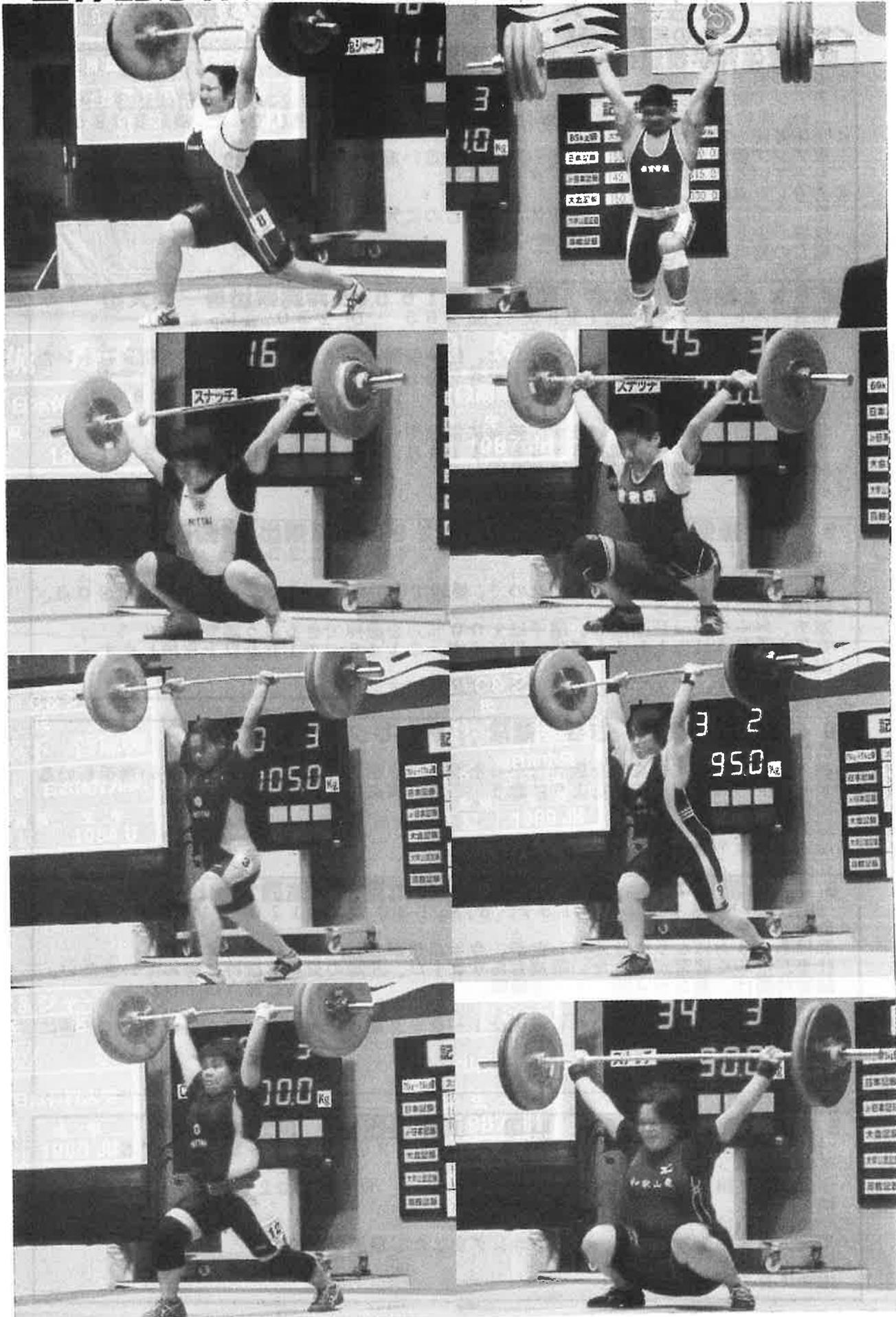
大震災から不死鳥のように蘇った兵庫を是非一度、見に来てください。

最後に全国の皆様からたくさんの義援金・激励等、本当にありがとうございました。

# 国体記念杯女子大会 & 全日本社会人大会写真



# 国体記念杯女子大会 & 全日本社会人大会写真



# 社会人大大会団体優勝者の感想

## <官公庁チームの部団体優勝>

### 自衛隊体育学校監督 西澤 勝美

#### <優勝の感想>

東アジア競技大会後1ヶ月もたっていない為、少し不安ではあったが団体優勝できて嬉しい。怪我人も数多くいた為、順位を確保しながらの試合運びでした。満足度は85点。

#### <団体優勝の秘訣は>

東アジア競技大会後の試合であったため、重い重量の時にしっかり挙げ試合にピークをもっていくように、トレーニングを行った。

#### <苦労した点は>

第一会場はアップ場が寒く、身体を温めるのに大変でした。第二会場は、アップ場と競技場が少し遠かった。

#### <座右の銘は？>

「努力」に勝るものはない。

### 85kg級優勝 鈴木 和美 身長165cm 沖縄県出身 明大出

練習ベスト S155、J195、Sq265、DL230、Mp110

#### <優勝の感想>

今年一年間努力したかいがありました。団体優勝と個人優勝(文部科学大臣賞)もいただいたこと、そして自分自身の調子が昇り調子で挙げれた事がすごく嬉しいです。自己採点は85点。

#### <団体優勝の秘訣は>

日頃の練習の成果だと思います。絶対に怪我や、風邪をひかないことです。来年の全日本選手権では、S158、J198、T356を目標に頑張ります。練習時間は、午前2時間、午後3時間。

#### <座右の銘は>

“克己心”

### 94kg級優勝 菅井 博朗 身長175cm 宮城県出身 柴田農林高校出

練習ベスト S140、J185、Sq240、DL230、Mp90

#### <優勝の感想>

今年で団体4連覇がかかっていたので、優勝できて嬉しいです。自己採点は80点。

#### <団体優勝の秘訣は>

選手、コーチが一致団結し、選手は100%力を発揮できるよう調整する。来年の全日本は、もちろん優勝を狙います。S145、J190以上目指します。

#### <座右の銘は？>

「努力」です。成功するためには努力は絶対です。

## <クラブチームの部団体優勝>

### 94kg級第2位 古谷 竜彦 かいじクラブ監督

#### <優勝の感想>

個人個人で取るべき点数を取れなかったがこの点数となった。予想より良い選手もいるがもう少し点を取れていたように思う。自己採点は60点。

#### <団体優勝の秘訣は>

結束力。

#### <座右の銘は？>

初心。

### 62kg級第7位 藤巻 仁 日川高校-法政大学出

練習ベスト S105、J137.5、Sq180、DL170、Mp65

#### <優勝の感想>

私はあまり力になりませんでした。今年点数がとれて良かったです。仕事が忙しく練習ができない時期もありますが、記録の更新と維持に努めていきたい。練習時間は、週3~4回 1~2時間。自己採点は70点。

#### <団体優勝の秘訣は>

普段は離れて練習をしていても、大会1~2ヶ月前にはみんなで声を掛け合って一緒に練習をし励みあっている。

#### <座右の銘は？>

文武両道

## <企業の部団体優勝>

### 56kg級優勝 菊妻 康司 兵庫県出身 明治大学出

練習ベスト S117.5、J150、Sq220、DL185、Mp75

#### <優勝の感想>

優勝できて嬉しいが、記録がいまいちだった。自己採点は20点。

練習時間は、週2~3回 1~2時間。

#### <今後の抱負は>

地元、国体開催に向けて、トレーニングをこなし優勝を目指す。

#### <座右の銘は？>

成功に努力以外の近道なし。

## 2005年インターナショナルフレンドシップトーナメント

大会期間 平成17年12月10日(土) 男女軽量級・11日(日) 男女重量級  
 大会会場 群馬県前橋市 群馬総合スポーツセンター・ぐんま武道館  
 宿舎 群馬県前橋市 前橋東急イン  
 日本選手団 団長 原 時夫 (群馬県WL協会会長)  
 副団長 篠宮 稔  
 総務 岡本 実  
 監督 小宮山哲雄 (男子) 長谷場久美 (女子)  
 コーチ 原 徹 堀越 典明 (男子)  
 宇敷 益夫 加藤 勇 (女子)

男子選手		女子選手	
56kg級	山田 政晴 (群馬ガード)	48kg級	大城みさき (トラウム)
62kg級	杉内 稔 (明治大学)	53kg級	沼田 洋子 (平成国際大学)
69kg級	鈴木 正紀 (自衛隊)	58kg級	松本 萌波 (早稲田大学)
77kg級	吉岡 祐司 (九州国際大学)	63kg級	島袋由賀利 (自衛隊)
85kg級	加山 健太 (立命館大学)	69kg級	宮城 寿子 (日本体育大学)
94kg級	小笠原伸吾 (法政大学)	75kg級	真下智恵美 (日本体育大学)
105kg級	水田 理 (法政大学)	+75kg級	制野 真理 (柴田農林高校)
+105kg級	太田 和臣 (九州国際大学)		

2005年インターナショナルフレンドシップトーナメント(日・韓・中)3カ国対抗戦として各国男子8名、女子7名の選手が群馬県前橋市の県総合スポーツセンター・ぐんま武道館において盛大に開催された。宿舎は、大会会場から車で15分の前橋東急インホテルで、3カ国合わせて関係者80名が一同に宿泊した。食事は、3食ともバイキング形式での食事等、大会に向けて細やかな心配りが多々みうけられ、群馬県関係者の御努力に頭の下がる思いであった。

チーム編成は、中国は若手選手を中心に女子では13歳、14歳の選手も参加していた。

又、韓国は、地区のクラブチームで編成されていた。我が日本選手団は、地元の山田政晴(群馬総合ガードシステム)以外は23歳以下の学生を中心とする編成で男子がインカレ3週間後、女子が国体記念杯2週間後ということでベストコンディションにするのが難しい中、多くの選手が今シーズンの自己ベストを更新した。国別対抗戦では、男女合わせて金メダル11個獲得した中国が1位、続いて金メダル2個の韓国が2位、同じく金メダル2個の日本が3位で終了した。

そして、日本選手の最優秀選手賞には男子が山田政晴、女子が大城みさきが選ばれた。



## 選手達の反省及び今後の課題

### 56kg級 山田 政晴 (群馬総合ガードシステム)

今年は、全日本選手権大会で、スナッチ100kg、ジャーク136kgという不本意な結果に終わり悔しい思いをしました。また、その後も余り記録も上がらず苦悩していました。その中で地元でフレンドシップ大会が開催され、選手に選ばれ名誉と同時に周囲の期待とオリンピック選手としてのプレッシャーで押し潰されそうな思いになりました。

しかし、結果としてスナッチ108kg、ジャーク146kgで2位でしたが今シーズン最高の記録を出すことが出来ました。最後のジャークでは欲を出して151kgに挑戦して失敗をしてしまい優勝することが出来ませんでした。これからの練習で更なる記録の向上と試合での勝負強さをつけ頑張りたいと思います。最後になりましたが今回のフレンドシップ大会に選んでいただき、自信を無くし掛かっていた自分に自信を取り戻すことができました。そして、地元関係者に準備や大会運営をしていただき感謝しています。

### 62kg級 杉内 稔 (明治大学)

今回のフレンドシップ大会は、私にとって初めての国際試合となりましたが、下手に入れ込むことなく、ほどよい緊張感の中で試合をすることが出来ました。その甲斐あって、今までで初めての6本成功のパーフェクトで試合を終えることができ、記録も自己の持つ試合記録の256kgを4kg更新して260kgまで伸ばすことができました。これからは、良い試合のときと、悪い試合のときとの違いをよく考え次に結びつけて行こうと思います。また、今回の結果に満足することなく上を目指して頑張りたいと思います。

### 69kg級 鈴木 正紀 (自衛隊)

今大会は自分自身久しぶりの国際試合であり、しかも日本開催という事もあり気持ちも高まる試合でしたが、大会前に怪我などもあり十分な練習を積み事ができず不安な気持ちになりました。結果は、スナッチ2本、ジャーク2本と自己記録の20kg下で終わってしまいました。しかし、試合で決してあきらめず自分の力を信じてやり抜いた事が自分自身プラスとなった。今大会では、中国・韓国といった高いレベルの選手と試合ができ素晴らしい経験ができました。最後に日本選手団長を始め監督、コーチに深く感謝し全日本選手権大会等の大会で良い結果を残したいと思います。

### 77kg級 吉岡 祐司 (九州国際大学)

今回の試合の反省点は、試合前から怪我をしてしまったことで、自分自身の体調を管理出来なかったところだと思います。こんなに試合ではがゆい思いをしたのは初めてで、しかも国際試合ということで尚更でした。それとは裏腹に、こんなに練習して強くなりたいと思えたのも初めてで、自分がウエイトリフティングが好きだということが再認識できました。今回の試合に出場して自分の記録は決して良くありませんでしたが、周りの選手と今度は対等に戦いたかったです。

今は、怪我により練習ができませんが焦らず治療に専念し、春からさらなる目標を持って頑張っていきます。

### 85kg級 加山 健太 (立命館大学)

今回、フレンドシップ大会に参加して、韓国、中国の選手のフォーム、スピード、テクニックが優れているということに改めて実感させられました。また、いろいろな選手を観察することによって自分自身の課題や弱点を見つけることが出来ました。このフレンドシップ大会によって得ることが出来たものは多く、今後この経験を生かしさらに高い目標を持ち日本を代表する選手を目指し頑張りたいと思います。

### 94kg級 小笠原伸吾 (法政大学)

今大会に出場して、中国、韓国の選手の強さを改めて知ることができ、本当に良かったと思います。94kg級の中国選手は15歳であるにも関わらず、日本の94kg級のトップ選手よりも強く本当に驚きました。韓国選手にしても本来の自己ベストより20kg下回っているという事でした。今回の試合で自分の今シーズン記録を1kgですが上回ることができ、次につながる試合が出来て良かったと思います。また、この冬で自分の課題を強化し、韓国、中国選手に勝ちたいと思います。

### 105kg級 水田 理 (法政大学)

私は、初めての国際試合に出場することが出来ました。試合の結果は、スナッチ145kg、ジャーク188kgと自己ベストを更新し、成功率も2本、3本という内容でした。しかし、中国、韓国選手との力の差が大きかったので、今以上に練習をして勝てるようにこれからも頑張りたいです。また、今回の記録に満足することなく、これからも努力をして行こうと思います。今回は素晴らしい経験ができ本当に良かったと思いました。

#### **+105kg級 太田 和臣 (九州国際大学)**

今回、フレンドシップ大会に出場して感じたことは、開催国が日本だったので調整もやりやすく、試合に良い感じで臨めました。しかし、結果は、スナッチ148kg、ジャーク180kgと振るいませんでした。スナッチでは、後ろに振ったり、クリーンでは、キャッチを失敗したりと勝負をする前の段階でした。今後、こういう失敗を無くすために課題を見つけて練習していこうと思います。また、試合を通して中国、韓国のパワー、フォーム、スピードどれもすごく勉強になりました。これを参考に自分もパワーアップしてより上を目指していきます。

#### **48kg級 大城みさき (トラウム)**

今回の大会は、東アジア大会から調子が続いていて、練習でも自己記録が触れたりしてスナッチ、ジャーク共、ベスト記録が挙げられる感じで調整が出来ました。しかし、両方ともベストに届かずすごく残念でした。でも、今年目標としていたトータル170kgがクリア出来たことは私にとってプラスになりました。しかし、170kgは世界に通用する記録ではないので、来年にはトータル180kgを目標として頑張ります。

#### **53kg級 沼田 洋子 (平成国際大学)**

今回の大会の目標は、6本成功と自己新記録の更新でした。6本成功は出来ませんでした。スナッチ、ジャーク、トータルにおいて自己ベストを更新できたので嬉しかったです。ジャークは試合の記録が1年半伸びていなかったのがこのような国際大会で自己ベストを更新して大きな自信になりました。スナッチも3本取れたので今大会に関して満足です。しかし、試合内容全て完璧だった訳でもないの、一つ一つを反省して次の全日本ジュニア大会に向けて練習をしていきたいと思えます。特に、ジャークの強化をしていき、体力面では肩甲骨や背筋の強化をしていきたいと思えます。今回は、成功率もよく、自己ベストも出せたので本当に良かったです。これからは更に上を目指して頑張りたいと思えます。

#### **58kg級 松本 萌波 (早稲田大学)**

今回も世界ジュニア大会と同様にとても緊張した。スナッチでは地に足つかずという感じであった。緊張を自分のプラスに出来るようにする精神力が必要だと感じました。世界ジュニア大会ほどではなかったが、やはり緊張して引ききれなかったり、伸びきれなかったり、引きっぱなしになったり、引きでお尻が先に上がったかと思えます。さらに今回目立ったのが安定感のなさでした。体幹部の強化、背部の強化、脚の強化も絶対的に必要だと思えます。今回、体重調整は上手くいったが、身体組成の点から考えるともっと理想的な体型になれると思うので、この冬は、有酸素系トレーニングや他のスポーツを取り入れ、幅広い練習に取り組もうと思えます。

#### **69kg級 宮城 寿子 (日本体育大学)**

国際大会に久しぶりに出場できたが、目標重量だったスナッチ89kg、ジャーク113kgに届くことができず、自分自身の課題がのこった。この大会を振り返ると1試技ごとに自己の課題が解る自己分析のできる貴重な時間を教えてくれたと思う。スナッチ2本、ジャーク1本という結果は情けなくて日本代表に選んでくれた先生方に対し申し訳ない気持ちでいっぱいです。次に試合に選ばれることがあれば、今回の事を反省して期待に応えられるような選手になりたいです。

#### **75kg級 真下智恵美 (日本体育大学)**

大会において緊張からフォームが崩れてしまうことがあり、緊張しても1本目から確実に取れるように精神的に強くしないといけないとスナッチで感じました。ジャークでは、引きからバランスを崩さずにクリーンができたので自分の中では良かったと思えます。クリーンをしたらジャークでさせるという自信がついたので、このままの調子を維持していきたいです。また、今回の大会は自分にとって初めての国際試合でしかも地元というプレッシャーもあり、大変緊張しました。しかし、ジャークで自己記録を更新できたので良い試合が出来たと思えます。これからはスナッチを重点的に強化していきたいと思えます。最後に、地元関係者の大会準備や応援して頂きありがとうございました。

#### **+75kg級 制野 真理 (柴田農林高校)**

普段の試合では緊張しないのですが、今回が初めての国際試合ということで緊張してしまいました。試合前に腰を怪我してしまい思うような試合ができませんでした。今後の課題については怪我を治して先生に言われた通りに体幹の強化をしていきたいと思えます。また、先輩達にも腹筋を強くすると怪我をしなくなると言われたので強化をしていきたいです。早く治して合宿や試合で頑張りたいと思えます。

最後になりましたが、群馬県協会の方々の方々の大会準備及び行き届いた運営により選手がよい状況で試合に臨む事が出来ましたことに対し、心よりお礼申し上げます。選手にとってよい思い出となる大会になりました。

前橋育英高校教諭 (大会コーチ) 原 徹

# 公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会報告

小栗 和成

平成17年12月3日(土)～12月4日(日)の2日間、国立科学スポーツ科学センターにて4回目となる公認スポーツ指導者講師全国研修会を実施しました。

この研修会の目的は

- ① 世界基準という視野で指導者・競技者の育成を目指す。
- ② 統一された指導方法を学び、一貫指導を実施する。
- ③ 競技者育成プログラム「指導者・競技者合同宿泊研修会」のプログラムの内容および指導方法の統一のため。
- ④ 競技の普及・強化に繋がる事業推進。

以上4つの目的で実施しています。

特に③の競技者育成プログラムであるジュニアユース・ジュニアエリート合宿のトレーニングプログラムの確認とトレーニング方法の統一をとるためにはとても大切な研修会になっています。

具体的な内容として

- ① 篠宮専務理事による、指導者の自己理解の仕方の実習とその説明。
- ② 小宮山男子監督、長谷場女子監督による平成17年度の国際大会の選手の活躍の紹介や強化方法とその結果などの報告。
- ③ 武井多加志 山梨県日川高校監督による、動作解析ソフトを使った選手の動きに確認。
- ④ 小栗指導者育成専門委員長による、ウエイトリフティングの動きの基本的な考え方。
- ⑤ 研修会の持ち方などの研究討議。
- ⑥ ジュニアユース・エリート研修合宿に向けての練習方法とその実習。

以上の内容を実施しました。

この研修会の大きな特徴としては、実際にトレーニングプログラムの意味とその内容及び指導ポイントが細かく説明され、実際に指導者に役に立つ研修となっています。

是非各都道府県のコーチを行っている指導者の方々はこの研修会に1度は参加して頂き、日本協会が実施しているナショナルトレーニングシステムを肌で感じ取って頂きたいと切に願っています。

全国研修会と公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会の2つの研修会は(財)日本体育協会の公認スポーツ指導者の更新のための義務研修となっています。(4年間に1度義務研修を受けなければ更新の連絡が入りません)

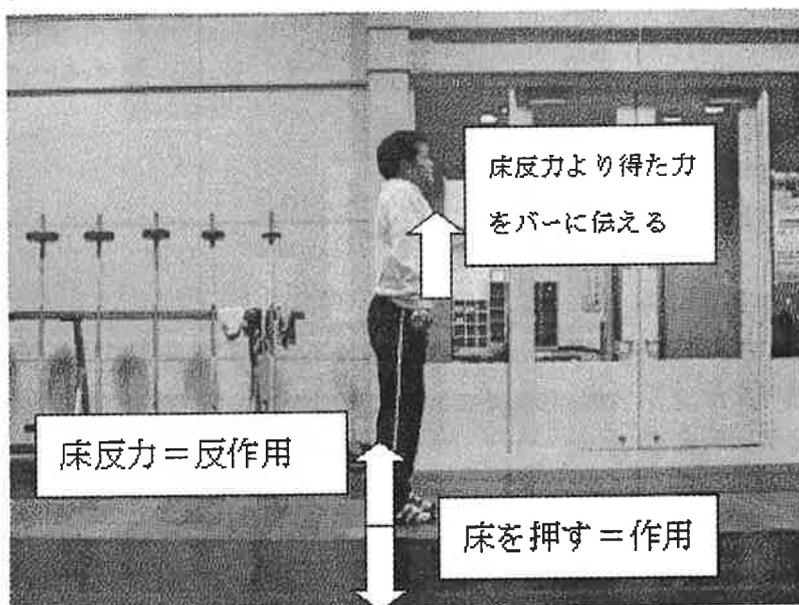
## ウエイトリフティングの技術

2005. 12. 3

小栗 和成

### 1. 床を押すこと（バーベルを上げるための力）

ウエイトリフティングでバーが加速しながら上方向に上がる力はどこから生まれるのでしょうか。



バーを上方向（鉛直上向き）に上げるための力は、床を押す力の反作用によって生まれます。例えば、腕で壁を押したとき、壁は動かないから自分が壁に押し返されてきます。そのとき、腕が壁を押す力が作用といい、壁が腕を押す力を反作用といいます。ウエイトリフティングの場合は、足が床を押す力（＝作用）、床が足を押し返す力（＝反作用＝床反力）となります。

この床反力によって、バーは上方向に上がるための力を得ることができます。そのため、1つ目に大切なこととして、「床を瞬間的に強く加圧し、大きな床反力を作り出す」ことが大切になってきます。

床反力は反作用ですから作用点の位置に発生します。そのためその力を効率よく手に握られているバーに伝えなければいけません。バーは手に握られていて、床が足を押し返しても、体をとおしてバーにその力をうまく伝えることができなければ、せっかく生み出された力が無駄になります。そう考えると、ウエイトリフティングを行う上で最初の段階で大切なこととして

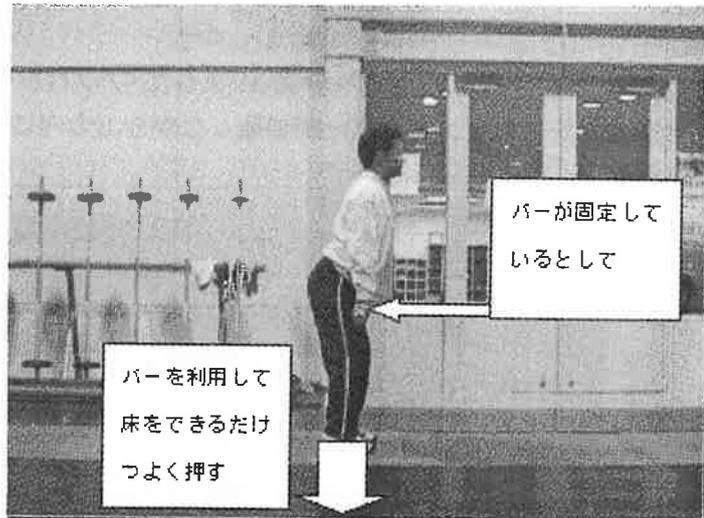
(1) 大きな床反力を生み出すこと

(2) その床反力を効率良くバーに伝達するための体の使い方

その2つが大切になってきます。

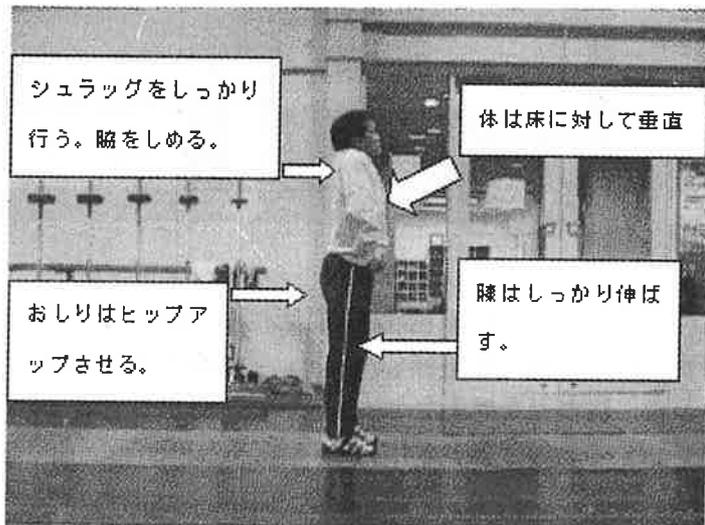
## 2. 大きな床反力を生み出し、それを効率良くバーに伝えるためには

大きな床反力を生み出すためには、足で床を強く押すことが大事になってきます。そのためには、体の体重及びバーの重量をしっかりと床に伝えることが大切になってきます。そのイメージとしては、セカンドプルの位置でバーが固定されており、そのバーをつかって効率よく床を足で押すといった状況を描いてみて下さい。



次のようなイメージをしてみましょう。バーが固定されていて、床が上下すると思って床をできるだけ下に押し込むと

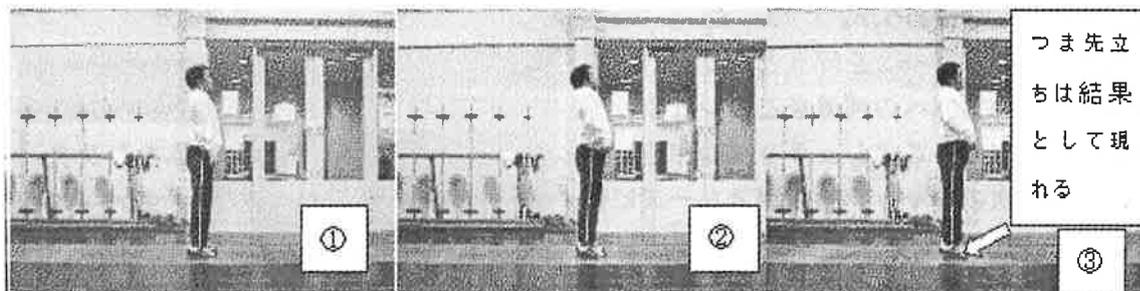
いったイメージでバーを使って床を押してみましょう。床をできるだけ下の方向に押していくためには、まず、膝をしっかりと伸ばして体を垂直にする。おしりの部分はヒップアップを意識する。その後、肩を使ってシュラッグ（僧帽筋を上方向に引き上げる）することが大切になってきます。そのときにつま先立ちになることを意識するのは最後になることに気づくはずで



す。要点をまとめると次のようになります。

- ① バーを利用して足で床を強く押し出すイメージをもち、おしりをヒップアップしながら、膝をしっかりと伸ばす。
- ② 床を押した反動で肩が上方向にシュラッグする。

この2つの動きがロス無くできることが大切になってきます。



バーに床反力を効率よく伝えるには、床反力が生じた時点で膝関節や肘関節などが曲がっている場合は、そこで力が吸収されてしまってロスが生じます。そのためしっかり膝を伸ばし、肘も伸ばしてのシュラッグ動作が大切になります。(写真①と写真②) また、脇をしっかりしめることでシュラッグを行うコースを一定にすることができ、バーをキャッチポイントに誘導しやすくなります。また膝を伸ばす際に、骨盤を後ろ方向に引き上げる(ヒップアップする)ことも大切になってきます。このとき骨盤は前傾します。(写真②) これを行わないと、腰が前後運動を行い、バーが体に当たり、バーが前方方向に押し出される可能性が出てくるからです。また、床をしっかり押した後、結果的につま先立ちになります。(写真③) しかし、意識してつま先立ちになっているのではなく、床反力を受けた結果そういった現象が起きるのです。

### 3. バーを自分のキャッチポイントに誘導する



スナッチやクリーン動作で、バーが鉛直上向きの力を床反力から効率よく受けるための身体の使い方については、床を押す瞬間に各関節部位に力を入れておき、身体全体が床に対して垂直になっていることが大切になります。そのときの注意事項として、膝関節、肘関節が十分に伸びきっていること、腰部ではヒップアップして(骨盤が前傾したままの姿勢で) いることなどが大切になってきます。

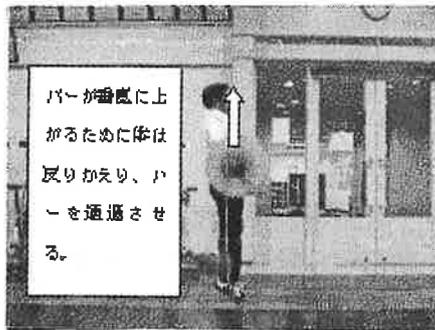
肩の使い方については、シュラッグ動作(僧帽筋でバーを引き上げる動作)がバーを自分のポイントに誘導するための大切な動きになります。このシュラッグ動作が起きるときに、鎖骨の付け根部分の位置が身体を中心よりやや後ろ側で行われなければいけません。僧帽筋を耳の付け根の方向に向かって引き上げるようにすることが大切です。このポイントを意識してシュラッグ動作を行うと、後背筋群の筋肉を緊張させておく必要があることがわかります。具体的に後背筋をどのように意識させるかは、背中側から脇に何かを挟んでおいて、シュラッグするときが一番脇を締めるイメージで意



識したらどうでしょうか。

スナッチやクリーンを行うときに、バーを移動させたい方向への誘導をこのシュラッグ動作で行います。このシュラッグ動作を有効に行うと、次のキャッチ動作がスムーズに行うことができます。

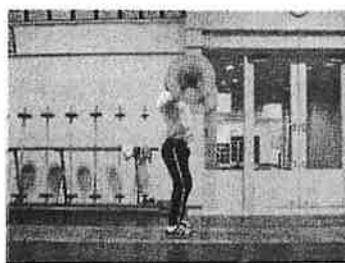
スナッチやクリーンでは、このシュラッグ動作によるバーへの誘導は腕が伸びきった状態で行うことであり、それ以上、腕でバーを引き上げようとしても、バーに加速が与えられないので、腕を曲げながら（腕で引きながら）バーを引くことは行わないほうがよいのです。その動作を行うことによって、次のキャッチ動作への移行が早く行えず、結果的に失敗する確率が高くなることとなります。また、バーを鉛直上向きにシュラッグ動作で誘導後、腕による誘導を行うことによってバーに円運動を引き起こす可能性があり、この点に置いて腕の曲げによるバーの誘導は行わない方がよいと考えられます。



また、シュラッグ動作を行うときに、身体が後方へ倒れていくような姿勢をとる場合がありますが、これはバーが鉛直上向きに上がるために必要な動作になります。身体が後ろに反ることによってバーが上方向に上がることではない気をつけるべきです。

#### 4. バーのキャッチ

床をしっかり押し、それによって起こる床反力を身体が効率よく伝え、シュラッグ動作によってバーを自分のキャッチのポイントへ誘導を行った後は、できるだけ早くキャッチするポイントへ身体を移動する必要があります。キャッチにはやはり下半身の安定が大切になってくるため、足→脚→腰の順にキャッチポジションへの移動を行わなければいけません。バーの位置は主に肘や肩で感知し、その位置にあわせてキャッチの姿勢を作っていきます。スナッチもクリーンもバーが最高点に達したところでできるだけ早く肘をバーの真下よりやや前に入れ、その点を基準にしてキャッチ姿勢を整えていくことが大切です。



## 5. まとめ、

以上のように、ウエイトリフティングの基本として

- ① 足で強く床を押し、大きな床反力を得るようにすること（膝をしっかり伸ばし、骨盤は前傾させしっかりと床を強く一瞬で押し出す）
- ② 床反力を効率よくバーに伝えるための身体の使い方を身につけること。  
（肘、膝をしっかり伸ばし、骨盤を前傾させたまま上方向に生じた力をバーに伝達すること）
- ③ シュラッグ動作によって自分のキャッチポイントへのバーの誘導を行うこと。  
（バーを鉛直上向きに誘導するようなフォームの獲得を目指すこと。）
- ④ キャッチポイントを肘などの自分で作ったセンサーを使って、床から上に向かってキャッチ動作を作っていくこと。  
（バーが鉛直上向きに加速されている間に、できるだけ早くバーに下に入り、最適なキャッチ姿勢を作っていく）

以上の4点が重要です。

## 6. 指導者の言葉かけによって選手が誤解を招く例

(1) バーをもっと高く引け、長く引け、大きく引け

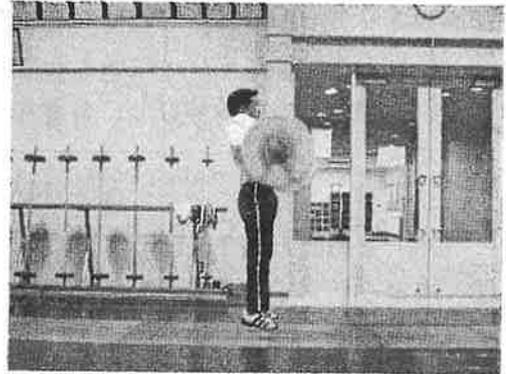
指導場面で良く耳にする言葉で ① バーを高く引け、② 長く、大きく引け

という2つのポイントが言われてきました。その2つの指導が日本の選手達に与えた影響について考えてみたいと思います。

①のバーを高く引けとはジャンプするように指導することがあります。（私も昔はそうでした）しっかり床をとらえてジャンプするぐらいにしっかりと体を使うという意味ですが、その意味を伝えず、その言葉のみを伝えた場合、どうしてもつま先立ちのイメージが強く残ります。そのためしっかりと膝の伸展をしないまま、つま先立ちを行うような誤ったテクニックを習得する結果となる場合が多くありました。②の長く、大きく引くという指導では、床を押しシュラッグ動作を行った後のイメージに大きく影響します。本来バーに力を作用させるためには、力をバーに伝えるためには、からだがかたく踏ん張る必要があります。てこの原理での支点になります。支点がなければ、力点があっても作用点に力が作用されません。シュラッグ動作後に腕で長く大きく引こうとした場合、バーに対して鉛直上方向に力を作用させても、支点が存在しないのでバーに対して力を作用することができません。その動作を行うと、キャッチに対しての意識がどうしてもバーが最上点に達した時にキャッチ動作を意識することになるが、シュラッグ動作終了後キャッチを意識している選手とはキャッチに対してのスピードが違ってくることは明確である。瞬間的に床を加圧し、その後シュラッグ動作でバーを誘導した後は、キャッチ動作に専念すべきであるのに、シュラッグ動作でバーを誘導した後もバーを上方向にあげようとしていることが問題になってくる。長く、大きく引く指導の意味は、たぶんしっかりと動ききること（床をしっかりと踏めるような動作を完成させること）を指していると思われるが、それを勘違いして、シュラッグ動作後も長く、大きく引くことを意識させると、キャッチ動作を難しくしてしまうと思われます。

(2) つま先立ちを意識するとダメになる場合

つま先立ちを意識することは最後になると前に書きましたが、なぜそうなるのかというと、垂直跳びのように、つま先立ちを意識すると、膝が伸び切らなくても伸びきっているイメージになることがあり、その結果、膝が緩むと床反力を生み出すための力が減少し、なおかつ、生じた床反力を効率良くバーに伝えることもできなくなります。つまり、つま先立ちを意識するあまり、しっかり床を押すことよりも、つま先立ちになることが優先される場合があるからです。右の写真のようにしっかり床を押してからならばつま先立ちになってもよいのです。



7. ハムストリングを使い、骨盤を前傾させる。(ヒップアップさせる)

世界で戦う選手たちの動きを分析すると、ファーストプルから骨盤が前傾している状態を維持したまま最終姿勢になっていることが多い。これは骨盤が前傾し、腹横筋の収縮と背筋を緊張させることによって、背筋全体にバーの重量をしっかりとかけ、僧帽筋から腕にかけて余分な力をいれることなく、自然な姿勢をとることができるようになるからです



# 愛媛県立新居浜工業高等学校重量挙部の取組

記載者 監督 浅野 泰典

## ○はじめに

新居浜工業重量挙部は、昭和27年に設立された伝統ある部である。その頃本県には、ヘルシンキオリンピックに出場した白石勇氏、黒川晋氏等の日本トップ級の選手が活躍しており、高校生も多大な影響を受けた。その後、昭和48年に小野正がインターハイ、国体で優勝し、昭和51年には、後のロサンゼルスオリンピック銅メダリストの真鍋和人がインターハイ優勝、国体2連覇するなど、輝かしい実績を残してきた。

## ○この6年間の取組

### ◇重量挙げとの出会い

私は、平成12年に新採として新居浜工業高校に赴任した。最初の職員会議での部活動顧問決定の際、バドミントン部になっていた私は、迷わず手を挙げ、重量挙部の顧問になるようお願いした。私は高校生よりずっと極真空手をしており、筋トレだけは経験があったが、重量挙げに関して全く経験も知識もない。しかし、重量挙部という部になぜかひかれていた。今思えば、何も知らない新採の身でよく発言できたと思うが、それが重量挙げとの出会いであった。

### ◇部員集め

それまで、本校重量挙部は部員の確保に苦勞していた。私が赴任した当時も、3年生が2人、2年生が0という状況であった。私は学校で生徒たちを集め、瓦を割ったり自然石を割ったりという空手のパフォーマンスを見せ、重量挙部に入ればこんなことができるぞ、などと生徒たちにアピールしてきた。他にも様々なアピールをしてきたが、その結果次々と部員が集まってきた。入部してからは、話が違ふということでやめていく生徒も出てきたが、空手ではなく重量挙げという競技にみなひかれていった。不謹慎かもしれないが、その後も3年間はこの方法で勧誘してきた。そして常に20名ほどの部員を抱えるようになった。

### ◇OBの方々の支え

本校重量挙部は、学校から自転車ですら5分ほどの距離にある、新居浜市営の重量挙練習場で練習している。そこには、本校OBの方を中心とした新居浜ウエイトリフティングクラブの方も練習に来られており、生徒たちに熱心に指導していただいた。私も早く指導できるようになりたいと思い、生徒たちに交じって一緒に練習に参加した。OBの方々の指導や支えのおかげで本校重量挙部はめきめきと力を付けていった。

## 地域に密着した市営練習場



#### ◇6年間の実績

赴任から3年目、私とともに新居浜工業高校に入学した生徒の一人、岸康寛が高知国体で、スナッチ競技において見事準優勝という快挙を成し遂げた。私の中では初めての全国大会入賞者ということで涙が出るほど嬉しかった。その後もいい選手たちに恵まれ、山内慎也が全国選抜大会で8位、曾我部章雄がさいたま国体でスナッチ競技5位、ジャーク競技4位、村上挙弘が静岡国体でジャーク競技6位、そして遠藤裕輝が全国選抜大会で4位、千葉インターハイでスナッチ競技準優勝と、毎年全国上位入賞者が生まれるようになった。

#### ○練習メニュー

本校は週に5日、時期に応じた練習メニューを私が作成し、一日2時間半から3時間の練習をしている。基本的には、スナッチ系の日、ジャーク系の日を分けている。スナッチ系の日では、スナッチプレス、スナッチスクワットから始まり、バランススナッチ、台上プル、スナッチ幅のデッドリフトなどを行う。ジャーク系の日では、フロントスクワットから始まり、ディップ、ミリタリープレスからプッシュプレス、プッシュジャーク、スプリットジャークへとつなげ、バックスクワット、デッドリフトなどを行う。その他にもランニングや腹筋、腕立て伏せなどの補強も行っている。週に2日と休みは多いが、それによって生徒たちは集中して練習している。

#### ○今後の課題

平成29年に愛媛国体が開催されることが内定した。それに向けて、今後の課題は山積みである。特に、現在県内に重量挙部は2校しかなく、底辺の拡大を目指している。また、年々運動部に入る生徒たちも減っており、入っても最後まで続けることができない生徒が増えている。現在、「ニート」と呼ばれる若者が急増しているというニュースをよく目にするが、部活動においても、しんどいことから逃げ出そうとする生徒たちが増えている現状に苦勞している。

また、蛇足ではあるが、愛媛県では新採3年と言われている中、私の教科が数学であるにも関わらず、6年間本校に勤務させていただいている。今後の転勤が私には気がかりである。もし転勤があろうとも、重量挙げに是非関わっていきたいと思っている。

#### ○最後に

この6年間、決して私一人の力で重量挙部が成長してきたわけではない。同じ顧問としてずっと支えていただいている先生並びに学校関係各位。強化合宿などで、私に重量挙げの魅力を教えていただいた先生、指導者。そして、毎日私を支えていただいている協会及びクラブの方々に、心より御礼申し上げたい。

# 2005年後半記録一覧

## <ブロック大会>

第32回東北総合体育大会	-----	59
第49回関東選手権大会	-----	59
第3回関東マスタース選手権大会	-----	60
第10回北信越社会人選手権大会	-----	60
第6回北信越高校女子選手権大会	-----	61
第45回東海四県選手権大会	-----	61
第10回東海女子選手権大会	-----	61
第41回近畿社会人選手権大会	-----	61
第36回中国選手権大会	-----	62
第31回四国選手権大会	-----	62
第47回九州選手権大会	-----	62
第19回九州マスタース選手権大会	-----	63

## <国内・国際大会>

第33回東日本大学対抗選手権大会	-----	64
第6回全日本大学対抗女子選手権大会	-----	65
第37回アジア選手権大会	-----	65
第18回アジア女子選手権大会	-----	66
第41回西日本学生新人選手権大会	-----	67
第50回全日本学生新人選手権大会	-----	67
第60回国民体育大会	-----	69
第4回東アジア競技大会	-----	73
第74回世界選手権大会	-----	74
第17回世界女子選手権大会	-----	76
文部科学大臣杯 第51回全日本大学対抗選手権大会	-----	78
内閣総理大臣杯 第42回全日本社会人選手権大会	-----	80
晴れの国おかやま国体記念杯女子大会	-----	83
第53回関西学生選手権大会	-----	84
2005年インターナショナルフレンドシップ大会	-----	85

第32回東北高等学校総合体育大会

2005.09.03~04 秋田県 八郎潟町

Table with columns: 階級 (Grade), 順位 (Rank), 氏名 (Name), 支那 (Affiliation), 所属 (School), 学年 (Year), 体重 (Weight), スナッチ (Snatch), クリーンリフティング (Clean & Jerk), トータル (Total). Rows list athletes from various schools like 山形県立第一高等学校, 秋田県立雄物川高等学校, etc.

第49回関東選手権大会

2005.08.25~27 東京都 大田区

Table with columns: 階級 (Grade), 順位 (Rank), 氏名 (Name), 支那 (Affiliation), 所属 (School), 学年 (Year), 体重 (Weight), スナッチ (Snatch), クリーンリフティング (Clean & Jerk), トータル (Total). Rows list athletes from various schools like 山形県立第一高等学校, 秋田県立雄物川高等学校, etc.

階級	位	氏名	支部	所属	学年	字	年	1 スパッツ			2 クリーンシューズ			3 クリーンシューズ			S	C&J	トータル	
								1	2	3	1	2	3	1	2	3				
94kg	1	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	92.50	113	130	137	130	135	137	137	137	137	137	135	1	248	
94kg	2	阿部 浩平	山梨	法政大学第二高校	3	91.60	105	107	125	125	130	130	132	132	132	132	125	2	230	
94kg	3	河野 亮平	山梨	法政大学第二高校	3	92.72	95	98	120	120	120	120	126	126	126	98	3	210		
94kg	4	工藤 拓樹	山梨	法政大学第二高校	3	87.26	80	86	105	111	111	111	111	111	111	111	105	4	191	
94kg	5	工藤 拓樹	山梨	法政大学第二高校	3	85.18	53	56	88	90	90	90	90	90	90	88	5	126		
94kg	6	坂本 浩志	山梨	法政大学第二高校	2	90.68	95	95	120	125	125	125	125	125	125	125	120	6	10	
94kg	7	坂本 浩志	山梨	法政大学第二高校	2	92.58	80	80	100	105	105	105	108	108	108	108	108	0	7	138
105kg	1	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	94.02	103	108	111	128	133	133	138	138	138	138	138	1	246	
105kg	2	高野 浩平	山梨	法政大学第二高校	3	97.34	88	93	117	120	122	122	122	122	122	122	122	2	215	
105kg	3	高野 浩平	山梨	法政大学第二高校	3	96.80	95	96	115	115	115	115	120	120	120	120	120	3	215	
105kg	4	高野 浩平	山梨	法政大学第二高校	3	94.20	90	95	110	115	115	115	118	118	118	118	118	4	213	
105kg	5	高野 浩平	山梨	法政大学第二高校	3	102.56	87	87	91	120	125	127	127	127	127	127	127	5	212	
105kg	6	高野 浩平	山梨	法政大学第二高校	3	104.60	85	87	90	105	111	118	118	118	118	118	118	6	196	
105kg	7	高野 浩平	山梨	法政大学第二高校	3	95.94	58	63	63	75	80	83	83	83	83	83	83	7	138	
+105kg	1	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	115.94	100	105	130	130	130	130	130	130	130	130	130	1	235	
+105kg	2	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	121.30	95	100	103	130	130	141	141	141	141	141	141	2	225	
+105kg	3	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	2	105.08	80	82	96	95	101	101	101	101	101	101	101	3	186	
+105kg	4	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	2	124.05	80	85	101	101	101	101	101	101	101	101	101	4	165	
+105kg	5	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	2	124.35	65	70	70	85	85	85	85	85	85	85	85	5	145	
+105kg	6	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	2	116.80	55	59	59	70	75	75	75	75	75	75	75	6	135	
+105kg	7	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	1	116.70	50	50	58	58	58	58	58	58	58	58	58	7	128	
49kg	1	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	5	44.48	52	58	58	68	69	69	71	71	71	71	71	1	127	
53kg	1	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	5	51.68	55	58	60	70	70	70	73	73	73	73	73	1	130	
53kg	2	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	3	52.40	40	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	2	158	
59kg	1	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	5	53.84	65	68	71	68	88	91	88	91	88	91	88	1	181	
59kg	2	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	5	55.28	60	65	71	65	70	70	70	70	70	70	70	2	130	
59kg	3	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	1	55.04	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	3	113	
69kg	1	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	5	61.80	75	78	78	80	105	105	105	105	105	105	105	1	181	
69kg	2	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	5	58.84	65	70	75	65	90	95	95	95	95	95	95	2	165	
69kg	3	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	5	59.80	65	68	70	85	90	93	93	93	93	93	93	3	163	
69kg	4	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	5	62.24	62	65	65	79	79	79	79	79	79	79	79	4	144	
69kg	5	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	3	61.52	50	53	58	60	63	65	65	65	65	65	65	5	118	
69kg	6	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	1	60.58	32	35	35	42	45	47	47	47	47	47	47	6	82	
75kg	1	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	2	65.82	50	53	55	55	68	73	75	75	75	75	75	1	130	
75kg	2	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	2	70.98	73	78	78	80	100	103	103	103	103	103	103	2	178	
75kg	3	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	3	72.28	62	68	68	80	83	86	86	86	86	86	86	3	151	
75kg	4	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	3	74.22	60	65	68	73	77	80	80	80	80	80	80	4	148	
+75kg	1	田中 千代	山梨	法政大学第二高校	2	86.96	52	55	55	58	71	71	71	71	71	71	71	5	128	

第3回関東マスターズ選手権大会 2005.09.10 東京都 八王子市

階級	位	氏名	支部	所属	学年	字	年	1 スパッツ			2 クリーンシューズ			3 クリーンシューズ			S	C&J	トータル		
								1	2	3	1	2	3	1	2	3					
56kg	1	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	92.50	113	130	137	130	135	137	137	137	137	137	135	1	248		
62kg	2	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	91.60	105	107	125	125	130	130	132	132	132	132	125	2	230		
62kg	3	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	92.72	95	98	120	120	120	120	126	126	126	126	98	3	210		
62kg	4	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	87.26	80	86	105	111	111	111	111	111	111	111	111	105	4	191	
62kg	5	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	85.18	53	56	88	90	90	90	90	90	90	90	88	5	126		
62kg	6	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	2	90.68	95	95	120	125	125	125	125	125	125	125	125	120	6	10	
62kg	7	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	2	92.58	80	80	100	105	105	105	108	108	108	108	108	108	0	7	138
69kg	1	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	94.02	103	108	111	128	133	133	138	138	138	138	138	138	1	246	
69kg	2	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	97.34	88	93	117	120	122	122	122	122	122	122	122	122	2	215	
69kg	3	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	96.80	95	96	115	115	115	115	120	120	120	120	120	3	215		
69kg	4	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	94.20	90	95	110	115	115	115	118	118	118	118	118	4	213		
69kg	5	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	102.56	87	87	91	120	125	127	127	127	127	127	127	5	212		
69kg	6	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	104.60	85	87	90	105	111	118	118	118	118	118	118	6	196		
69kg	7	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	95.94	58	63	63	75	80	83	83	83	83	83	83	7	138		
+105kg	1	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	115.94	100	105	130	130	130	130	130	130	130	130	130	1	235		
+105kg	2	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	121.30	95	100	103	130	130	141	141	141	141	141	141	2	225		
+105kg	3	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	2	105.08	80	82	96	95	101	101	101	101	101	101	101	3	186		
+105kg	4	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	2	124.05	80	85	101	101	101	101	101	101	101	101	101	4	165		
+105kg	5	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	2	124.35	65	70	70	85	85	85	85	85	85	85	85	5	145		
+105kg	6	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	2	116.80	55	59	59	70	75	75	75	75	75	75	75	6	135		
+105kg	7	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	1	116.70	50	50	58	58	58	58	58	58	58	58	58	7	128		

第10回北信越社会人選手権大会 2005.08.28 福井県 小浜市

階級	位	氏名	支部	所属	学年	字	年	1 スパッツ			2 クリーンシューズ			3 クリーンシューズ			S	C&J	トータル
								1	2	3	1	2	3	1	2	3			
56kg	1	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	92.50	113	130	137	130	135	137	137	137	137	137	135	1	248
62kg	2	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	91.60	105	107	125	125	130	130	132	132	132	132	125	2	230
62kg	3	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	92.72	95	98	120	120	120	120	126	126	126	126	98	3	210
62kg	4	藤田 裕介	山梨	法政大学第二高校	3	87.26	80	86	105	111	111	111	111	11					



第36回中国選手権大会

階級	順位	氏名	支部	所属	学年	体重	クロスジャック					ベスト	トータル		
							1	2	3	4	5				
53kg	1	新田 宏樹	山口	山口大学	2	52.20	75	80	105	110	110	90	110	110	190
	2	小川 史史	山口	山口大学	2	52.02	75	85	105	107	110	80	110	120	180
	3	日野 彰	山口	山口大学	2	52.98	73	77	95	97	100	73	100	113	173
	4	山田 彰	山口	山口大学	2	52.20	75	75	95	95	105	75	100	117	172
	5	河井 健二	山口	山口大学	2	52.92	76	83	100	105	110	75	100	117	171
	6	川口 康博	山口	山口大学	2	52.03	83	87	105	105	110	85	100	117	171
	7	大田 真志	山口	山口大学	2	54.00	98	101	120	133	138	98	110	123	191
	8	矢野 智	山口	山口大学	2	54.02	85	88	105	110	115	85	105	120	180
	9	竹下 潤	山口	山口大学	2	54.80	76	80	98	100	105	83	100	113	183
	10	石川 秀明	山口	山口大学	2	61.80	98	101	131	134	143	100	137	240	
59kg	1	小野 亮	山口	山口大学	2	61.80	98	103	133	140	147	98	133	231	
	2	小野 亮	山口	山口大学	2	60.80	85	90	105	110	115	90	115	205	
	3	山本 亮	山口	山口大学	2	61.20	85	90	105	105	105	85	105	190	
	4	梶野 亮	山口	山口大学	2	61.08	83	88	105	105	105	83	105	189	
	5	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.08	83	88	105	105	105	83	105	189	
	6	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.08	83	88	105	105	105	83	105	189	
	7	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.08	83	88	105	105	105	83	105	189	
	8	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.08	83	88	105	105	105	83	105	189	
	9	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.08	83	88	105	105	105	83	105	189	
	10	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.08	83	88	105	105	105	83	105	189	

第31回四国選手権大会

階級	順位	氏名	支部	所属	学年	体重	クロスジャック					ベスト	トータル	
							1	2	3	4	5			
53kg	1	藤井 亮	山口	山口大学	2	52.70	65	70	80	85	90	65	85	150
	2	加藤 亮	山口	山口大学	2	48.55	50	60	70	75	80	50	70	120
	3	藤井 亮	山口	山口大学	2	58.10	95	100	105	110	115	95	110	223
	4	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.75	100	105	110	115	120	100	115	215
	5	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.75	90	95	105	110	115	90	110	205
	6	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.55	82	95	100	105	110	82	100	198
	7	藤井 亮	山口	山口大学	2	68.80	110	115	120	130	140	110	140	282
	8	藤井 亮	山口	山口大学	2	64.00	95	101	105	110	120	95	110	236
	9	藤井 亮	山口	山口大学	2	65.85	95	100	105	110	120	95	110	227
	10	藤井 亮	山口	山口大学	2	64.85	95	100	105	110	120	95	110	220

階級	順位	氏名	支部	所属	学年	体重	クロスジャック					ベスト	トータル		
							1	2	3	4	5				
105kg	1	三本 大樹	香川	中央大学	2	97.35	120	128	130	150	160	130	130	160	290
	2	西田 宗次	香川	中央大学	2	114.40	110	118	123	140	140	117	117	140	258
	3	渡辺 宗次	香川	中央大学	2	110.40	95	100	100	103	110	95	95	110	205
	4	渡辺 宗次	香川	中央大学	2	51.90	73	75	78	83	83	73	73	174	
	5	渡辺 宗次	香川	中央大学	2	51.90	73	75	78	83	83	73	73	174	
	6	渡辺 宗次	香川	中央大学	2	51.90	73	75	78	83	83	73	73	174	
	7	渡辺 宗次	香川	中央大学	2	51.90	73	75	78	83	83	73	73	174	
	8	渡辺 宗次	香川	中央大学	2	51.90	73	75	78	83	83	73	73	174	
	9	渡辺 宗次	香川	中央大学	2	51.90	73	75	78	83	83	73	73	174	
	10	渡辺 宗次	香川	中央大学	2	51.90	73	75	78	83	83	73	73	174	

第47回全九州選手権大会

階級	順位	氏名	支部	所属	学年	体重	クロスジャック					ベスト	トータル	
							1	2	3	4	5			
53kg	1	藤井 亮	山口	山口大学	2	55.90	90	93	112	117	120	93	120	213
	2	藤井 亮	山口	山口大学	2	56.00	85	90	90	115	120	85	115	205
	3	藤井 亮	山口	山口大学	2	55.95	85	90	107	112	115	85	115	200
	4	藤井 亮	山口	山口大学	2	54.90	57	60	65	72	77	57	72	132
	5	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.00	100	105	108	120	125	105	125	230
	6	藤井 亮	山口	山口大学	2	59.60	90	95	100	112	117	95	122	217
	7	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.85	95	100	100	115	120	100	115	215
	8	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.85	90	93	93	100	105	90	105	205
	9	藤井 亮	山口	山口大学	2	59.15	80	85	90	90	100	80	90	190
	10	藤井 亮	山口	山口大学	2	58.30	85	90	90	105	110	85	105	197

第47回全九州選手権大会

階級	順位	氏名	支部	所属	学年	体重	クロスジャック					ベスト	トータル	
							1	2	3	4	5			
53kg	1	藤井 亮	山口	山口大学	2	55.90	90	93	112	117	120	93	120	213
	2	藤井 亮	山口	山口大学	2	56.00	85	90	90	115	120	85	115	205
	3	藤井 亮	山口	山口大学	2	55.95	85	90	107	112	115	85	115	200
	4	藤井 亮	山口	山口大学	2	54.90	57	60	65	72	77	57	72	132
	5	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.00	100	105	108	120	125	105	125	230
	6	藤井 亮	山口	山口大学	2	59.60	90	95	100	112	117	95	122	217
	7	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.85	95	100	100	115	120	100	115	215
	8	藤井 亮	山口	山口大学	2	61.85	90	93	93	100	105	90	105	205
	9	藤井 亮	山口	山口大学	2	59.15	80	85	90	90	100	80	90	190
	10	藤井 亮	山口	山口大学	2	58.30	85	90	90	105	110	85	105	197

階級	順位	氏名	支部	所属	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル
							1	2	3	1	2	3	S	CS	
94Kg	1	高橋 一馬	福岡	九州国際大学	68.05	122	127	130 X	143	146	148	127	148	275	
94Kg	2	杉村 直樹	福岡	日本体育大学	83.90	120	125 X	125 X	150	156 X	156 X	120	150	270	
94Kg	3	里 直樹	福岡	九州国際大学	88.75	110 X	110	115	135	140	145	115	145	260	
94Kg	4	井上兼四郎	佐賀	九州国際大学	93.00	110	115 X	115 X	146	150 X	150 X	110	146	256	
94Kg	5	松本 純	大分	別府大学	93.10	100	105 X	105 X	120	125	130 X	100	125	225	
105Kg	1	武田 尊大	大分	右道原薬種学校(教)	94.35	135 CS	140 OR	145 X	170	175	180 X	140	175	315	
105Kg	2	平良 一咲	沖縄	南風原高校(教)	104.95	125 X	125	130	161	171	—	130	171	301	
105Kg	3	神田 直樹	福岡	九州国際大学	95.55	131	135 CS	137 X	165 X	165	170 X	135	165	300	
105Kg	4	内之倉本輔	福岡	自営	103.70	120 X	120	130 X	150	155	160	120	160	280	
105Kg	5	浦川 正也	長崎	九州国際大学	102.20	115 X	115	120	150	155 X	155 X	120	150	270	
105Kg	6	白井 仁士	熊本	日本大学	104.55	100	110	120	130	140	150	120	150	270	
105Kg	7	樋口 和真	佐賀	福岡大学	102.40	120	125	130 X	155 X	—	—	125	140	0	
105Kg	8	吉竹 達也	福岡	九州国際大学	103.95	110 X	110 X	110 X	135	142	144 X	0	142	0	
+105Kg	1	吉本 久也	沖縄	柔村教育委員会	114.40	140	150	155	175	201 X	—	155	175	330	
+105Kg	2	太田 和臣	福岡	九州国際大学	131.50	140	150 X	150 X	170 X	170	180 X	140	170	310	
+105Kg	3	高橋 健	大分	自営	105.20	120	125 X	125 X	155	160	165 X	120	160	280	
+105Kg	4	向江雄太郎	福岡	九州国際大学	120.60	120	125	130 X	150	155 X	155	125	155	280	
+105Kg	5	平塚 俊輔	佐賀	買 美光博巴会志心屋(教)	106.65	90	95	100	110	120 X	125	100	125	225	

第19回全九州マスターズ選手権大会 2005.08.21 福岡県 北九州市

階級	順位	氏名	支部	所属	体重	1	2	3	1	2	3	S	CS	トータル
56Kg	1	池田 一平	大分	別府市役所	55.40	60	65	70 X	70	75	80 X	65	75	140
62Kg	1	中島 豊	大分	自営	61.00	45	50	52	60	68	72 X	52	68	120
69Kg	1	小島 孝夫	福岡	自営	68.15	53	55	60	65	70 X	70 X	60	65	125
77Kg	1	宮 英昭	大分	別大合同タフ(株)	70.15	65	67	70 X	85	86	90 X	67	86	155
77Kg	2	嶋田 清弓	熊本	本 金蔵(株)	77.00	65	70	—	80	85	87 X	70	85	155

# 第33回東日本大学対抗選手権大会

●平成17年9月17日[56Kg級]・18日[94Kg級～+105Kg級] ●日本大学蒲崎校体育館(藤沢市)

## 56Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年 年 年			ス ナ ッ チ			ク リ ー ン & ジャ ー ク			ペ ス ト			ト ー タ ル
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	O&J	順	
1	中山 拓也	法政大学	87	1	55.92	95	97	118	123	126	97	112	123	1	220
2	小林 彰	秋田経済法科大学	83	4	55.92	93	96	119	115	115	96	115	115	5	211
3	鏡平名研二	日本体育大学	85	2	55.68	90	95	110	115	115	95	115	2	210	
4	松永 正平	明治大学	83	4	55.72	90	92	112	115	116	93	115	6	208	
5	清水 洋平	中央大学	85	2	55.94	91	92	111	113	114	94	114	6	208	
6	岡田 智	早稲田大学	85	2	54.20	85	90	92	107	112	115	115	8	204	
7	安里 将一	法政大学	85	2	55.86	86	89	91	115	115	116	116	4	204	
8	奥野 達矢	日本体育大学	84	3	55.52	84	88	105	110	113	84	110	7	197	
9	新高 聡介	平成国際大学	84	3	55.84	87	90	105	109	110	87	105	9	192	
10	鈴木 充	国土館大学	83	4	54.48	85	90	100	105	105	85	91	100	10	185

## 62Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年 年 年			ス ナ ッ チ			ク リ ー ン & ジャ ー ク			ペ ス ト			ト ー タ ル	
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	O&J	順		
1	上地 亮彦	日本大学	83	2	61.88	106	113	116	145	158	—	116	115	158	1	274
2	杉内 登	明治大学	83	4	61.64	112	115	115	130	135	140	115	121	135	3	250
3	大城 隆三	日本大学	83	4	61.70	106	107	113	130	136	138	113	136	2	249	
4	外川 研輔	日本体育大学	84	3	61.38	101	105	106	115	120	122	106	120	7	226	
5	松本 記一	中央大学	84	4	61.84	94	98	101	120	126	126	101	120	9	221	
6	須田 俊幸	日本体育大学	84	3	58.78	93	97	100	115	120	125	97	120	5	217	
7	高木 悠介	早稲田大学	83	1	61.04	93	97	100	115	120	122	97	120	6	217	
8	栗山 晃典	国土館大学	87	1	59.98	90	95	100	110	113	115	115	9	205		
9	佐藤 健矢	拓殖大学	84	3	61.54	85	90	100	110	115	123	90	115	10	205	
10	遠藤 裕真	城西大学	83	4	61.94	75	80	82	98	103	108	82	110	12	190	
11	山形 直樹	国土館大学	84	3	58.96	75	80	80	95	100	100	100	115	13	170	
12	佐藤 正義	秋田経済法科大学	85	1	59.92	70	75	80	90	95	110	75	121	14	170	
	甲斐 亮太	城西大学	84	2	61.94	75	80	80	95	—	—	75	13	—	—	
	岡根 直	平成国際大学	87	1	61.72	92	92	92	117	122	126	—	122	4	—	
	村平 祥平	明治大学	86	2	61.62	100	100	100	120	125	125	—	120	8	—	

## 69Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年 年 年			ス ナ ッ チ			ク リ ー ン & ジャ ー ク			ペ ス ト			ト ー タ ル	
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	O&J	順		
1	坂 祐哉	日本大学	85	3	68.70	112	116	121	145	150	151	121	121	151	1	272
2	武藤 恭章	早稲田大学	84	3	68.50	115	120	121	147	150	150	121	150	2	271	
3	平良 朝悦	法政大学	83	4	68.80	111	116	118	140	146	148	116	140	3	256	
4	奥山 勝平	早稲田大学	84	3	67.86	110	115	117	130	133	138	115	138	5	253	
5	竹澤 正則	平成国際大学	85	3	68.64	105	110	110	133	139	144	110	139	4	249	
6	佐藤 慶士	中央大学	86	2	67.30	100	110	110	128	133	138	110	133	7	243	
7	西沢 悟	明治大学	83	4	68.04	95	100	100	135	135	139	95	135	6	230	
8	西嶋 勝典	日本体育大学	85	2	62.38	90	95	98	117	122	125	95	122	8	217	
9	中村 真士	拓殖大学	85	1	69.28	90	95	95	110	—	—	90	110	9	200	
10	佐藤 正俊	秋田経済法科大学	84	3	67.98	85	91	95	105	111	111	111	105	12	200	
11	齋木 翼	拓殖大学	86	1	68.46	90	96	96	110	115	115	90	111	10	200	
12	市川 浩二	城西大学	83	4	68.84	75	80	85	100	105	110	85	112	105	11	190

## 77Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年 年 年			ス ナ ッ チ			ク リ ー ン & ジャ ー ク			ペ ス ト			ト ー タ ル	
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	O&J	順		
1	中程 忠史	日本大学	84	3	76.88	118	121	123	151	156	156	121	121	156	2	277
2	盛田 和利	法政大学	85	2	78.70	118	123	123	145	150	152	123	152	3	275	
3	菅野 弘	早稲田大学	86	1	75.72	115	120	120	150	155	157	115	157	1	272	
4	堤 回誠	拓殖大学	84	3	72.60	115	120	120	140	145	145	120	145	5	265	
5	田原 良平	早稲田大学	84	3	74.82	107	112	115	140	140	145	112	145	6	257	
6	加藤 彰	平成国際大学	85	3	76.16	105	110	115	140	145	146	110	146	4	256	
7	佐藤 弘康	秋田経済法科大学	84	3	76.46	100	100	110	130	130	—	100	130	7	230	
8	清水 太郎	城西大学	84	3	73.28	90	95	95	120	125	125	95	120	8	215	
	田中 啓太	城西大学	85	2	72.28	83	83	83	110	110	110	83	9	—	—	

## 85Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年 年 年			ス ナ ッ チ			ク リ ー ン & ジャ ー ク			ペ ス ト			ト ー タ ル	
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	O&J	順		
1	田中 裕人	法政大学	85	2	81.64	123	123	123	123	126	126	123	123	126	2	286
2	高橋 圭	早稲田大学	84	3	84.14	117	117	117	122	122	122	117	122	5	279	
3	山口 元氣	早稲田大学	83	4	84.46	122	125	125	125	127	127	125	127	1	277	
4	津野 真裕	明治大学	85	3	84.80	110	116	116	122	122	122	116	122	6	274	
5	関根 紳一	平成国際大学	85	3	78.40	116	121	125	140	145	150	125	145	8	270	
6	島山 真一	秋田経済法科大学	83	4	80.44	116	116	116	122	122	122	116	122	4	268	
7	渡辺 真弘	明治大学	83	4	83.38	110	110	110	115	115	115	110	115	7	263	
8	兴山 圭一	早稲田大学	87	1	83.64	105	105	105	110	110	110	105	110	9	261	
9	渡辺 浩志	平成国際大学	84	3	83.22	105	110	113	130	140	145	110	140	9	250	
10	藤田 真大	秋田経済法科大学	84	3	84.04	95	100	105	120	133	133	105	120	11	230	
11	藤佐 泰裕	国土館大学	85	2	78.84	95	105	109	120	125	130	105	125	10	220	
12	阿部健太郎	城西大学	86	2	81.16	85	90	90	90	90	90	115	120	12	210	
13	伊東 要輔	城西大学	84	3	82.10	80	85	90	85	90	112	112	117	13	207	

## 94Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年 年 年			ス ナ ッ チ			ク リ ー ン & ジャ ー ク			ペ ス ト			ト ー タ ル	
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	O&J	順		
1	木田 理	法政大学	84	3	91.88	128	133	135	175	186	186	128	135	175	1	310
2	本多 滋	法政大学	85	2	90.94	130	135	138	160	165	170	135	170	2	305	
3	渡 信彦	明治大学	84	3	93.38	135	135	138	165	167	171	138	167	3	305	
4	田口 智鏡	平成国際大学	85	2	92.08	125	129	129	155	160	166	125	160	4	285	
5	杉村 翔	日本体育大学	83	4	93.88	120	125	128	150	155	159	125	155	5	280	
6	阿部 礼	中央大学	83	4	93.12	123	128	128	155	155	160	123	160	5	278	
7	澤口 勇史	平成国際大学	84	3	87.78	110	115	118	135	140	143	115	140	7	255	
8	平野 拓	秋田経済法科大学	86	1	91.40	100	100	100	118	118	123	—	—	8	—	

## 105Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年 年 年			ス ナ ッ チ			ク リ ー ン & ジャ ー ク			ペ ス ト			ト ー タ ル
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	O&J	順	
1	渡辺 真人	日本大学	84	4	98.30	131	131	131	165	165	170	131	131	2	301
2	高橋 俊郎	日本大学	84	4	104.48	130	135	137	161	166	180	135	166	4	301
3	兼島 兼太	明治大学	83	4	104.34	125	125	131	165	170	177	125	170	2	295
4	小谷 中憲	拓殖大学	83	4	103.86	125	125	125	162	168	188	125	168	3	291
5	菅原 史和	中央大学	83	4	96.82	120	120	120	150	155	158	125	155	5	283
6	三木 大輔	中央大学	85	3	97.34	125	125	125	155	165	186	125	165	6	280

## +105Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年 年 年			ス ナ ッ チ			ク リ ー ン & ジャ ー ク			ペ ス ト			ト ー タ ル
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	O&J	順	
1	野原 蒼太	法政大学	84	3	130.15	135	140	145	180	186	190	140	140	2	326
2	高橋 崇博	日本大学	85	3	133.85	135	140	145	165	175	185	145	175	3	320
3	須藤 由成	日本大学	84	3	130.45	128	131	133	170	177	187	133	177	2	310
4	小谷 中憲	拓殖大学	83	4	124.85	120	125	130	155	160	182	130	160	6	290
5	澤老澤 完	中央大学	85	2	107.18	122	122	122	150	158	160	122	150	5	282
6	中島 俊輔	日本体育大学	83	4	117.30	113	118	118	157	161	163	113	161	4	274
7	栗根 忠助	日本体育大学	85	3	110.12	115	120	120	145</						

# 第6回全日本大学対抗女子選手権大会

平成17年9月18日 ●日本大学湘南校体育館(鎌倉市)

## 48Kg級

順位	氏名	大学名	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル						
					1	2	3	1	2	3	S	順位							
1	角田 祥子	立命館大学	85	2	47.70	65	CS	70	CR	72	CR	92	X	72	1	90	1	182	CR

## 53Kg級

1	三宅 宏泰	法政大学	85	2	48.52	78	82	NR	103	107	111	NR	83	1	111	1	194	NR
2	沼田 洋子	平成国際大学	86	2	52.72	66	69	72	85	88	92	X	72	2	88	2	160	

## 58Kg級

1	松本 萌波	早稲田大学	86	2	57.26	72	77	X	90	94	96	X	72	1	94	2	166	
2	山口 智子	明治大学	85	2	57.00	70	73	X	90	93	95	70	3	95	1	165		
3	守 美穂子	日本体育大学	86	1	57.58	72	75	X	92	94	94	X	72	2	92	3	164	
4	長崎 素奈	立命館大学	84	3	57.42	67	67	70	X	90	94	X	67	5	90	4	157	
5	佐久間朋美	金沢学院大学	86	1	57.52	63	66	68	76	79	82	X	68	4	79	5	147	

## 63Kg級

1	福田 麻由	金沢学院大学	86	1	62.50	81	CR	84	CR	88	X	102	105	CS	108	X	84	1	105	1	189	CR
2	渡邊友雅子	日本体育大学	83	4	60.42	76	81	CS	84	X	95	100	X	102	102	2	183					
3	嶋澤 直子	平成国際大学	83	4	62.48	65	68	71	85	90	95	71	3	95	3	166						

## 69Kg級

1	真下留恵美	日本体育大学	84	4	68.38	76	79	X	98	98	100	79	1	100	1	179		
2	平嶺 亜	立命館大学	85	3	65.46	73	76	77	93	98	100	X	77	2	98	2	175	
3	中川 綾子	早稲田大学	84	3	63.50	72	73	76	90	94	95	76	3	95	3	171		
4	今井菜津美	金沢学院大学	88	1	63.46	68	69	69	89	93	94	69	4	94	4	163		
5	真谷川由香	明治大学	87	1	67.14	65	67	70	85	87	90	67	5	90	5	157		

## 75Kg級

1	齋藤 聖香	立命館大学	83	4	69.02	83	85	X	105	108	113	85	2	113	1	198		
2	宮城 寿子	日本体育大学	83	4	69.12	80	83	85	103	105	107	85	3	107	2	192		
3	森田 裕子	早稲田大学	85	2	73.80	80	85	86	100	105	197	X	86	1	105	3	191	
4	谷 綾野	金沢学院大学	87	1	69.06	77	80	X	90	95	97	77	4	97	4	174		
5	後藤 有理	明治大学	83	4	74.70	70	73	76	92	95	100	X	73	5	95	5	168	

## +75Kg級

1	城内 史子	早稲田大学	85	3	102.46	83	88	X	115	121	128	NR	83	1	126	1	209	
2	金子 智	平成国際大学	83	4	76.64	62	65	X	85	80	82	65	2	82	2	147		

## 大学対抗得点表

順位	大学名	48Kg	53Kg	58Kg	63Kg	69Kg	75Kg	+75Kg	合計得点
1	早稲田大学		8 / 1		3 / 1	5 / 1	9 / 1	25 / 4	
2	日本体育大学		4 / 1	6 / 1	9 / 1	5 / 1		24 / 4	
3	立命館大学	9 / 1		0 / 1	6 / 1	8 / 1		23 / 4	
4	平成国際大学		6 / 1		3 / 1		6 / 1	15 / 3	
5	法政大学		9 / 1					9 / 1	
6	金沢学院大学		0 / 1	9 / 1	0 / 1	0 / 1		9 / 4	
7	明治大学		1 / 1		0 / 1	0 / 1		6 / 3	
	合計人数	1	2	5	3	5	5	2	23

# 第37回アジア選手権大会

平成17年9月26日 [56Kg級]-27日 [62Kg級~69Kg級]-28日 [77Kg級]-29日 [85Kg級~94Kg級]-30日 [105Kg級]-10月1日 [+105Kg級]  
●UAE ドバイ

## 56Kg級

順位	氏名	国名	年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル			
					1	2	3	1	2	3	S	順位				
1	HOANG Ant Tuan	VIE	85	55.75	122	125	126	X	150	150	152	125	2	152	3	277
2	WANG Shin-Yuan	TPE	76	55.50	115	122	125	151	X	151	151	125	1	151	4	276
3	YANG Chin-Yi	TPE	81	55.70	118	118	X	146	146	151	153	118	4	153	2	271
4	CEN Biao	CHN	85	55.55	110	121	X	121	150	150	155	110	5	155	1	265
5	BEWROUZI Sajad	IRI	89	55.85	110	115	115	X	127	132	137	110	6	137	5	247
6	TANASAK Panaim	THA	85	55.70	104	109	X	109	133	133	140	X	104	7	238	
7	VAVODI Abolghasem	IRI	86	55.90	105	107	X	107	130	130	137	X	107	7	237	
8	DALLURI Srinavasa Rao	IND	81	55.70	103	103	X	103	133	133	137	X	103	9	236	
	CHOE Hyon Chol	PRK	83	55.65	114	118	122	X	145	145	145	X	118	3	—	
	WU Wenxiang	CHN	81	55.15	120	120	X	120	150	150	150	X	—	—	—	

## 62Kg級

1	ZHANG Jie	CHN	87	61.15	127	132	135	X	155	155	163	132	1	163	2	295	
2	LI Chunsong	CHN	86	61.95	124	124	127	X	153	160	164	124	2	164	1	288	
3	YANG Sheng-Hsiung	TPE	83	61.55	115	123	X	153	156	156	156	115	4	156	4	271	
4	NWAT Krihpet	THA	83	62.00	116	116	123	X	150	155	155	116	3	155	5	271	
5	PHETCHARAT Pramot	THA	84	61.75	114	114	114	X	144	154	154	114	5	147	6	261	
6	PUJARI Kailas	IND	80	61.80	102	110	114	X	134	139	145	X	110	6	139	7	249
	JO Myong Jin	PRK	82	61.50	122	122	X	122	156	156	162	X	158	3	—		
	AL-FALASI Ahmed	UAE	80	59.75	80	80	X	82	105	110	110	X	—	—	—		

## 69Kg級

1	YAO Yuewei	CHN	85	68.55	145	152	156	140	165	170	175	156	1	175	2	331	Jun	
2	LUO Shaomeng	CHN	79	68.80	130	135	140	135	140	140	140	140	2	176	1	316		
3	KAKHATOV Kuenysh	KAZ	87	67.65	130	135	139	139	155	160	160	139	3	155	5	294		
4	ZHURAVLEV Yevgeniy	KAZ	78	68.60	130	130	131	160	160	162	162	131	4	162	4	293		
5	RONNAYUTH Arnoiwiang	THA	83	68.10	123	128	132	X	161	161	164	128	6	164	3	292		
6	今村 健彦	JPN	79	67.20	118	122	125	148	148	148	153	125	7	153	6	278		
7	MOLDOSOV Kuttman	KGZ	84	68.25	130	130	136	X	145	152	152	130	5	145	8	275		
8	TOKTONALIEV Kambor	KGZ	85	68.55	110	118	122	X	140	145	150	118	8	150	7	268		
9	DOOST MOHAMMED Mohammad	AFG	68	68.50	85	90	90	X	105	110	110	X	85	9	105	9	190	

## 77Kg級

1	KUZNETSOV Vladimir	KAZ	84	76.75	150	155	158	X	181	190	190	155	1	190	1	345	
2	NADER Sufyan Abbas	QAT	75	76.30	150	150	155	X	186	195	195	150	2	186	2	336	
3	KIM Kwang Nam	PRK	77	75.90	140	140	140	X	185	190	190	140	5	185	3	325	
4	CHEN Jianhui	CHN	87	76.10	140	140	145	145	175	186	186	145	3	175	4	320	
5	YEGOROV Ivan	KAZ	87	76.85	130	140	145	150	165	175	175	145	4	175	5	320	
6	ASADULLAH Mohammad Zakir	IND	80	76.70	125	130	135	X	155	162	167	130	6	162	7	292	
7	AHMED Jasim	BRN	76	76.50	115	121	X	121	135	142	142	115	7	135	8	250	
8	KARIMAN Mohammad Edris	AFG	85	72.45	90	90	90	X	100	100	105	90	8	105	9	185	
	AHAD Sanjabi	IRI	86	76.55	136	136	X	136	160	165	167	X	—	—	—	—	

## 85Kg級

1	MOLDOSOV Ulambek	KGZ	76	84.00	145	151	157	X	180	186	186	151	3	180	1	341	
2	HSEH Wei-Chun	TPE	83	84.70	145	145	147	147	181	187	195	147	4	187	2	334	
3	ZANG Wei	CHN	85	84.25	147	152	157	X	180	186	186	152	2	180	3	332	
4	SEDOV Vladimir	KAZ	88	83.10	145	150	156	156	170	180	180	156	1	170	7	326	

94Kg級

順位	氏名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト				
				1	2	3	1	2	3	S	順位	順位		
1	EBRAHIMI Ashger	IRI 82	93.30	165	170	175	195	205	210	175	1	205	1	380
2	DEGHANIAN Ali	IRI 85	93.60	155 x	155 x	155	196	203	206 x	155 x	3	203	2	358
3	SEDOV Sergey	KAZ 84	91.20	155 x	155 x	160	185	190	196	160	2	196	3	356
4	ISTOMIN Sergey	KAZ 88	91.90	150	155 x	155	180	188	191	153	5	190	5	343
5	KHUNCHAI Nuchpum	THA 80	91.15	145	150	153	185	190	195 x	153	4	190	4	343
6	SUTHIPHON Wethansakasihom	THA 85	92.90	143	148	151 x	178	181	186	146	6	186	6	334
7	TARSO	INA 78	92.95	140	146 x	146 x	180 x	180	186 x	140	8	180	7	320
8	川畑 源大	JPN 85	88.00	135	140	143	175	179 x	179 x	143	7	175	8	318
	LUU Ven Thang	VIE 80	85.90	140 x	140 x	140 x	170 x	170	181 x	—	—	—	—	170.9

105Kg級

1	ASAAD Saïd Saïd Saad	QAT 75	104.85	175	180 x	180	205 x	207	210	180	1	210	1	390
2	BEIRANVAND Mohsen	IRI 81	100.85	170	175	177	195	204	206	177	2	206	2	383
3	FROLOV Dmitry	KAZ 72	104.25	150	166	171 x	180	202	211 x	166	3	202	3	368
4	URINOV Alexander	UZB 73	98.30	165 x	165	169 x	185	190	203 x	165	4	190	4	355
5	NETI Kham Elam	THA 81	101.65	147	152	156	186	191 x	196 x	156	5	186	5	342
6	RENANTE Briones	PHI 82	102.60	135 x	135	140 x	175 x	175	180 x	135	6	175	6	310
7	TAHER Ebrahim Hasan	BRN 64	103.20	120	130 x	130 x	140	150 x	150 x	120	7	140	7	260

+105Kg級

1	REZAZADEH Hossein	IRI 76	164.50	190	195	200	240	250	260	200	1	260	1	480
2	JABER Saeed Salem	QAT 75	121.90	180	190 x	190	220	226	232	190	2	232	2	422
3	KHALILOV I	UZB 72	142.80	170	177	180	210	220	230 x	180	3	220	3	400
4	MARTENYANOV Andrcy	UZB 82	141.30	167	172	177 x	210	220 x	225 x	172	4	210	4	382
5	天野 満	JPN 81	132.15	140	145 x	145	185	190	191	145	7	191	5	336
6	関谷 圭介	JPN 82	128.15	140	145 x	145	180	185	190	145	6	190	6	335
7	GAJAPATHY Dhmodaran	IND 80	112.70	130	135 x	135	170 x	170	175	135	9	175	7	310
8	JASIM Ahmed	BRN 84	111.10	130	136	140 x	150	—	—	136	8	150	8	286
	SAEED Ali Hosseini	IRI 88	113.90	171	177 x	—	—	—	—	171	5	—	—	—
	ABDULLA Ali	BRN 74	109.40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

国別得点表

順位	国名	56Kg	62Kg	69Kg	77Kg	85Kg	94Kg	105Kg	+105Kg	合計得点
1	KAZ	133 / 2	148 / 2	148 / 2	67 / 1	68 / 1	68 / 1			557 / 8
2	CHN	71 / 2	159 / 2	67 / 1	67 / 1	71 / 1	63 / 1	105 / 2	474 / 8	497 / 8
3	THA	58 / 1	128 / 2	64 / 1	20 / 1	61 / 1	123 / 2	75 / 1	105 / 2	474 / 8
4	IRI	118 / 2				60 / 1	55 / 1	121 / 2	295 / 5	295 / 5
5	JPN			59 / 1		72 / 1		66 / 1	135 / 2	260 / 4
6	TPE	145 / 2	67 / 1			59 / 1		84 / 1	75 / 1	234 / 3
7	UZB							55 / 1	227 / 4	227 / 4
8	QAT							57 / 1	54 / 2	218 / 5
9	IND	54 / 1	59 / 1							192 / 3
10	BRN									113 / 3
11	KGZ			113 / 2		79 / 1				113 / 2
12	PRK	23 / 1	23 / 1			57 / 1				104 / 2
13	INA									93 / 2
14	AFG			51 / 1						80 / 1
15	VIE	76 / 1				17 / 1				18 / 1
16	PHI						80 / 1			71
17	UAE									
合計	17	10	8	9	9	9	9	7	10	71

第18回アジア女子選手権大会

●平成17年9月26日[48Kg級~53Kg級]-27日[58Kg級]-28日[63Kg級~69Kg級]-29日[75Kg級]-30日[79Kg級]

●UAE ドバイ

48Kg級

順位	氏名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト				
				1	2	3	1	2	3	S	順位	順位		
1	SAE-LAW Pansin	THA 84	47.40	82	86	88	110	115 x	115	88	2	115	1	203
2	YE Ying	CHN 78	47.55	82	87	89	105	110	115 x	89	1	110	3	199
3	BUNPHITPAK Thongyim	THA 84	47.40	85	88 x	88 x	107	112	114 x	85	3	112	2	197
4	CHEN Weiling	TPE 82	45.95	74	77 x	78	98	103 x	103	78	4	103	4	181
5	NGUYEN Tin Bich Ha	VIE 82	47.35	75	80 x	82 x	95	102 x	102 x	75	5	95	5	170
6	KIM Yegeniya	KAZ 80	47.65	65	70	73 x	80	85	90	70	6	90	6	160
7	ROSAAS Emily	PHI 80	47.65	65	70	73 x	80	85	90	70	6	90	6	160
8	竹下 菜穂	JPN 88	47.50	61 x	61	66	75	81 x	81	66	7	81	7	147
9	中野 有理	JPN 87	44.55	53	56 x	56 x	70	72	74	56	9	74	9	130

53Kg級

1	KUNTATEAN Junpin	THA 84	52.65	92	93	94	117	118	119	94	1	119	1	213
2	RI Hyon Ok	PRK 84	52.30	82	85	87	111 x	111	113	87	2	113	2	200
3	FANG Hsin-Tzu	TPE 83	52.80	82	85	87	110 x	110	116 x	85	3	110	3	195
4	KASHKULINA Lezzat	KAZ 88	51.60	70	76	77	90	95	100	76	7	100	4	177
5	SUPENI	INA 74	52.40	72	77 x	78	92 x	92	97 x	78	5	92	5	170
	CHEN Xian	CHN 88	51.25	82 x	82	85 x	102 x	102 x	102 x	82	4	—	—	—

58Kg級

1	KAMEAIM Wardee	THA 78	57.18	92	97	100 x	120	125	128 x	97	1	125	1	222
2	TANG Lanhua	CHN 85	57.25	87	93	95 x	117	125	127 x	93	2	125	2	218
3	PATMAWATTI	INA 72	57.75	80	88 x	88 x	98	111 x	111 x	80	3	98	3	178
4	LEE In-Joo	KOR 86	56.65	76	70	72 x	85	90	93 x	70	4	90	4	160

63Kg級

1	THONGSUK Pawina	THA 79	62.05	100	102	105	130	132	135	105	1	135	1	240
2	SABLINA Olga	KAZ 78	62.65	92	96	98	122 x	122	124	98	3	124	3	222
3	LI Chunmei	CHN 84	62.15	96 x	96	99	120 x	120	122	99	2	122	5	221
4	KIM Song Sim	PRK 81	61.90	95 x	95	97 x	125 x	125 x	125 x	95	6	125	2	220
5	DETSAENG Saipin	THA 77	62.40	92	97	98 x	115	120	123	97	5	123	4	220
6	NGUYEN Tin Thiet	VIE 84	62.25	92	97 x	97	115	123 x	124 x	97	4	115	6	215
7	NGUYEN Thi Yen	VIE 84	62.50	80	85	87	95	102	107	87	7	107	7	194
8	SETYAWATTI Prapit Tri	INA 86	61.45	81 x	81	86	101	106	110 x	86	8	106	8	192

69Kg級

1	ZHANG Ning	CHN 83	68.55	95	97	100	120	123	123	100	1	123	1	223
2	LOHAJ Eearing Nissara	THA 82	64.60	92 x	95	115	122 x	122 x	122 x	95	2	122	2	217
3	SHAMBANMURAM Nabstea Devi	IND 74	67.20	80	85	93	103	110	116 x	93	3	110	3	203
4	TRUONG Thi Hue	VIE 83	68.10	75 x	75 x	75 x	80	90	95	75	4	95	4	170

75Kg級

1	ZHANG Shaoling	CHN 84	70.55	100	105	106	130	135	138	106	1	138	1	244
2	PUJARI Sailaja	IND 82	72.55	96	101	106 x	126	132	138	101	3	138	2	239
3	VLAASSOVA Irina	KAZ 86	73.90	95	101	106	126	131	133	106	2	133	3	239
4	CHOI Hye Jin	KOR 83	74.45	90	95	98 x	110	115 x	115 x	95	4	115	4	210
5	GICAIN Ewan	PHI 82	69.40	73	77	80	95	100 x	100 x	80	5	95	5	175

+75Kg級

1	GRABOVETSKAYA Maria	KAZ 87	96.10	105	110	115	130	135	140	115	1	140	1	255
2	ABORNEVA Alexandra	KAZ 86	84.00	100	105	107 x	126	135	140 x	105	2	135	2	240
3	GEETA Rani	IND 81	99.65	93	101	106 x	125	132	140 x	101	3	132	3	

国別得点表

順位	国名	48kg	53kg	58kg	63kg	69kg	75kg	75kg	合計得点
1	THA	152 / 2	84 / 1	84 / 1	148 / 2	75 / 1			543 / 1
2	KAZ	57 / 1	64 / 1		71 / 1		159 / 2		422 / 6
3	CHN	76 / 1	22 / 1	75 / 1	69 / 1	84 / 1	84 / 1		410 / 6
4	VIE	63 / 1			119 / 2	66 / 1			246 / 4
5	IND					69 / 1	73 / 1	69 / 1	211 / 3
6	INA		63 / 1	69 / 1	54 / 1				186 / 3
7	PRK		75 / 1		67 / 1				142 / 2
8	TPE	66 / 1	69 / 1						135 / 2
9	KOR			66 / 1			66 / 1		132 / 2
10	PHI	60 / 1					63 / 1		123 / 2
11	JPN	105 / 2							105 / 2
合計	11	9	6	4	8	4	5	3	39

第41回西日本学生新人選手権大会

●平成17年9月25日 ●関西大学重量挙げ練習場(吹田市)

56Kg級

順位	氏名	大学名	名	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル	
						1	2	3	1	2	3	S	O&J		
1	瀧	名城大学		87	54.55	60	65	65	75	80	82	60	1	75	135

62Kg級

1	大河内裕介	立命館大学		85	2	61.95	93	98	103	115	120	125	CR	98	1	125	1	223
2	谷口 征也	京都産業大学		86	1	60.05	80	80	85	105	110	115		85	2	115	2	200
3	塚田 久明	九州国際大学		85	2	61.20	80	85	85	105	111	111		85	3	111	3	196
4	吉村 昌太	桃山学院大学		85	2	61.05	70	75	80	85	90	90		75	4	90	4	165

69Kg級

1	真弓 裕也	九州国際大学		85	2	63.35	75	80	83	98	102	105		83	1	105	1	188
2	根野 渉	名城大学		86	1	69.00	77	83	88	90	95	98		83	2	95	2	178

77Kg級

1	石田 祐人	関西学院大学		85	1	70.20	97	102	105	120	125	130		105	1	130	1	235
2	三戸剛有基	九州国際大学		85	2	72.60	101	106	106	120	126	130		101	2	126	2	227
3	丹崎 豊	大阪商業大学		87	1	76.50	90	95	100	115	120	125		95	3	125	3	220
4	大山 剛史	立命館大学		86	1	75.55	75	80	80	100	105	108		80	6	105	5	185
5	片岡 卓也	名古屋産業大学		87	1	76.35	85	90	90	95	100	103		90	4	95	7	185
6	石上 祐基	名古屋産業大学		86	1	73.70	72	72	76	76	77	78		72	7	77	6	169
7	千賀 大貴	名古屋産業大学		86	1	73.70	72	72	76	76	77	78		72	7	77	6	169
8	行川 真浩	京都大学		84	2	70.00	61	66	66	93	78	78		61	8	73	8	134

85Kg級

1	藤井 暉	中央大学		87	1	81.90	100	105	105	130	134	140		100	2	134	1	234
2	島田 光幸	九州国際大学		85	2	79.15	103	110	113	CR	120	123		113	1	120	2	233
3	杉本 智広	桃山学院大学		86	1	83.55	95	100	102	127	132	135		95	3	132	2	227
4	丸岡 新	名古屋産業大学		86	1	84.50	85	90	95	105	110	115		95	4	115	4	210
5	近藤 琢磨	姫路獨逸大学		86	1	81.70	80	80	85	110	115	115		85	5	110	5	195

94Kg級

順位	氏名	大学名	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル					
					1	2	3	1	2	3	S	O&J						
1	中野 仁史	大阪商業大学		86	1	91.05	103	108	108	130	133	137		103	2	137	1	240
2	山内 慎也	九州国際大学		85	2	86.55	95	105	110	110	128	128		105	1	128	2	233
3	濱田 康佑	大阪商業大学		87	1	88.10	75	81	81	93	93	101		75	3	93	3	168

105Kg級

1	藤田 真司	大阪商業大学		86	1	103.30	90	98	98	120	125	125		90	2	120	1	210
2	足立 和國	桃山学院大学		86	2	96.10	90	95	103	100	110	117		95	1	110	2	205

+105Kg級

1	蒲田 草弘	大阪商業大学		87	1	132.00	110	115	117	150	155	160		117	1	155	1	272
2	水野 慎平	九州国際大学		85	2	132.20	107	112	116	130	130	140		112	2	130	2	242
3	荻井 拓哉	名古屋産業大学		87	1	129.90	100	105	105	110	120	120		105	3	110	3	215

第50回全日本学生新人選手権大会

●平成17年10月8日[56Kg級~85Kg級]-9日[94Kg級~+105Kg級・女子全階級] ●熊子スポーツセンター(横浜市)

【男子】

56Kg級

順位	氏名	大学名	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル					
					1	2	3	1	2	3	S	O&J						
1	天運 力也	平成一国際大学		86	1	55.88	85	88	88	110	110	115		88	1	115	1	203
2	安里 将一	法政大学		85	2	56.00	85	85	88	110	114	119		85	3	114	2	199
3	須山 篤夫	日本大学		84	3	54.80	80	85	87	100	106	108		87	2	106	3	193
4	坪井 一樹	早稲田大学		86	1	54.72	80	83	86	100	105	111		83	5	105	4	188
5	村上 智彦	法政大学		87	1	55.78	82	86	86	105	105	110		82	6	105	5	187
6	小高 正人	早稲田大学		86	1	54.82	75	80	80	90	95	97		80	7	95	6	175
	樹木 聡	名古屋産業大学		87	1	54.54	77	83	86	100	105	105		83	4	—	—	—

62Kg級

1	高木 悠介	早稲田大学		87	1	61.86	95	100	103	120	125	128		100	1	125	1	225
2	内藤 陽	法政大学		86	1	59.80	90	94	97	120	125	128		97	2	120	2	217
3	中林 良浩	中央大学		84	3	61.48	95	95	98	111	115	115		95	3	111	4	206
4	大越 健次	日本体育大学		85	2	61.82	85	90	90	111	116	117		90	4	116	3	206
5	市川 浩二	城西大学		83	4	61.94	80	85	88	105	105	105		85	5	105	5	190
	速藤 裕貴	城西大学		83	4	61.80	80	80	83	105	105	105		80	6	—	—	—

69Kg級

1	栗田 晃嘉	日本体育大学		86	1	67.40	111	111	116	130	135	135		111	1	130	1	241
2	石田 晃嘉	関西学院大学		85	1	68.70	100	105	107	120	125	125		105	2	125	2	230
3	佐藤 卓也	明治大学		86	1	68.54	95	100	103	118	121	125		100	4	121	4	221
3	佐藤 賢史	平成一国際大学		85	2	65.36	93	96	96	117	121	125		96	5	121	3	217
5	船州 賢二	日本体育大学		86	1	63.68	95	100	105	115	120	120		100	3	115	5	215
6	佐々木威虎	名古屋産業大学		84	2	65.14	85	98	98	105	110	113		95	6	110	7	205
7	佐藤 正徳	秋田経済法科大学		86	3	67.04	85	90	95	105	110	112		90	7	105	8	195
8	伊藤 篤	日本大学		86	1	62.94	78	80	80	98	103	105		80	9	103	9	183
9	前田 直紀	城西大学		83	4	67.76	77	80	85	95	95	102		85	8	95	11	180
10	山崎 亮太	城西大学		84	2	65.84	77	82	82	95	100	103		77	10	100	10	177
	木村 聡	日本大学		85	2	63.40	90	90	90	110	115	115		90	11	110	6	—
	山田 廉人	日本大学		86	1	68.60	100	100	100	100	100	100		100	12	—	—	—

77Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 生学, 学年, 体重, クリニク, スナツチ, ベスト, トータル. Lists athletes and their performance data for the 77kg category.

85Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 生学, 学年, 体重, クリニク, スナツチ, ベスト, トータル. Lists athletes and their performance data for the 85kg category.

94Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 生学, 学年, 体重, クリニク, スナツチ, ベスト, トータル. Lists athletes and their performance data for the 94kg category.

105Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 生学, 学年, 体重, クリニク, スナツチ, ベスト, トータル. Lists athletes and their performance data for the 105kg category.

+105Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 生学, 学年, 体重, クリニク, スナツチ, ベスト, トータル. Lists athletes and their performance data for the +105kg category.

【女子】

58Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 生学, 学年, 体重, クリニク, スナツチ, ベスト, トータル. Lists female athletes and their performance data for the 58kg category.

63Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 生学, 学年, 体重, クリニク, スナツチ, ベスト, トータル. Lists female athletes and their performance data for the 63kg category.

69Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 生学, 学年, 体重, クリニク, スナツチ, ベスト, トータル. Lists female athletes and their performance data for the 69kg category.

75Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 生学, 学年, 体重, クリニク, スナツチ, ベスト, トータル. Lists female athletes and their performance data for the 75kg category.

+75Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 生学, 学年, 体重, クリニク, スナツチ, ベスト, トータル. Lists female athletes and their performance data for the +75kg category.

優秀選手 男子 77Kg級 杉 久志(日本大学) 女子 58Kg級 守 美穂子(日本体育大学)

# 第60回国民体育大会

●平成17年10月23日[53kg級～62kg級]-24日[69kg級～77kg級]-25日[85kg級～94kg級]-26日[105kg級～+105kg級]  
 ●成年男子：倉敷市倉敷体育館 少年男子：倉敷運動公園ウエイトリフトディング場

## 【成年男子】

### 53kg級

順位	氏名	都道府県	生年	生体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	C&J	トータル
					1	2	3	1	2	3			
1	越智 一平	福井	84	52.62	94	96	97	115	120	120	97	120	217
2	納言 俊行	兵庫	71	52.42	93	94	96	115	118	120	96	120	216
3	塚本 誠進	秋田	73	52.32	93	93	93	115	117	117	93	117	210
4	小野 貴弘	岡山	81	52.46	91	94	94	112	113	115	91	115	208
5	末廣 雄一	山形	79	51.22	90	93	93	110	112	113	93	110	203
6	田島 匡親	大阪	82	52.68	75	80	85	110	115	120	85	115	200
7	平田 彰	福岡	82	52.66	84	84	88	110	113	113	84	110	197
8	濱川 宏樹	山口	85	51.88	84	80	82	107	110	113	80	113	190
9	小川 雅史	広島	83	52.28	80	83	83	110	110	110	80	114	190
10	成瀬 英士	和歌山	85	52.62	82	82	82	108	113	113	82	111	188
11	佐久間 勝彦	福島	70	52.12	88	90	91	90	90	98	88	90	178
12	吉崎 雅	富山	79	52.88	78	81	83	93	96	98	81	96	177
13	川口 優樹	富山	74	52.56	70	73	73	80	80	83	70	80	150
	鈴木 充	茨城	83	52.24	88	90	91	100	100	102	88	91	150
	大橋 博也	神奈川	85	52.78	88	92	92	103	103	103	88	88	150
	宮下 扶郎	香川	86	52.40	80	80	80	95	100	102	80	95	102

### 156kg級

順位	氏名	都道府県	生年	生体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	C&J	トータル
					1	2	3	1	2	3			
1	山田 政晴	群馬	80	55.66	103	103	104	135	143	143	104	143	247
2	大田 真志	岡山	82	55.76	98	101	103	125	131	136	103	131	234
3	宮川 一宏	徳島	75	55.24	95	100	103	123	123	123	103	123	226
4	須田 正和	千葉	83	54.98	100	103	103	120	123	123	103	120	223
5	須田 俊幸	栃木	84	55.46	97	101	103	120	123	123	101	120	221
6	山小 聖	東京	77	55.76	100	100	100	113	113	113	100	113	213
7	小野 剛義	愛知	78	55.48	93	96	98	115	118	118	96	115	211
8	千代田 志志	佐賀	79	55.82	90	90	95	120	123	124	90	120	210
9	坂本 憲輔	秋田	80	54.88	93	93	95	115	117	117	93	115	208
10	奥野 謙夫	富山	84	55.58	90	90	94	105	111	116	94	111	205
11	山本 亮	富山	76	55.30	88	88	88	115	115	117	88	115	203
12	竹下 湖南	鳥取	79	54.92	80	83	85	98	100	103	83	103	188
	小林 拓郎	山形	83	55.76	95	98	98	116	116	116	98	116	187
	栗山 晃典	神奈川	83	55.84	90	90	90	105	105	105	90	105	187
	村田 明文	茨城	72	54.98	87	87	87	105	105	105	87	105	187

### 62kg級

順位	氏名	都道府県	生年	生体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	C&J	トータル
					1	2	3	1	2	3			
1	上地 克彦	福井	86	61.96	111	111	114	150	159	161	111	159	261
2	崎村 公貴	広島	77	61.46	116	118	118	141	142	150	116	142	258
3	杉原 俊孝	広島	83	61.78	115	118	118	135	138	141	115	141	256
4	富永 佳孝	徳島	72	61.16	105	110	110	135	140	141	110	141	251
5	石崎 満三	九州	84	61.42	105	108	111	135	138	141	111	138	249
6	五百蔵 正和	高知	85	61.56	110	113	113	130	135	135	113	135	248
7	森田 裕厚	石川	81	61.70	103	107	108	133	137	141	107	137	244
8	石川 秀明	島根	83	61.74	102	105	107	133	137	137	107	133	240
9	中村 友生	宮城	87	60.76	103	106	108	125	130	133	106	133	239
10	小島 良志	宮城	76	61.92	96	101	106	125	130	134	101	130	231
11	森下 良平	大阪	68	61.10	110	115	120	125	125	125	110	120	230
12	高木 啓介	愛知	87	61.40	98	100	103	120	125	130	103	125	228
13	松本 紀一	大阪	85	61.56	95	100	100	133	133	135	95	133	228
14	西川 裕典	福山	84	61.78	97	102	104	123	128	131	102	124	225
15	西嶋 勝典	千葉	85	61.52	90	95	97	120	125	130	97	125	222
16	水野 賢志	岐阜	85	60.76	95	100	103	115	120	120	100	120	220
17	外川 研輔	新潟	84	61.04	105	107	107	115	120	121	105	115	220
18	新木 宏一	岡山	85	61.38	95	100	100	120	120	128	100	120	220
19	佐藤 鉄矢	青森	84	61.44	90	90	95	115	115	120	95	120	215
20	山本 啓大	鳥取	80	61.90	103	106	108	106	110	115	103	110	213
21	園田 文明	佐賀	81	61.90	96	101	101	100	100	106	96	100	213
22	埴内 道光	和歌山	82	59.46	80	85	85	90	100	107	85	107	196
23	伊東 智人	鹿児島	80	61.64	70	75	75	80	80	95	80	95	170
24	中山 太平	長野	86	61.36	70	75	75	90	90	90	75	90	165
	佐久間 亘	北海道	85	61.76	106	106	106	125	131	134	106	131	111
	内閣 隆福	井法政大	86	60.10	90	94	94	120	125	125	94	120	111

### 69kg級

順位	氏名	都道府県	生年	生体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	C&J	トータル
					1	2	3	1	2	3			
1	今村 健雄	山梨	79	67.60	121	124	125	153	156	156	125	156	281
2	上村 琢	兵庫	72	67.84	120	123	124	154	155	157	123	157	278
3	近藤 伸次	愛知	79	68.16	120	123	125	151	154	154	125	154	278
4	朝田 智弘	東京	82	68.68	115	120	120	145	150	155	120	150	270
5	坂本 祐哉	茨城	85	68.86	115	119	119	146	149	152	115	152	267
6	野村 真弘	山梨	83	68.56	124	125	126	137	137	142	126	137	263
7	石川 洋平	愛媛	77	68.92	110	116	118	145	145	151	118	145	263
8	竹田 真司	京都	82	68.40	116	118	118	146	146	149	118	146	262
9	窪田 誠司	京都	84	68.48	116	118	118	140	145	147	116	145	261
10	堤 阿輝	群馬	85	68.22	112	116	116	142	145	146	112	145	257
11	横山 博司	山梨	84	66.94	110	115	117	137	137	145	110	145	255
12	山崎 竜平	三重	84	68.18	110	115	118	135	140	145	115	140	255
13	奥山 竜司	三重	83	67.06	110	110	110	130	135	140	110	135	245
14	勝谷 智幸	宮城	84	67.18	100	105	107	135	140	142	105	140	245
15	佐藤 智幸	島根	78	68.42	110	110	110	135	140	142	110	140	245
16	岩岡 幸隆	長崎	86	67.44	107	111	113	127	130	130	111	130	241
17	瀧田 実嘉	福岡	84	67.54	100	105	105	130	135	140	105	135	240
18	岩谷 崇範	福岡	84	68.68	100	105	105	130	135	140	105	135	240
19	吉本 泰之	大阪	84	64.88	100	105	105	130	135	140	105	135	235
20	平 智史	奈良	81	68.64	100	105	105	115	120	125	100	125	225
21	川口 真裕	鳥取	81	67.84	95	100	105	115	120	125	100	125	225
22	中村 友	長野	78	65.60	95	100	100	110	110	116	100	110	210
23	鈴木 正紀	鹿児島	82	63.76	70	76	76	90	95	97	76	95	171
	船木 豊	石川	83	68.46	110	110	115	150	153	153	115	153	150

77K級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 生年, 生体重, スナッチ, クリーン&ジャーク, ベスト, トータル. Lists athletes and their performance data for the 77kg weight class.

85K級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 生年, 生体重, スナッチ, クリーン&ジャーク, ベスト, トータル. Lists athletes and their performance data for the 85kg weight class.

94K級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 生年, 生体重, スナッチ, クリーン&ジャーク, ベスト, トータル. Lists athletes and their performance data for the 94kg weight class.

105K級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 生年, 生体重, スナッチ, クリーン&ジャーク, ベスト, トータル. Lists athletes and their performance data for the 105kg weight class.

+105K級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 生年, 生体重, スナッチ, クリーン&ジャーク, ベスト, トータル. Lists athletes and their performance data for the +105kg weight class.

【少年男子】

53Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 学年, 生年, 体重, クリーン&ジャーク (1, 2, 3), スナッチ (1, 2, 3), ベスト (S, C&J, トータル), トータル. Lists athletes like 1 中川 大樹, 2 小山内 伸明, etc.

56Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 学年, 生年, 体重, クリーン&ジャーク (1, 2, 3), スナッチ (1, 2, 3), ベスト (S, C&J, トータル), トータル. Lists athletes like 1 中本 達太, 2 江本 慶伸, etc.

62Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 学年, 生年, 体重, クリーン&ジャーク (1, 2, 3), スナッチ (1, 2, 3), ベスト (S, C&J, トータル), トータル. Lists athletes like 1 黒江 慧治, 2 福田 武広, etc.

69Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 学年, 生年, 体重, クリーン&ジャーク (1, 2, 3), スナッチ (1, 2, 3), ベスト (S, C&J, トータル), トータル. Lists athletes like 1 三谷 洋平, 2 村上 広大, etc.

77Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 学年, 生年, 体重, クリーン&ジャーク (1, 2, 3), スナッチ (1, 2, 3), ベスト (S, C&J, トータル), トータル. Lists athletes like 1 谷崎 正尚, 2 岩中 徹樹, etc.

85Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 学年, 生年, 体重, クリーン&ジャーク (1, 2, 3), スナッチ (1, 2, 3), ベスト (S, C&J, トータル), トータル. Lists athletes like 1 土谷 浩二, 2 平原 孝人, etc.



# 第4回東アジア競技大会

●平成17年10月30日[男子56Kg級~62Kg級・女子48Kg級]・31日[69Kg級・女子53Kg級~58Kg級]・11月1日[男子77Kg級~85Kg級・女子63Kg級]  
 2日[男子94Kg級・女子69Kg級]・3日[男子105Kg級~109Kg級・女子75Kg級~75Kg級] ●マカオ

## 【男子】

### 56Kg級

順位	氏名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ペスト			
				1	2	3	1	2	3	S	順	C&J	順
1	LU Jimbi	CHN 81	55.93	116	122	125	146	151	154	125	154	2	279
2	YANG Chinyi	TPE 81	55.92	116	121	124	146	151	152	124	152	3	276
3	RI Kyongsok	PRK 81	55.92	115	120	122	147	155	159	120	155	1	275
4	MENG Wenjun	MAC 76	55.73	116	120	120	136	140	142	116	142	4	258
5	塚川 康彦	JPN 80	55.74	110	113	116	135	140	143	113	140	5	253

### 62Kg級

1	ZHANG Xiangxiang	CHN 83	61.88	128	133	137	158	162	167	137	167	2	304
2	WANG Shinyuan	TPE 76	60.52	125	130	130	161	166	169	130	169	1	299
3	IM Yongsu	PRK 80	61.96	131	134	138	162	166	171	134	162	3	296
4	YANG Sheng-Hsiung	TPE 83	61.50	120	125	125	150	157	161	129	142	4	277

### 69Kg級

1	CHEN Chufu	CHN 80	68.46	135	141	146	165	173	180	146	180	1	326
2	KIM Sun-Bae	KOR 86	68.92	120	125	128	151	161	170	128	170	2	288
3	平良 健太	JPN 84	68.82	113	120	125	145	150	150	120	150	3	270
4	GAMBOLD Purevdorj	MGL 76	68.87	105	110	112	135	140	142	110	140	4	250

### 77Kg級

1	LU Changjiang	CHN 86	76.84	147	153	153	182	188	193	153	193	1	346
2	新谷 義人	JPN 81	75.18	135	140	143	175	182	183	143	183	2	326
3	KYE Kumchol	PRK 82	76.15	145	150	150	180	183	183	145	180	3	325
4	KUO Chengwei	TPE 82	76.09	132	137	137	165	172	172	137	165	4	302

### 85Kg級

1	JIANG Hairong	CHN 83	83.27	155	160	165	185	190	195	165	195	1	360
2	HER Jin	KOR 79	84.45	150	155	160	182	187	191	155	191	2	346
3	鈴木 和美	JPN 76	84.15	140	145	148	180	185	188	148	188	3	336
4	HSIEH Wei-Chun	TPE 83	84.84	146	151	153	185	190	190	151	185	4	338
5	木曾川 章	JPN 79	84.33	140	140	145	170	175	182	145	175	5	320

### 94Kg級

1	LEE Ungio	KOR 80	93.92	150	155	160	185	195	200	160	200	1	360
2	KIM Chul-Min	KOR 86	92.82	145	150	155	185	185	200	155	185	2	340
3	佐藤 彰彦	JPN 79	93.02	140	145	145	170	180	180	145	180	3	325

### 105Kg級

1	LI Yijun	CHN 82	104.61	155	160	165	190	200	206	165	206	1	371
2	HYUN Yong-chul	KOR 79	104.36	151	156	156	180	188	195	156	188	2	344
3	圃山 昇	JPN 78	103.18	145	150	155	180	187	193	150	187	3	337

### +105Kg級

1	DONG Feng	CHN 78	131.25	175	180	180	215	226	244	180	244	1	424
2	JEON Sang-Guen	KOR 81	147.57	160	170	175	201	207	230	170	207	3	377
3	SONG Young-Hoon	KOR 84	135.95	160	165	165	201	216	220	160	216	2	376
4	森田 宗弘	JPN 76	118.60	150	160	170	200	205	205	170	205	4	375

## 【女子】

### 48Kg級

順位	氏名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ペスト			
				1	2	3	1	2	3	S	順	C&J	順
1	YANG Lian	CHN 82	47.53	75	88	90	110	117	117	90	117	1	207
2	三宅 宏美	JPN 85	47.83	78	81	83	103	108	110	81	110	2	191
3	CHOE Unsim	PRK 80	47.99	82	87	89	95	100	102	87	102	3	189
4	CHEN Weiling	TPE 82	46.88	75	78	78	95	95	101	75	101	4	170
5	大城みさき	JPN 84	47.50	72	72	75	89	93	93	72	93	5	165

### 53Kg級

1	DENG Jianying	CHN 86	52.63	91	96	100	112	116	116	100	118	1	218
2	PARK Eun-jin	KOR 85	52.95	85	88	91	105	110	112	88	110	4	198
3	FANG Hsin-Tzu	TPE 83	52.56	82	85	85	108	111	116	82	111	2	193
4	松宮紅美恵	JPN 79	52.65	75	75	80	105	110	112	80	110	3	190
5	DAVAA Tumuruu	MGL 80	52.52	53	58	62	65	70	75	58	70	5	128

### 58Kg級

1	CHEN Yangqing	CHN 79	57.29	95	100	103	115	120	125	103	125	1	228
2	O Jongae	PRK 84	57.76	85	88	90	115	120	120	90	115	2	205
3	BAYARMAA Namkhaidorj	MGL 78	57.84	88	90	92	111	111	115	90	115	3	205
4	IM Jyoung-Hwa	KOR 86	57.96	90	93	93	110	113	116	90	113	4	203

### 63Kg級

1	LIU Xia	CHN 81	62.82	97	97	102	127	131	133	102	133	1	235
2	PAK Hyon-Suk	PRK 85	60.74	95	100	102	125	130	130	102	125	2	227
3	KIM Sook-Yung	KOR 85	61.52	85	90	90	110	115	120	90	115	3	205
4	KANG Min-Suk	KOR 81	61.89	75	80	83	105	109	113	80	113	4	193
5	橋田 麻由	JPN 86	62.41	83	88	88	106	110	110	83	110	5	193

### 69Kg級

1	GAO Lei	CHN 83	67.56	105	110	113	132	135	135	113	135	1	248
2	HUANG Shih-Chun	TPE 75	68.84	105	110	110	127	127	131	105	127	2	236
3	KIM MiKyung	KOR 81	67.70	95	100	100	125	131	131	95	125	3	220
4	HONG Yongok	PRK 86	68.06	95	100	100	125	131	131	95	125	4	220
5	齊藤 里香	JPN 83	66.89	85	90	90	112	117	120	90	117	5	207
	LU Wan-I	TPE 85	66.38	100	100	100	—	—	—	—	—	—	—

### 75Kg級

1	YANG Houqin	MAC 81	74.09	102	107	110	125	130	135	107	135	2	242
2	ZHANG Shaoling	CHN 86	70.89	95	102	105	125	130	135	105	125	1	240
3	KIM Soon-Hee	KOR 77	74.94	105	105	105	130	135	138	105	135	3	240
4	今鉢 一恵	JPN 82	74.48	100	105	105	120	125	127	105	125	4	230

### +75Kg級

1	JANG Miran	KOR 83	114.05	120	125	130	155	165	176	130	165	1	295
2	DING Meiyuan	CHN 79	97.11	115	120	125	145	150	155	125	155	2	280
3	城内 史子	JPN 85	108.31	75	85	90	105	115	125	85	115	3	200

国 別 得 点 表

【男子】

順位	国名	58Kg	62Kg	69Kg	77Kg	85Kg	94Kg	105Kg	+105Kg	合計得点
1	CHN	81 / 1	81 / 1	84 / 1	84 / 1	84 / 1	84 / 1	84 / 1	84 / 1	582 / 7
2	JPN	63 / 1		69 / 1	73 / 1	131 / 2	69 / 1	69 / 1	69 / 1	543 / 8
3	KOR			75 / 1	75 / 1	159 / 2	75 / 1	141 / 2		525 / 7
4	TPE	73 / 1	142 / 2		66 / 1	67 / 1				348 / 5
5	PRK	74 / 1	71 / 1		71 / 1					216 / 3
6	MAC	66 / 1								66 / 1
6	MGL			66 / 1						66 / 1
合計	7	5	4	4	4	5	3	3	4	32

【女子】

順位	国名	48Kg	53Kg	58Kg	63Kg	69Kg	75Kg	+75Kg	合計得点
1	CHN	84 / 1	84 / 1	84 / 1	82 / 1	84 / 1	78 / 1	75 / 1	571 / 7
2	KOR		72 / 1	66 / 1	134 / 2	69 / 1	68 / 1	84 / 1	493 / 7
3	JPN	136 / 2	67 / 1		64 / 1	63 / 1	67 / 1	66 / 1	463 / 7
4	PRK	71 / 1		75 / 1	78 / 1	66 / 1			280 / 4
5	TPE	66 / 1	71 / 1			75 / 1			212 / 3
6	MGL			63 / 1					132 / 2
7	MAC					82 / 1			82 / 1
合計	7	5	5	4	5	5	4	3	31

第74回世界選手権大会

●平成17年11月10日[58Kg級~62Kg級]・11日[69Kg級]・12日[77Kg級]・14日[85Kg級]・16日[105Kg級]・17日[94Kg級~+105Kg級]

●QAT トーナ

56Kg級

順位	国名	生 体 重	ス ナ ッ チ			グ リ ン & ジャ ー ク			ベ ス ト					
			1	2	3	1	2	3	1	2	3			
1	WANG Shin-yuan	55.57	122	125	126 x	153	158 x	158	158 x	158	125	156	1	281
2	LEE Jong-hoon	55.88	118	123 x	125	150	155	157 x	155	157 x	125	155	4	280
3	TUAN Hoang Anh	55.93	122	126 x	126	153	156 x	156	156 x	156	126	153	5	279
4	WU Meijin	55.65	122	125 x	126 x	156	158 x	158 x	158 x	158 x	122	156	2	278
5	LI Zheng	55.49	122 x	122 x	127	150	154 x	154 x	154 x	154 x	127	150	6	277
6	YANG Chin-yi	55.56	120 x	120	125 x	150	155	155 x	155	155 x	120	155	3	275
7	CASTRO Nelson	55.84	110	115 x	115	140	142	145	145	145	115	145	7	260
8	BEHROUZI Sajad	55.95	110	115	117 x	130	136	140	140	140	115	140	11	255
9	RADA Sergio A.	55.85	110	115 x	115 x	136	142 x	143	143	143	110	142	8	253
10	BONNEL Eric	55.91	107	111	113 x	135	140	142	142	142	111	140	9	253
11	BAHAROM Mohd Faizal	55.32	105	110 x	110 x	130	140	140	140	140	110	140	10	250
12	GRABUCEA Igor	55.37	112 x	112	117 x	137 x	137	140 x	140 x	140 x	112	137	12	249
13	CASTELLANO Victor	55.95	102	108	109	130	137	142 x	142 x	142 x	109	137	13	246
14	BAITTA Vicky	55.99	107	112 x	112 x	127 x	127 x	127 x	127 x	127 x	107	142	15	234
15	GANESAN Veerabhadran	55.25	100	105 x	105 x	125	132	137 x	137 x	137 x	100	132	14	232
16	KOUM Koum Daniel	55.76	97	102	105	125	130 x	132 x	132 x	132 x	102	115	16	227
17	ADAM Robert	55.79	95	100 x	100 x	120	120 x	120 x	120 x	120 x	100	120	17	220
	HANDURDIYEV Osmarguly	51.26	75 x	75 x	75 x	90 x	95	100 x	100 x	100 x	—	—	—	93

62Kg級

1	QIU Le	61.14	135	141	144	166	171	178	178	144	2	178	1	322
2	ZHANG Ping	61.82	135	142	145	166	166	170	173 x	145	1	170	2	315
3	JIGAU Adrian	61.93	127	131	133	156	159	162 x	162 x	133	3	159	6	292
4	ANGELOV Sevdalin	61.94	125 x	125	131 x	155	162	168 x	168 x	125	6	162	4	287
5	YANG Sheng-hsiung	61.29	123	126 x	126	155	160	166 x	166 x	126	5	160	5	286
6	BAZARBAEV Umurbek	61.36	130	133 x	133 x	150	156	162 x	162 x	130	4	156	8	286
7	MINGFEL Manuel	61.32	115	120	123	150	162 x	162 x	162 x	157	23	162	7	280
8	GOEGBUER Tom	61.02	118	123	126 x	145	149	153	153	123	7	149	10	272
9	HUDAYBERGENOV Tolkunbek	61.23	115	121	125 x	145	151	—	—	121	9	151	9	272
10	GROULX Sebastien	61.92	112	116 x	116 x	142	145	151 x	151 x	112	11	145	11	257
11	VELICIU Florin	61.80	112	116	120 x	130	140	143 x	143 x	116	10	140	12	256
12	ANDRIANTSIRY Charles	61.90	90	95	100	135 x	135	140	140	100	13	140	13	240
13	SANGOV Nizom	61.80	100	105	105	127 x	118	122 x	122 x	105	12	118	16	223
14	KATAMBA Ismail	60.57	90	95 x	95 x	120	130 x	131 x	131 x	90	14	120	15	210
15	ALYAZIDI Salah Mohammed	58.81	70	75	80 x	90	95	97 x	97 x	75	15	95	17	170
	CURBELO Rosales Adan	61.69	125 x	125 x	125 x	166	169 x	171 x	171 x	—	—	—	—	166
	HAMIDUL Islam	61.95	110 x	110 x	110 x	138 x	138 x	138 x	138 x	—	—	—	—	138
	MARTIN Manuel D.	61.98	115 x	115 x	115 x	—	—	—	—	—	—	—	—	138

69Kg級

1	SHI Zhiyong	67.98	152	157	160	180	185	190	190	160	1	190	1	350
2	LEE Bae-young	68.62	147 x	147	152	185	185	190 x	190 x	152	2	185	2	337
3	DABAYA Vencelas	68.12	140	145	146 x	179	185 x	188 x	188 x	145	3	179	3	324
4	HAZARIAN Arman	68.63	137	142 x	142 x	176 x	176	181 x	181 x	142	6	176	4	318
5	DEMIREV Demir	68.52	142	146 x	146 x	175	178 x	178 x	178 x	142	5	175	6	317
6	FIKRETOV Mehmed	68.09	130	135	138 x	170	175 x	175 x	175 x	135	9	175	5	310
7	DANIELIAN Artur	68.74	132	137 x	137 x	172	180 x	180 x	180 x	137	8	172	7	309
8	CASADO Jose	68.48	135	140	142	165	171 x	171 x	171 x	142	4	165	10	307
9	MICULESCU Nimel	67.85	135 x	135	140	155	165	170 x	170 x	140	7	165	9	305
10	ZUKOWSKI Sebastian	68.74	123	127 x	127	162	164	167	167	127	11	167	8	294
11	CAMPO Milton	68.48	127	130 x	130 x	155	160	163 x	163 x	130	10	160	11	290
12	KOSHNETZ Evgeny	68.95	122	127 x	127 x	154	158	163 x	163 x	122	14	154	12	276
13	MOLDODOSOV Kutman	68.27	120	125 x	125 x	145	150 x	150	150	125	12	150	14	275
14	SPOONER Mark	68.71	116	120 x	120 x	147	152	158 x	158 x	120	15	152	13	272
15	KADIRBERGENOV Sanjar	68.70	120 x	122	128 x	145	150 x	150 x	150 x	122	13	145	15	267
16	AATAR Abdellatif	67.87	95	99	101	125 x	125	125	125	101	16	101	16	231
17	HEALY Wayne	65.93	96	100 x	102 x	125	130	135 x	135 x	96	17	130	16	226

77K級

順位	氏名	国名	生年	生体	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト				
					1	2	3	1	2	3	S	O&J	総		
1	LI Hongli	CHN	80	76.81	160	165	170	180	195	198	165	1	196	1	361
2	DOGARIU Sebastian	ROM	77	76.51	155	160	163	185	190	190	163	2	190	5	353
3	ABBAS Sufyan	QAT	75	76.55	155	160	160	191	196	201	160	3	191	4	351
4	PETER Yukio	NRU	84	76.70	143	150	155	185	192	193	155	7	193	2	348
5	HOCH Rene	GER	78	76.64	148	150	153	182	187	192	153	8	192	3	345
6	MARKOV Georgi	BUL	78	76.94	155	160	163	185	185	189	160	4	185	6	345
7	MARTINEZ Sergio	ESP	80	76.08	145	150	152	170	175	178	152	10	178	9	330
8	GUMAN Viktor	SVK	76	76.92	153	158	158	170	174	177	153	9	171	10	330
9	RIVERAS Santo	DOM	80	75.07	138	141	145	173	178	181	145	11	181	7	326
10	FRYE Lance	USA	84	76.77	140	140	145	170	170	175	145	12	175	12	320
11	TURAN Mirzayev	AZE	79	76.60	140	144	148	174	178	181	144	14	175	11	319
12	OCANDO Jose	VEN	86	76.50	132	138	138	170	180	182	138	18	180	8	318
13	BRUNO Matthew	USA	83	76.46	133	138	140	170	176	180	140	17	170	15	318
14	GUTU Andrei	MDA	80	76.50	142	147	147	160	165	168	142	15	168	17	310
15	REJEOFU Maksudjan	TKM	81	76.87	145	145	150	165	165	165	145	13	165	19	310
16	LAZARIDIS Vladimiro	GRE	87	73.90	135	140	140	160	170	173	135	20	173	13	308
17	ANGULO Edinson	COL	82	75.54	136	136	136	172	178	178	136	19	172	14	308
18	GROSU Ghenaadie	MDA	84	75.85	138	140	140	167	171	171	140	16	167	18	307
19	ANTHONY Darryn	RSA	89	76.54	135	140	140	160	170	170	135	21	170	16	305
20	JANICEK Miroslav	SVK	74	75.01	126	129	132	164	168	168	129	22	164	20	293
21	YAYA Odongo Jack	KEN	71	76.13	105	110	115	145	145	150	110	24	145	21	255
22	SZRAMIAK Krzysztof	POL	84	76.15	105	105	105	158	161	161	105	25	158	5	—
23	HEREM Ali	IRQ	75	77.00	151	156	161	191	191	191	156	6	—	—	—
24	PATTERSON Richard	NZL	83	76.53	125	125	130	155	155	155	125	7	—	—	—
25	AMREYAN Hovhannes	ARM	75	76.81	155	155	155	185	185	185	155	8	—	—	—

85K級

順位	氏名	国名	生年	生体	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト				
					1	2	3	1	2	3	S	O&J	総		
1	ILIN Ilya	KAZ	88	84.65	165	170	173	205	211	216	170	7	216	1	386
2	LU Yong	CHN	86	84.35	165	171	175	200	205	210	175	4	210	3	385
3	EDIEV Aslambek	RUS	70	84.73	170	170	170	200	207	211	170	8	211	2	381
4	PEREPETOV Oleg	RUS	85	82.57	170	173	175	205	205	212	175	2	205	5	380
5	RYBAKOV Andrei	BLR	82	84.70	180	183	185	205	205	205	185	1	195	12	380
6	YUAN Aijun	CHN	77	84.28	165	170	173	205	212	212	173	5	205	6	378
7	YERSHOV Vyacheslav	KAZ	80	82.67	170	175	180	200	205	205	175	3	200	8	375
8	MARTIROSYAN Tigran	ARM	83	84.07	167	172	172	202	207	207	172	6	202	7	374
9	CALANCEA Valeriu	ROM	80	84.50	160	160	165	202	207	207	165	9	207	4	372
10	GORGYZYCEVSKI Karol	POL	83	84.99	160	160	165	190	195	200	165	11	200	10	365
11	RUZ Oliver	COL	74	83.88	150	155	157	190	195	200	155	14	200	8	355
12	BALLESTEROS Hector	COL	81	83.55	150	155	157	190	195	200	157	13	195	11	352
13	KUTLUK Ondrej	SVK	76	84.98	155	159	160	195	200	201	155	15	195	13	350
14	VAUGHN Chad	USA	80	84.98	145	150	155	185	193	193	150	16	185	15	335
15	MEJIAS Octavio	VEN	82	82.82	145	145	149	181	186	188	145	19	186	14	331
16	ELMOUJID Ali	FRA	82	80.50	140	145	148	177	182	182	148	17	177	16	325
17	CSER Norbert	HUN	85	83.30	140	145	148	171	176	177	148	18	171	20	319
18	QUITERIO Juan Carlos	DOM	83	82.88	136	141	146	172	177	179	141	20	177	17	318
19	KOLOSOVSKI Pavel	ISR	81	84.16	140	145	145	170	174	180	140	21	174	18	314
20	RAMAZANOV Ruslan	TKM	87	84.18	135	140	140	165	170	175	140	22	170	21	310
21	MAPOSUA Uati	SAM	76	83.74	127	134	137	158	165	165	137	23	165	23	302
22	REDEPOV Mansur	TKM	82	79.96	135	135	135	160	165	170	135	24	165	22	300
23	UKPONSO Innocent	USA	76	84.83	140	140	140	175	185	185	140	25	185	20	—
24	ANUSKEVICIUS Donatas	LTU	80	84.55	160	165	165	195	195	195	165	10	—	—	—
25	MELIKYAN Arsen	ARM	76	84.97	162	165	165	193	193	193	162	12	—	—	—
26	ALJILA Ahmed	PLE	80	83.69	110	110	117	140	145	147	110	25	—	—	—
27	GHIA MEL SHOONG Sherwin	SIN	86	82.75	107	112	115	135	135	140	115	26	—	—	—
28	SULI Ilirjan	ALB	75	84.98	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

94K級

順位	氏名	国名	生年	生体	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト				
					1	2	3	1	2	3	S	O&J	総		
1	PASHAYEV Nizami	AZE	81	92.95	177	182	185	216	216	220	185	1	227	1	419
2	SOZAEV Mukhammat	RUS	82	92.69	170	175	177	210	215	221	177	5	221	1	398
3	DOBREV Milen	BUL	80	93.82	176	176	180	210	215	218	180	4	218	3	388
4	AKHMETOV Bakhyt	KAZ	79	92.90	177	182	182	210	210	215	182	3	215	5	397
5	EBRAHIMI Asghar	IRI	82	93.83	175	175	177	205	210	214	177	6	210	9	387
6	COBA Hernandez	CUB	80	93.93	165	170	170	210	215	220	165	13	220	2	385
7	KONSTANTINOV Roman	RUS	83	93.28	170	170	180	210	210	217	170	9	210	6	380
8	PATOTSKI Mikalai	BLR	83	92.96	178	181	184	195	201	201	184	2	184	2	195
9	NAVARRO Jose J.	ESP	81	92.26	162	166	170	203	208	210	170	8	208	10	378
10	KASABIEV Arsen	GEO	79	93.41	163	168	172	210	210	217	168	10	210	7	378
11	MARTINEZ Santiago	ESP	79	93.58	171	175	176	200	205	209	171	7	205	11	376
12	KOURTIDIS Nikolaos	GRE	86	93.53	157	162	162	192	192	200	157	18	192	8	367
13	PILYEV Kostyantyn	UKR	83	93.24	162	166	169	200	204	205	166	11	200	16	366
14	FARGHL Ahmed	EGY	78	93.98	155	160	163	201	201	205	155	11	201	16	366
15	UTSAR Andrus	EST	76	93.05	165	169	169	198	202	202	165	12	198	20	363
16	ELNAGAR Mohamed	EGY	84	93.12	155	155	155	195	200	204	155	15	195	19	359
17	SPIESS Jurgen	GER	84	93.75	159	163	164	193	200	200	159	16	193	20	359
18	DEGHANIVAN Ali	IRI	85	93.94	155	158	158	200	204	209	155	21	204	14	359
19	MURPHY Robert	USA	78	93.92	153	158	158	193	200	205	158	17	200	19	358
20	SAMADOV Albay	AZE	82	93.90	155	155	160	185	195	200	155	18	185	20	358
21	CAVIT Grant	NZL	76	93.40	145	140	140	175	182	185	140	23	182	24	332
22	平岡 勇輝	JPN	83	93.29	140	140	140	175	183	186	140	26	186	22	326
23	REBOUEM Simplicie	CMR	82	90.37	135	140	145	175	180	190	145	25	180	25	325
24	SANTAYV Dales John	CAN	72	91.61	130	136	139	151	151	151	136	27	151	27	266
25	GORGANOV Nurgeldy	TKM	84	88.59	135	135	138	151	151	157	135	28	151	27	266
26	BIDDIT Roy	BAH	72	93.31	110	115	120	150	150	155	115	29	155	26	270
27	BRATAN Evgheni	MDA	81	93.62	175	175	175	205	210	215	175	30	210	2	—
28	VACARCIUC Vadim	MDA	82	93.25	163	168	168	207	207	207	163	31	—	—	—
29	KISS Attila	HUN	84	92.06	148	153	155	182	182	182	148	32	—	—	—
30	VASPORI Gabor	HUN	83	93.58	142	142	146	175	175	178	142	33	—	—	—

105K級

順位	氏名	国名	生年	生体	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト				
					1	2	3	1	2	3	S	O&J	総		
1	KLOKOV Dmitry	RUS	83	104.67	186	190	192	222	227	227	192	1	227	1	419
2	BRATAN Alexandru	MDA	77	104.06	185	190	190	220	223	229	190	2	223	4	413
3	TESOVIC Martin	SVK	74	104.33	183	183	187	220	221	225	187	3	225	3	412
4	LAPKOV Dmitry	RUS	82	104.08	185	185	190	217	217	223	185	4	223	5	408
5	NANIEV Alan	AZE	78	104.66	187	187	189	221							

国 別 得 点 表

順位	国名	58Kg	62Kg	69Kg	77Kg	85Kg	94Kg	105Kg	+105Kg	合計得点
1	CHN	137 / 2		84 / 1	84 / 1	131 / 2		133 / 2		595 / 8
2	RUS					134 / 2	130 / 2	148 / 2		545 / 8
3	BUL		64 / 1	120 / 2	762 / 1		68 / 1			314 / 5
4	ROM		112 / 2	53 / 1	71 / 1	56 / 1				291 / 5
5	COL	106 / 2		46 / 1	28 / 1	86 / 2				266 / 6
6	ARM			120 / 2	0 / 1	71 / 2		59 / 1		250 / 6
7	POL			49 / 1	21 / 1	47 / 1	23 / 1	58 / 1		234 / 5
8	USA				71 / 2	41 / 2		45 / 1		224 / 7
9	QAT		31 / 1		68 / 1			20 / 1		218 / 5
10	IRI	51 / 1					83 / 2			215 / 4
11	TKM	8 / 1	111 / 2	35 / 1	31 / 1	25 / 2	1 / 1			211 / 8
12	ESP		0 / 1	56 / 1	52 / 1		100 / 2			208 / 5
13	TPE	142 / 2	63 / 1							205 / 3
14	AZE				42 / 1			98 / 2	62 / 1	202 / 4
15	KAZ					135 / 2				201 / 3
16	MDA	45 / 1			58 / 2		26 / 2	72 / 1		201 / 6
17	GER				62 / 1		28 / 1	52 / 1	45 / 1	187 / 4
18	EGY						64 / 2	56 / 1	61 / 1	181 / 4
19	VEN	39 / 1			40 / 1	30 / 1		38 / 1		180 / 5
20	SVK				67 / 2	37 / 1		69 / 1		173 / 4
21	GRE				29 / 1		40 / 1	39 / 1	48 / 1	156 / 4
22	BLR					63 / 1	48 / 1		41 / 1	152 / 3
23	FRA	49 / 1		69 / 1		29 / 1				147 / 3
24	KOR	69 / 1		75 / 1						144 / 2
25	CAN		46 / 1				5 / 1	40 / 1		91 / 3
26	UKR						38 / 1		51 / 1	89 / 2
27	CUB		23 / 1				58 / 1			81 / 2
28	DOM				51 / 1	23 / 1				74 / 2
29	VIE	69 / 1								69 / 1
30	IRQ				20 / 1			49 / 1		69 / 2
31	IND	68 / 2								68 / 2
32	NRU				66 / 1					66 / 1
33	LAT							66 / 1		66 / 1
34	ISR			40 / 1		19 / 1				59 / 2
35	FSM		56 / 1							56 / 1
36	HUN	27 / 1				23 / 1	6 / 2			56 / 4
37	BEL		53 / 1				51 / 1			53 / 1
38	GEO						10 / 1			51 / 1
39	NZL			36 / 1	3 / 1					49 / 3
40	MAS	46 / 1								46 / 1
41	LTU					16 / 1		25 / 1		41 / 2
42	JPN						8 / 1	33 / 1		41 / 2
43	MAD		40 / 1							40 / 1
44	KGZ			39 / 1				38 / 1		39 / 1
45	CZE									38 / 1
46	TJK		37 / 1				5 / 1			37 / 1
47	CMR	31 / 1								36 / 2
48	UGA			35 / 1						35 / 1
49	EST						31 / 1			31 / 1
50	MAR			29 / 1						29 / 1
51	IRL			28 / 1						28 / 1
52	RSA				22 / 1					22 / 1
53	ALB					0 / 1		15 / 1		15 / 2
54	BAN		12 / 1				0 / 1			12 / 2
55	KEN				12 / 1					12 / 1
56	SAM					11 / 1				11 / 1
57	PLE					1 / 1				1 / 1
58	SIN					0 / 1				0 / 1
合計	58	18	18	17	25	28	30	17	16	169

第17回世界女子選手権大会

●平成17年11月10日[48Kg級]・11日[58Kg級]・12日[69Kg級]・13日[99Kg級]・17日[75Kg級]

●QAT トーナ

48Kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			トータル			
					1	2	3	1	2	3	1	2	3	
1	WANG Mingjuan	CHN	85	47.82	89	93	95	112	116	118	95	118	1	213
2	SAELAW Pensiri	THA	84	47.55	82	85	88	110	115	116	88	110	2	198
3	WIRATTHAWORN Aree	THA	80	47.74	82	85	88	105	110	110	85	108	4	193
4	三宅 奈実	JPN	85	47.81	78	81	83	105	110	110	81	108	3	191
5	ULYANOVA Svetlana	RUS	79	47.89	78	81	83	100	105	105	83	105	5	188
6	JUAN Estefania	ESP	81	47.61	80	82	84	97	100	102	82	102	6	184
7	NAMTRAKPAM Kungirani Devi	IND	88	47.30	75	78	79	95	98	100	78	100	7	178
8	CHEN Hai-tung	TPE	80	47.42	75	78	79	95	98	100	75	100	8	175
9	DRAGNEVA Izabela	BUL	71	47.90	75	78	79	95	98	100	75	100	9	173
10	PERIS Gema	ESP	83	47.60	77	79	80	92	95	99	77	95	10	172
11	PAGLIARO Genny Caterina	ITA	88	47.59	72	75	78	87	90	90	78	87	11	165
12	CANDELIARIO Guillermina	DOM	73	46.95	70	70	72	90	91	92	70	92	12	162
13	ARCILA Remigia	VEN	70	47.95	70	73	75	87	91	92	70	92	13	162
14	VALAENCIA Carolina	MEX	85	47.86	70	74	74	87	87	92	74	87	14	161
15	OSORIO Roxana	COL	82	47.49	69	69	69	80	85	87	69	85	15	154
16	VRES Portia	RSA	84	47.93	62	62	62	69	82	85	62	85	16	144
17	KOVAQS Timea	HUN	73	47.14	55	58	61	75	80	80	55	80	17	136
18	SHA BIRA Melia	BAN	90	47.93	55	57	60	65	67	68	57	68	18	124

53Kg級

1	LI Ping	CHN	88	52.84	94	98	98	123	128	131	98	126	1	224
2	KUNTATEAN Junpin	THA	84	52.32	95	98	98	120	125	130	98	125	2	223
3	CONTRERAS Yudergue	DOM	86	52.84	89	91	95	110	113	116	95	116	4	211
4	CHALEEPHAY Suda	THA	87	52.28	90	90	90	110	114	114	116	103	3	206
5	FANG Hsin-tzu	TPE	83	52.50	83	88	88	109	114	114	88	109	5	195
6	MUNTEANU Maroara	ROM	78	52.80	81	85	89	100	105	108	89	105	8	194
7	TURCOTTE Marjose	CAN	75	53.00	80	83	83	108	111	111	80	108	6	188
8	LEMONS Margot Ana	COL	68	52.60	77	80	83	102	107	107	80	107	7	187
9	KASAJ Fete	ALB	85	52.60	78	81	81	104	104	104	78	104	9	182
10	ROWINSKA Malwina	POL	86	52.49	75	79	79	100	100	103	75	103	10	178
11	RAKI Henrietta	HUN	78	52.22	65	70	72	80	85	90	70	85	12	165
12	HOWARD Kato	WAL	79	52.44	57	59	59	74	78	78	57	78	13	133
13	PARVIN Firgoza	BAN	88	52.16	55	55	57	65	65	65	57	65	14	122
	FATNASSTI Soumaya	TUN	80	52.58	80	80	80	100	104	105	80	105	15	122
	TOUA Dika	PNG	84	52.33	77	79	83	105	105	105	79	105	16	122

58Kg級

1	GU Wei	CHN	88	57.40	100	101	102	130	136	139	102	139	1	241
2	KAMEAIM Wandee	THA	78	57.38	96	100	101	125	132	135	101	135	2	236
3	SHAINOVA Marina	RUS	86	57.91	97	97	101	125	132	135	101	132	3	233
4	YOON Jir-hee	KOR	86	55.35	89	95	97	113	117	120	95	120	4	215
5	GOTFRYD Marieta	POL	80	57.45	92	96	99	113	116	116	96	116	6	212
6	MANSOUR Esamat	EGY	86	57.32	88	90	90	110	114	114	90	114	7	204
7	BERUBE Jacquelyn	USA	71	57.57	86	89	89	105	108	108	89	108	8	198
8	DINAR Souad	FRA	77	57.74	84	86	88	112	115	115	86	112	9	198
9	PEREZ Mercedes	COL	87	57.55	82	86	88	105	105	109	88	109	10	197
10	VILLAR Rusmeris	COL	83	56.97	80	83	85	102	105	108	85	108	11	193
11	COCOS Roxana	ROM	89	57.79	73	79	82	105	107	107	79	107	12	187
12	KASIRYE Ruth	NOR	82	57.99	78	82	85	98	103	103	82	103	13	185
13	KASTRITSI Charikleia	GRE	83	57.66	80	83	83	100	103	105	80	103	14	183
14	SULTANA Shahria	BAN	89	57.82	55	57	57	70	70	73	57	73	15	130
	KLEJUNOWSKA Aleksandra	POL	82	57.30	91	91	92	120	126	126	91	126	16	120

63Kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	O&J	総トータル		
					1	2	3	1	2	3					
1	THONGSIUK Pawina	THA	79	62.54	105	110	116	135	140	145	116	140	1	256	WR
2	SHIMKOVA Svetlana	RUS	83	62.75	105	105	108	132	137	139	108	121	139	2	247
3	LIU Xia	CHN	81	62.30	97	102	105	128	133	138	105	133	3	238	
4	DATSAENG Saipin	THA	77	61.84	95	100	102	115	120	120	102	115	6	217	
5	MISTERSKA Dominika	POL	83	62.53	95	95	95	120	123	123	95	120	4	215	
6	SOLIS Yessenia Leidy	COL	90	62.39	90	92	92	110	115	117	92	117	5	209	
7	ATANASOVA Zlatina	BUL	80	62.51	85	90	90	110	115	120	90	110	7	205	
8	WOOLFOLK Natalie	USA	83	61.91	96	96	96	104	108	113	96	108	13	204	
9	ORSAGOVA Lenka	CZE	83	62.35	88	92	92	110	112	118	92	110	12	202	
10	FRANCISCO Solisris	PUR	77	62.59	85	85	90	105	110	112	90	111	11	202	
11	PICON Monica M.	COL	84	58.53	85	88	90	106	110	120	88	112	11	201	
12	TOKA Olympia	GRE	81	61.95	87	87	91	105	110	110	91	110	11	201	
13	MANEVA Milka	BUL	85	62.18	83	83	90	108	111	119	83	115	11	194	
14	GORDON Carissa	USA	83	61.75	83	86	89	107	115	115	86	113	10	193	
15	渡邊次雅子	JPN	83	62.03	78	82	82	102	106	108	82	116	10	188	
16	NAGY Szilvia	HUN	82	60.96	70	74	77	88	93	95	77	95	16	172	
17	DAAMON Rhariba	MAR	82	62.39	50	55	60	60	66	71	55	71	17	126	
	LASSOUANI Leila	ALG	77	62.56	86	86	89	117	117	117	88	114	—	—	

+75Kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	O&J	総トータル	
					1	2	3	1	2	3				
1	JANG Mi-ran	KOR	83	115.12	125	125	130	162	172	178	128	172	1	300
2	MU Shuangshuang	CHN	84	131.77	125	125	130	165	170	174	130	170	1	300
3	HAWORTH Cheryl	USA	83	142.63	119	123	126	155	159	161	126	161	3	287
4	KOROBKA OIha	UKR	85	162.51	121	125	127	155	158	160	127	160	4	287
5	WROBEL Agata	POL	81	118.05	115	120	123	155	155	155	120	155	5	275
6	GRAGOVETS'KAYA Mariya	KAZ	87	95.95	110	110	115	135	140	146	115	146	6	261
7	DOVHAL Yuliya	UKR	83	91.28	115	115	120	135	140	140	120	135	9	255
8	KATSIDI Theano	GRE	83	101.10	100	104	108	136	139	139	108	136	7	244
9	UFNAL Magdalena	POL	84	132.36	102	106	109	130	135	138	109	130	10	244
10	HASNAOUI Inen	TUN	83	101.32	110	114	114	132	138	138	110	132	11	242
11	ABORNEVA Alexandra	UKR	86	84.52	100	105	106	130	135	140	100	135	8	235
12	城内 史子	JPN	85	107.05	87	91	91	120	125	130	87	125	12	212
13	KETCHANKA Judith	CMR	83	87.53	80	85	90	95	97	97	85	95	14	205
14	BIALKOWSKA Kamila	NED	85	88.40	90	95	97	110	110	114	90	114	13	205
15	HAJOTI Shoe	NIU	85	101.18	84	84	88	116	121	126	84	121	13	205
16	橋本 麻美	JPN	87	99.71	80	80	85	100	105	110	85	110	16	195
	KASAPTI Vasiliki	GRE	83	116.10	110	115	117	135	135	135	117	135	—	—

国別得点表

順位	国名	48Kg	53Kg	58Kg	63Kg	69Kg	75Kg	75Kg	合計得点
1	CHN	84 / 1	81 / 1	784 / 1	69 / 1	78 / 1	81 / 1	78 / 1	555 / 7
2	THA	143 / 2	145 / 2	75 / 1	148 / 2	150 / 2	147 / 2		505 / 7
3	RUS	64 / 1	56 / 1	69 / 1	75 / 1	150 / 2			505 / 7
4	COL	33 / 1	56 / 1	99 / 2	106 / 2	62 / 1			356 / 7
5	POL		47 / 1	84 / 2	83 / 1		111 / 2		305 / 6
6	USA	65 / 1		54 / 1	82 / 2	44 / 1	45 / 1	68 / 1	300 / 6
7	JPN	65 / 1		32 / 1	39 / 1	43 / 1	85 / 2	70 / 2	295 / 7
8	KOR	49 / 1		65 / 1	92 / 1	55 / 1	58 / 1	81 / 1	201 / 4
9	BUL					54 / 1	48 / 1	124 / 2	178 / 3
10	UKR								158 / 3
11	ESP	110 / 2		40 / 1	46 / 1			71 / 2	157 / 3
12	GRE	57 / 1				48 / 1	51 / 1		156 / 3
13	IND	38 / 1				22 / 1	58 / 1		144 / 3
14	MEX	52 / 1		62 / 1					136 / 3
15	TPE					62 / 1	65 / 1		127 / 2
16	ARG						64 / 1		123 / 2
17	EGY					59 / 1			116 / 2
18	CAN			57 / 1					110 / 2
19	DOM	42 / 1		68 / 1					105 / 2
20	KAZ							105 / 2	101 / 2
21	ROM			59 / 1	42 / 1				99 / 3
22	HUN	27 / 1	43 / 1		29 / 1				97 / 3
23	BAN	24 / 1	38 / 1		35 / 1				82 / 2
24	CMR						46 / 1		48 / 1
25	TUN		15 / 1						53 / 1
26	FRA			53 / 1					50 / 1
27	CZE				50 / 1				50 / 1
28	ALB								48 / 1
29	PUR				48 / 1				46 / 1
30	ITA	46 / 1							41 / 1
31	NOR			41 / 1					39 / 1
32	AUS						39 / 1		39 / 1
33	VEN		39 / 1						38 / 1
34	WAL								37 / 1
35	UGA						38 / 1		36 / 1
36	NRU								33 / 1
37	NED								30 / 1
38	NIU								26 / 1
39	RSA	30 / 1							17 / 1
40	MAR				26 / 1				12 / 1
41	PNG								14
42	ALG								15
42	合計	42	18	15	18	14	15	17	112

69Kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	S	O&J	総トータル				
1	KASAEVA Zarema	RUS	87	68.94	118	118	118	145	153	118	157	1	275
2	LIU Haixia	CHN	80	66.55	110	118	110	145	150	154	120	1	274
3	KISELEVA Olga	RUS	84	66.10	110	115	115	135	140	150	110	3	250
4	FONTAN Valeria	ARG	80	66.60	100	100	100	125	130	133	100	8	233
5	FALOVES Ubaldina	COL	82	66.23	95	100	103	122	125	128	103	6	231
6	LALSON Elizabeth Jean	CAN	80	66.60	97	100	102	126	126	132	100	7	226
7	KIM Mi-kyung	KOR	81	66.99	95	100	103	123	128	129	100	9	223
8	DAVYDOVA Natalya	UKR	85	66.21	100	103	105	115	121	123	103	5	218
9	AGOSTA Luz	MEX	80	67.82	93	96	96	115	117	119	93	10	212
10	DEVI Leishram Monika	IND	83	66.61	90	95	95	115	120	123	90	12	210
11	OKONEK Erin	USA	78	66.75	88	91	91	109	114	119	88	13	207
12	蔡漢 聖香	JPN	83	66.31	85	85	90	113	118	118	90	11	203
13	AJAMBO Irene	UGA	87	66.45	65	70	70	85	90	93	65	14	155
	HUANG Shih-chun	TPE	75	66.84	105	111	111	127	130	130	105	4	—

75Kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	S	O&J	総トータル				
1	LIU Chunhong	CHN	85	71.85	118	123	127	150	155	159	126	2	285
2	ZABOLOTNAYA Natalia	RUS	85	74.83	123	127	130	148	153	155	130	1	285
3	PODOBEDOVA Svetlana	RUS	86	74.56	118	121	124	149	155	162	124	3	279
4	KOPPEL Nora	ARG	72	74.46	110	111	115	140	145	153	115	4	260
5	RAMADAN Nahla	EGY	85	74.05	110	114	114	136	141	145	114	5	259
6	PETROVA Rumyana	BUL	82	74.28	105	107	107	120	124	124	107	6	231
7	AGUIRRE Damaris	MEX	77	74.23	98	102	104	118	120	126	104	9	230
8	今井 一真	JPN	82	74.79	100	105	105	120	125	127	105	8	225
9	PUJARI Sailaja	IND	82	73.92	90	95	97	125	125	125	97		

# 文部科学大臣杯 第51回全日本大学対抗選手権大会

●一部校 平成17年11月19日[56Kg級~77Kg級]・20日[85Kg級~+105Kg級] ●男子スポーツセンター(横浜市)  
 ●二部校 平成17年11月11日[56Kg級]・12日[62Kg級~85Kg級]・13日[94Kg級~+105Kg級] ●羽島野口ロゼア人(羽島野市)

## 【一部校】

### 56Kg級

順位	氏名	大学名	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト				
					1	2	3	1	2	3	S	O&J	順位	トータル	
1	真山 正和	法政大学	83	4	55.22	100	103	124	120	122	124	103	122	3	225
2	須田 俊幸	日本体育大学	84	3	55.34	98	98	100	120	124	126	100	124	1	224
3	中村 友典	九州国際大学	87	1	55.80	101	104	120	120	121	101	121	2	222	
4	岡田 英典	大阪商業大学	84	3	55.30	93	98	100	120	124	100	120	5	220	
5	大城 隆三	日本大学	83	4	55.90	96	96	99	121	123	130	96	7	219	
6	清水 洋平	中央大学	85	2	55.34	93	95	95	118	120	120	93	9	213	
7	松本 二郎	明治大学	83	4	55.58	93	95	96	115	119	119	96	6	211	
8	越智 二郎	大阪商業大学	84	4	53.72	93	96	96	113	118	118	96	5	209	
9	奥野 達矢	日本体育大学	84	3	54.90	90	93	95	105	110	114	93	8	207	
10	蓮天 力也	平成国際大学	86	1	55.80	88	92	94	110	114	120	92	10	206	
11	国矢田 智	早稲田大学	85	2	54.30	88	88	91	113	113	115	91	11	204	

### 62Kg級

1	上地 克彦	日本大学	86	2	61.90	110	113	118	145	159	159	118	1	253
2	五百蔵正和	大阪商業大学	85	2	61.20	110	115	115	135	140	141	110	4	251
3	岩内 稔	明治大学	83	4	61.46	112	112	136	139	139	112	2	251	
4	石崎 満	九州国際大学	84	4	61.66	105	105	111	132	136	111	3	249	
5	高木 悠介	早稲田大学	87	1	61.18	96	100	104	123	126	128	104	6	230
6	古澤 遥	大阪商業大学	84	3	60.44	100	100	105	125	130	130	100	7	225
7	外川 研瀬	日本体育大学	84	3	60.84	100	103	105	114	118	120	105	5	225
8	佐藤 健矢	拓殖大学	84	3	60.96	95	100	100	120	125	125	100	8	220
9	関根 直	平成国際大学	87	1	60.96	90	95	95	120	120	125	90	10	217
10	中村 真士	拓殖大学	86	1	61.58	95	100	100	115	120	120	95	9	210

### 69Kg級

1	平良 健太	法政大学	84	4	68.20	118	120	120	151	155	155	120	2	271
2	坂 祐哉	日本大学	85	3	68.56	115	117	117	145	147	150	117	3	267
3	堤 阿銀	拓殖大学	84	3	68.18	118	121	123	142	145	147	121	1	266
4	山崎 竜司	明治大学	84	3	68.62	110	113	115	140	145	147	115	4	262
5	武藤 恭章	早稲田大学	84	3	68.36	115	119	119	137	143	146	115	5	261
6	毛岡 敬晶	中央大学	83	4	67.08	110	114	115	142	145	145	110	7	255
7	竹澤 正則	平成国際大学	85	3	68.86	107	112	116	137	142	146	112	6	254
8	奥山 勝平	早稲田大学	84	3	68.06	110	115	115	135	140	143	110	8	253
9	立花 敏章	日本体育大学	84	3	68.50	118	118	118	130	136	138	118	9	251
10	久保山 豊	九州国際大学	86	1	68.54	110	110	118	138	138	138	110	10	250

### 77Kg級

1	仲程 史史	日本大学	84	3	76.32	118	121	126	155	157	165	126	2	291
2	吉岡 祐同	九州国際大学	84	3	76.52	125	130	135	147	147	151	130	1	281
3	若野 和利	早稲田大学	86	1	76.24	113	117	120	153	156	157	117	7	273
4	白石 幸起	法政大学	83	4	75.84	118	118	120	150	152	153	120	5	272
5	藤田 祐純	明治大学	85	2	76.14	120	125	125	146	151	151	125	3	271
6	櫻根 純人	平成国際大学	85	3	76.22	120	125	125	145	145	150	125	4	270
7	藤澤 康治	日本体育大学	84	3	76.36	115	115	120	140	146	150	120	6	270
8	加藤 彰	平成国際大学	85	3	76.32	110	115	115	145	150	152	110	11	262
9	田原 良平	早稲田大学	84	3	74.54	108	112	112	140	145	145	112	9	257
10	岡田 光	大阪商業大学	83	4	75.60	110	115	118	135	140	140	115	8	250
11	菅野 浩司	拓殖大学	85	2	76.06	105	110	116	132	140	143	110	10	250

## 85Kg級

順位	氏名	大学名	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト			
					1	2	3	1	2	3	S	O&J	順位	トータル
1	高橋 竜太	九州国際大学	85	3	84.56	135	145	148	161	166	171	145	1	311
2	高橋 基	中央大学	84	3	84.78	123	126	128	160	166	170	128	2	294
3	津根 真裕	明治大学	85	3	84.96	124	124	127	150	154	156	127	3	283
4	石原 寛樹	法政大学	84	3	83.08	120	125	127	156	160	160	125	4	281
5	高橋 一馬	九州国際大学	86	1	84.46	125	127	127	145	150	150	125	5	270
6	米山 圭一	早稲田大学	87	1	84.52	110	113	116	147	151	155	113	10	268
7	藤田 浩大	日本体育大学	83	4	84.56	113	116	116	152	152	152	116	9	268
8	渡辺 清志	平成国際大学	84	3	84.84	112	115	117	146	148	151	117	8	268
9	中柴 卓也	中央大学	85	2	81.04	118	118	120	148	148	152	118	7	266
10	山口 元氣	早稲田大学	83	4	83.22	123	123	126	153	153	153	123	6	266

## 94Kg級

1	小笠原伸吾	法政大学	84	3	91.48	140	145	151	172	180	186	145	1	325
2	津 信彦	明治大学	84	3	91.92	136	139	163	163	166	169	142	2	308
3	本多 浩	法政大学	85	2	90.40	133	136	139	165	169	169	136	3	301
4	田口 智哉	平成国際大学	86	2	93.46	125	130	132	163	168	168	132	5	300
5	神田 直樹	九州国際大学	83	4	92.80	131	137	137	160	166	171	131	6	297
6	阿部 礼	中央大学	83	4	93.34	123	131	132	151	161	163	132	4	283
7	黒田 真司	大阪商業大学	83	4	89.60	115	120	120	140	145	150	115	7	280

## 105Kg級

1	水田 理	法政大学	84	3	94.14	140	140	140	182	193	193	140	2	322
2	高橋 俊郎	日本大学	84	4	104.22	141	143	143	175	180	183	141	1	321
3	斎田 勇人	日本大学	84	4	99.48	131	135	138	167	174	175	138	3	312
4	兼島 兼太	明治大学	83	4	104.52	130	130	136	173	173	176	130	5	303
5	佐藤 章人	中央大学	85	3	95.50	134	137	141	160	167	169	137	4	297
6	三木 章人	日本体育大学	83	4	103.24	122	126	126	160	165	168	122	8	287
7	菅原 史和	中央大学	83	4	96.16	120	125	127	153	157	157	125	7	278
8	伊藤 敏太	大阪商業大学	84	3	103.36	120	125	128	150	150	160	128	6	278

## +105Kg級

1	藤原 崇博	日本大学	85	3	135.80	145	152	152	185	185	186	152	2	338
2	大田 和臣	九州国際大学	86	1	133.60	151	153	155	180	180	185	153	1	333
3	野原 兼太	法政大学	84	3	131.10	138	143	143	186	190	190	143	3	329
4	寺島 啓史	日本大学	86	2	122.45	136	140	143	166	180	180	140	4	320
5	吉桑 啓二	明治大学	86	1	117.80	135	135	140	161	161	167	135	5	296
6	高老澤 完	中央大学	85	2	106.82	120	125	130	153	153	160	125	8	285
7	中島 俊輔	日本体育大学	83	4	117.04	115	118	120	160	165	166	120	9	285
8	奥村 大	大阪商業大学	83	4	108.56	128	128	133	150	155	160	128	7	283
9	上谷 啓晃	平成国際大学	85	2	120.35	125	130	136	140	145	151	130	6	270

## 【二部校】

### 56Kg級

1	小林 拓郎	秋田経済法科大学	83	4	55.78	90	93	95	110	115	120	93	1	213
2	中橋 良輔	名古屋産業大学	84	4	55.04	85	90	92	110	115	116	92	2	208
3	栗野 和彦	京都産業大学	84	3	55.94	85	88	90	105	111	114</			

62Kg級

順位	氏名	大学名	学年			学年	休重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト			トータル	
			1	2	3			1	2	3	1	2	3	S	1	2		3
1	鈴木 真一	名古屋大学	85	2	61.56	95	100	120	123	126	128	130	132	135	138	140	142	226
2	西嶋 勝典	立命館大学	85	2	61.60	90	97	125	128	132	136	139	142	145	148	151	154	223
3	大河内 佑介	立命館大学	85	2	61.64	93	96	120	126	129	133	136	139	142	145	148	151	222
4	鈴木 達明	名古屋大学	84	3	61.88	90	93	110	115	118	121	124	127	130	133	136	139	214
5	山見 晃典	立命館大学	85	2	61.00	90	93	105	110	115	119	123	127	131	135	139	143	206
6	佐藤 正義	秋田経済法科大学	83	4	61.74	90	93	111	117	121	125	129	133	137	141	145	149	201
7	市川 浩二	城西大学	83	4	61.90	80	85	105	110	115	120	125	130	135	140	145	150	190
8	高橋 裕真	城西大学	83	4	61.52	80	80	105	108	111	114	117	120	123	126	129	132	185
9	小高 成和	城西大学	84	2	61.30	75	78	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	178
10	青柳 啓示	防衛大学校	83	4	60.38	70	75	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	175
11	福井 昌太	慶応義塾大学	85	3	61.64	70	74	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	164
12	吉村 昌裕	林山学院大学	85	2	60.62	70	70	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	155
13	萩原 貴裕	関西学院大学	84	3	61.44	62	65	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	150
	松本 和哉	京都産業大学	86	1	60.80	90	93	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	—
	石塚 康臣	慶応義塾大学	83	4	61.40	70	70	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	—

69Kg級

順位	氏名	大学名	学年			学年	休重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト			トータル	
			1	2	3			1	2	3	1	2	3	S	1	2		3
1	野村 真弘	福岡大学	83	4	68.44	121	126	137	141	144	147	150	153	156	159	162	165	263
2	勝谷 朋成	立命館大学	83	4	66.98	110	115	120	123	126	129	132	135	138	141	144	147	257
3	滝沢 祥太	中京大学	84	3	68.94	105	108	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	255
4	福住 昌也	関西大学	86	2	68.48	102	106	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	232
5	澤田 太郎	京都産業大学	85	3	67.48	90	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	215
6	玉城 直人	金沢学院大学	87	1	68.42	88	92	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	211
7	佐藤 正徳	秋田経済法科大学	84	3	66.70	85	91	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	204
8	大田 正樹	近畿大学	83	4	68.44	90	92	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	200
9	田中 啓太	城西大学	85	2	68.18	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	190
10	清水 一薫	関西大学	86	2	62.52	82	85	88	90	92	95	98	100	102	105	108	111	188
11	大竹 儀哉	京都大学	83	2	67.44	82	87	90	102	107	112	117	122	127	132	137	142	185
12	甲斐 亮太	城西大学	84	3	66.02	80	80	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	185
13	倍野 亮太	名城大学	86	1	68.04	80	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	185
14	森岡 亮太	防衛大学校	84	2	65.82	75	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	165
15	森岡 亮太	防衛大学校	78	4	65.72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	163
16	見玉 孟	防衛大学校	86	2	67.60	65	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	160
17	田村 圭雄	慶応義塾大学	86	2	68.90	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	130

77Kg級

順位	氏名	大学名	学年			学年	休重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト			トータル	
			1	2	3			1	2	3	1	2	3	S	1	2		3
1	川畑 力大	金沢学院大学	86	1	71.76	110	112	112	140	150	150	152	152	152	152	152	152	252
2	高井 祥亨	立命館大学	84	4	74.18	105	110	110	135	140	140	140	140	140	140	140	140	250
3	佐藤 弘康	秋田経済法科大学	84	3	76.22	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	247
4	藤島 崇貴	立命館大学	84	3	76.30	105	110	110	135	135	135	135	135	135	135	135	135	240
5	森本 雅人	福岡大学	85	2	71.70	100	105	110	128	133	133	133	133	133	133	133	133	238
6	大山 剛史	立命館大学	86	1	76.92	95	98	101	115	120	125	130	135	140	145	150	155	218
7	池本 雅人	立命館大学	84	3	73.98	90	95	95	110	115	120	125	130	135	140	145	150	205
8	松川 彰英	近畿大学	85	2	76.92	90	90	95	110	110	110	110	110	110	110	110	110	200
9	岩本 清	名城大学	85	3	75.90	75	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	170
10	中平 廣弘	慶応義塾大学	86	2	74.10	70	75	80	85	90	95	95	95	95	95	95	95	165
11	川田 隆也	防衛大学校	85	2	69.76	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	155
12	櫻井 雅弘	慶応義塾大学	87	1	74.30	65	70	75	80	80	80	80	80	80	80	80	80	148
13	玉田 真崇	防衛大学校	84	4	69.88	60	65	70	80	80	80	80	80	80	80	80	80	148
	小林 家光	京都大学	81	4	72.00	100	100	100	116	121	121	121	121	121	121	121	121	—
	前田 直紀	城西大学	83	4	69.70	80	85	90	100	105	105	105	105	105	105	105	105	—

85Kg級

順位	氏名	大学名	学年			学年	休重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト			トータル	
			1	2	3			1	2	3	1	2	3	S	1	2		3
1	加山 健太	立命館大学	83	4	83.64	120	120	130	155	165	171	180	185	190	195	200	205	291
2	高山 真一	秋田経済法科大学	83	4	82.00	115	115	119	147	152	154	159	164	169	174	179	184	273
3	山崎 直希	金沢学院大学	87	1	84.64	115	118	119	140	148	153	158	163	168	173	178	183	272
4	守谷 翔	関西大学	85	2	79.68	110	118	118	148	148	148	148	148	148	148	148	148	271
5	倉佐 桑裕	国士館大学	85	2	77.08	105	110	113	120	125	130	135	140	145	150	155	160	238
6	藤井 暉	国士館大学	87	1	80.22	100	102	102	130	133	135	138	141	144	147	150	153	237
7	福土 貴大	秋田経済法科大学	84	3	83.04	103	105	105	130	133	136	139	142	145	148	151	154	236
8	清水 太樹	城西大学	84	3	77.68	95	100	104	125	131	135	139	143	147	151	155	159	233
9	塚本 太樹	京都産業大学	83	4	82.22	95	100	104	125	130	135	139	143	147	151	155	159	233
10	山本 誠治	山梨大学	85	2	78.60	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	225
11	佐川 智紀	国士館大学	86	1	76.16	90	90	96	120	125	127	130	133	136	139	142	145	210
12	中村 健介	中京大学	85	2	81.08	85	87	90	110	115	121	127	133	139	145	151	157	205
13	伊藤 篤紀	近畿大学	83	4	83.32	80	85	90	110	115	120	125	130	135	140	145	150	202
14	近藤 卓磨	姫路獨逸大学	86	1	80.62	80	85	87	112	117	117	117	117	117	117	117	117	202
15	田中 雅也	関西学院大学	82	4	76.66	80	85	90	95	100	110	115	120	125	130	135	140	200
16	伊東 聖輔	城西大学	84	3	80.40	85	91	103	110	115	120	123	126	129	132	135	138	195
17	古川 雄基	慶応義塾大学	84	3	80.00	82	85	91	103	110	115	120	123	126	129	132	135	195
18	須永 寛	近畿大学	86	1	84.50	80	85	90	100	105	110							

# 大学対抗得点表

## 【一部校】

順位	大学名	56Kg	62Kg	69Kg	77Kg	85Kg	94Kg	105Kg	+105Kg	合計得点	
1	日本大学	13 / 1	24 / 1	20 / 1	23 / 1	23 / 1	40 / 2	38 / 2	158 / 8	158 / 8	
2	法政大学	22 / 1	23 / 1	20 / 1	12 / 1	16 / 1	40 / 2	23 / 1	20 / 1	119 / 8	
3	明治大学	7 / 1	19 / 1	16 / 1	15 / 1	17 / 1	20 / 1	14 / 1	11 / 1	115 / 8	
4	九州国際大学	18 / 1	16 / 1	0 / 1	19 / 1	32 / 2	12 / 1	11 / 1	18 / 2	20 / 1	117 / 8
5	中央大学	6 / 1	26 / 2	9 / 1	1 / 1	24 / 2	11 / 1	18 / 2	6 / 1	74 / 8	
6	大阪商業大学	20 / 2	7 / 1	0 / 1	8 / 1	5 / 1	6 / 1	5 / 1	4 / 1	62 / 8	
7	日本体育大学	22 / 2	7 / 1	0 / 1	8 / 1	5 / 1	8 / 1	8 / 1	6 / 1	56 / 8	
8	早稲田大学	0 / 1	10 / 1	17 / 2	16 / 2	10 / 2	10 / 2	10 / 2	10 / 2	53 / 8	
9	平成国際大学	0 / 1	4 / 1	6 / 1	14 / 2	4 / 1	16 / 1	3 / 1	3 / 1	47 / 8	
10	拓殖大学	2 / 2	17 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	19 / 4	
	合計人数	11	10	10	11	10	7	8	9	76	

## 【二部校】

順位	大学名	56Kg	62Kg	69Kg	77Kg	85Kg	94Kg	105Kg	+105Kg	合計得点
1	金沢学院大学	33 / 2	38 / 2	8 / 1	24 / 1	17 / 1	24 / 1	23 / 2	22 / 1	118 / 7
2	名古屋産業大学	11 / 1	33 / 2	21 / 1	14 / 1	8 / 2	9 / 2	20 / 2	5 / 1	100 / 8
3	福岡大学	12 / 1	9 / 1	22 / 1	13 / 1	3 / 2	24 / 2	8 / 1	92 / 8	
5	秋田経済法科大学	24 / 1	9 / 1	8 / 1	19 / 1	28 / 2	0 / 1	0 / 1	88 / 8	
6	立命館大学	18 / 1	18 / 1	29 / 2	24 / 1	16 / 1	23 / 1	83 / 8	87 / 5	
7	京都産業大学	17 / 1	3 / 2	11 / 1	20 / 1	8 / 2	13 / 1	17 / 1	24 / 1	58 / 5
8	中央大学	15 / 2	16 / 1	16 / 1	0 / 1	16 / 1	24 / 1	16 / 1	16 / 2	55 / 4
10	山梨大学	0 / 1	7 / 2	0 / 1	0 / 1	5 / 2	0 / 1	0 / 1	14 / 1	16 / 2
11	名城大学	8 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	14 / 1	14 / 4
12	城西大学	7 / 2	0 / 1	0 / 1	5 / 1	0 / 1	0 / 2	0 / 1	5 / 6	8 / 5
13	姫路獨協大学	0 / 1	0 / 1	2 / 1	2 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 1	4 / 5	13 / 8
14	横浜学院大学	3 / 2	0 / 2	0 / 1	0 / 2	0 / 1	0 / 1	0 / 1	2 / 3	4 / 5
16	慶応義塾大学	0 / 1	0 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 8	3 / 8
17	京都大学	0 / 1	0 / 2	0 / 1	0 / 2	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 6	2 / 3
	防衛大学校	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 2	0 / 1	0 / 1	0 / 2	0 / 1	0 / 8
	関西学院大学	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 2	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 2	0 / 6
	大阪経済大学	11	15	17	15	20	15	12	5	0 / 2
	合計人数	11	15	17	15	20	15	12	5	110

# 内閣総理大臣杯 第42回全日本社会人選手権大会

●平成17年11月25日[56Kg級~69Kg級]・26日[77Kg級~94Kg級]・27日[105Kg級~+105Kg級]  
 ●明石市立産業交流センター(第一会場) 兵庫県立明石城陽高等学校体育館(第二会場)

## 56Kg級

順位	氏名	都道府県	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル		
					1	2	3	1	2	3	S	G&J			
1	菊妻 康司	兵庫県	78	55.88	100	103	103	126	130	132	100	2	132	1	232
2	大田 真志	岡山県	82	55.32	90	95	95	115	121	126	95	4	126	2	221
3	野崎 俊行	兵庫県	71	54.54	95	98	98	115	120	122	98	3	122	4	220
4	野崎 悠一	東京都	81	55.36	95	95	95	115	120	125	95	5	125	3	220
5	山川 聖	東京都	77	55.52	98	101	103	113	117	120	103	1	117	5	220
6	伊藤 徹	愛知県	75	55.60	75	78	80	95	98	101	80	7	101	7	181
7	宮下 乃扶郎	東京都	80	55.44	75	78	80	95	98	101	80	6	98	8	178
8	杉本 正治	東京都	86	54.84	75	78	80	97	101	101	80	6	98	8	176
9	吉崎 雅司	富山県	79	55.12	77	80	80	94	98	101	77	8	98	9	175
10	高橋 健太	宮城県	84	55.78	72	75	79	92	95	98	75	10	98	10	173
11	藤井 康幸	岡山県	86	51.78	65	70	72	85	90	90	70	11	90	11	160
12	鈴木 正哉	岐阜県	78	51.04	65	68	72	85	87	87	68	12	85	12	153
13	新井 登秀夫	愛知県	54	54.65	60	65	66	77	80	82	65	13	82	13	147

## 62Kg級

順位	氏名	都道府県	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル		
					1	2	3	1	2	3	S	G&J			
1	植川 康浩	埼玉県	80	59.16	110	115	117	140	146	150	117	1	146	1	263
2	森田 裕平	大阪府	81	61.68	95	105	108	125	132	137	108	3	137	2	245
3	森下 良平	大分県	88	61.84	105	110	113	120	125	130	113	2	130	6	243
4	石川 秀明	鳥取県	83	61.78	100	105	107	130	135	137	107	5	135	3	242
5	小藤 修宏	広島県	74	61.40	102	106	107	133	138	138	107	4	133	4	240
6	伊藤 健	東京都	76	60.98	92	97	101	122	127	131	101	8	131	5	232
7	藤巻 仁	山梨県	81	61.68	98	102	102	130	130	133	102	7	130	7	232
8	徳永 猛士	愛媛県	81	61.18	105	110	110	120	125	130	105	6	125	8	230
9	小野 剛	愛知県	78	60.24	93	96	98	115	120	120	98	9	120	9	218
10	稲崎 紀仁	徳島県	73	61.56	96	96	96	115	115	120	96	10	115	14	211
11	原 徹	群馬県	62	60.94	80	85	90	110	115	118	90	13	118	10	208
12	川畑 真裕	北海道	70	60.98	90	90	95	115	115	120	90	14	115	12	205
13	堀内 連光	和歌山県	82	60.20	85	85	93	100	107	110	93	11	110	15	203
14	岡部 伸二	山梨県	70	61.46	80	85	88	100	110	115	88	17	115	13	203
15	小島 修樹	宮城県	79	60.72	86	90	90	110	115	120	86	18	115	11	201
16	金子 勲央	島根県	84	60.82	90	95	100	110	120	120	90	12	110	16	200
17	保井 俊一郎	神奈川県	74	61.04	82	86	88	102	107	110	88	16	110	17	198
18	杉 英司	東京都	69	61.62	85	89	92	105	110	110	89	15	105	19	194
19	山崎 英幸	滋賀県	81	60.92	80	85	85	100	105	111	85	19	105	18	190
20	岩井 士朗	大阪府	81	61.18	80	85	85	100	107	107	85	20	100	20	185
21	山浦 伸吾	山梨県	82	61.42	85	85	85	95	95	100	85	21	100	21	185
22	近藤 功二	愛知県	86	61.44	83	86	86	86	86	86	86	22	86	22	173
23	斎藤 祐希	群馬県	84	60.72	78	81	81	96	96	96	78	24	96	24	172
24	奥田 健太	徳島県	85	57.18	70	75	78	90	95	95	78	25	95	25	168
25	栗 隆之	愛知県	83	61.16	73	78	78	93	98	98	73	26	93	26	166
26	松田 正隆	岡山県	85	58.34	65	70	75	85	90	95	70	26	90	26	160

69Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 学年, 体重, スナッチ, クリーン&ジャーク, ベスト, トータル. Lists athletes for the 69kg weight class.

85Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 学年, 体重, スナッチ, クリーン&ジャーク, ベスト, トータル. Lists athletes for the 85kg weight class.

77Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 学年, 体重, スナッチ, クリーン&ジャーク, ベスト, トータル. Lists athletes for the 77kg weight class.

94Kg級

Table with columns: 順位, 氏名, 都道府県, 学年, 体重, スナッチ, クリーン&ジャーク, ベスト, トータル. Lists athletes for the 94kg weight class.

# 総合成績一覧表

## 105Kg級

順位	氏名	都道府県	生年	生体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト			トータル	
					1	2	3	1	2	3	S	1	2		3
1	山田 昇	群馬	78	###	140	145	145	180	186	182	145	145	186	1	331
2	武田 雄大	分	81	95.00	135	140	143	170	175	177	143	143	177	2	320
3	佐藤 和紀	埼玉	82	###	130	135	138	161	165	172	135	135	172	3	307
4	西川 英二	東京	72	###	125	130	130	160	168	171	130	130	168	4	298
5	福元 智之	京都	69	###	130	136	138	160	160	162	136	136	162	5	298
6	吉岡 史生	東京	78	###	132	137	140	150	156	160	137	137	160	6	297
7	高橋 健	高知	82	###	120	125	127	150	155	160	125	125	155	7	280
8	藤野 満愛	愛知	72	97.92	110	115	120	140	146	151	120	120	151	8	271
9	中田 宗保	大阪	74	###	115	120	120	145	152	157	115	115	152	9	267
10	山中 一史	群馬	77	###	111	116	116	150	153	156	116	116	150	10	266
11	藤田 広章	新潟	79	###	120	120	125	135	140	140	125	125	140	11	260
12	清野 裕司	福島	64	###	120	125	125	140	145	145	120	120	145	12	260
13	千場 大輔	群馬	82	99.98	113	118	118	145	155	155	113	113	145	13	258
14	白石 雅好	群馬	66	###	111	121	121	122	131	136	121	121	136	14	257
15	天野 洋平	山梨	77	97.46	105	110	115	130	140	140	105	105	130	15	235
16	吉岡 祥博	奈良	74	95.20	90	95	100	115	120	123	100	100	115	16	223
17	中村 克	愛知	67	###	90	95	100	110	115	120	100	100	115	17	220
	野田 巧	福井	78	97.78	90	90	90	115	120	125	—	—	120	17	—

## +105Kg級

1	森田 宗弘	埼玉	76	###	150	160	165	200	210	213	160	160	200	1	360
2	樋口 忠之	東京	74	###	140	145	150	170	180	185	145	145	180	2	325
3	青木 延明	栃木	74	###	132	137	142	180	188	190	137	137	180	3	317
4	山口 洋介	埼玉	83	###	125	130	136	165	165	176	130	130	165	4	295
5	大川 克弘	大阪	55	###	120	125	130	150	160	165	130	130	150	5	280
6	若杉 孝一	山梨	71	###	115	120	125	140	150	161	120	120	150	6	270
7	佐藤 周樹	宮城	85	###	105	105	110	138	140	145	105	105	145	7	250
8	有馬 真一	京都	65	###	105	110	110	140	143	143	105	105	140	8	245
9	久保田 強	静岡	86	###	100	105	110	120	130	139	105	105	139	9	244
10	天野 満	山梨	81	###	150	150	150	190	198	201	—	—	201	10	—
11	関谷 圭介	新潟	82	###	145	145	145	190	190	200	—	—	190	11	—

最優秀選手 85Kg級 鈴木 和美 埼玉県 自衛隊体育学校

順位	チーム名	部門	都道府県	56Kg級	62Kg級	69Kg級	77Kg級	85Kg級	94Kg級	105Kg級	+105Kg級	合計得点	部門別順位
1	自衛隊体育学校A	2	埼玉		9/1		5/1		9/1	14/2	9/1	61/8	1
2	警視庁	2	東京	9/2		6/1	9/1	5/1		8/2	7/1	44/8	2
3	かいじクラブA	1	山梨		2/2	9/1	7/2	7/1	7/1		0/1	32/8	1
4	みやこクラブ	1	京都	1/1		4/2		6/1	0/1	4/1	1/1	16/7	2
5	フェニックス	1	兵庫	6/1		7/2	0/1	2/2				15/8	3
6	菊葉商会	3	兵庫	9/1								9/1	1
7	ぶんごめじろん	1	大分				0/1			9/2		9/3	4
8	大阪府警	2	大阪		0/1			0/1	4/1	0/1	4/1	8/5	3
9	石川クラブ	1	石川		7/1	0/1			0/1	0/1		7/4	5
9	大田車体工業所	3	岡山	7/1								7/1	2
11	トヨタ自動車(株)A	3	愛知	3/1	0/1	2/2	1/2	0/1	0/1	0/1		7/8	3
12	小山クラブ	1	栃木					0/2				6/3	6
12	赤城クラブ	1	群馬		0/2		6/1			0/1		6/4	6
12	大阪信用金庫	3	大阪		6/1		0/1					6/2	4
12	(株)高橋商店	3	兵庫						6/1			6/1	4
16	自衛隊体育学校B	2	埼玉			0/2			0/1	5/1		5/4	4
16	鳥根大学	2		5/1								5/1	4
16	岡山医科大学	2	岡山			5/1						5/1	4
19	ケーブーン	3	宮城				3/1	0/1			2/1	5/3	6
20	はまなすクラブ	1	北海道		0/1	0/1	4/2		0/1			4/5	8
20	石川高校(教)	2	福島					4/1				4/1	7
20	KENKO scratch	1	広島		4/2	0/1						4/4	8
23	ヤマト運輸(株)	3	東京		3/1							3/1	7
23	かいじクラブB	1	山梨		0/2	0/1	0/1		0/2	0/1	3/1	3/8	10
23	若狭クラブ	1	福井			3/1				0/1		3/2	10
23	愛知工業大学	2	愛知					3/1				3/1	8
23	大和ガス(株)	3	奈良			0/1			3/1			3/2	7
28	六吹工務店	3	岡山				2/1					2/1	9
28	関西通信工業株	3	香川	2/1								2/1	9
28	福岡工業(株)	3	愛媛					2/1	0/1			2/2	9
31	大阪府保証協会	3	奈良						1/1			1/1	12
31	(株)肥後銀行泉南支店	3	和歌山					1/1				1/1	12
31	(株)ニッポ一	3	広島			1/1						1/1	12
31	一宮運輸(株)	3	愛媛		1/1							1/1	12

# のじぎく国体兵庫国体記念杯女子大会

●平成17年11月25日[48Kg級]・26日[58Kg級]・27日[63Kg級]・28日[69Kg級]・29日[75Kg級]  
 ●兵庫県立明石城西高等学校体育館(第二会場)

## 【一般の部】

順位	氏名	都道府県	所属	生学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	順	トータル		
					1	2	3	1	2	3					
1	菊池由美恵	宮崎	日本体育大学	84	4	47.66	58	62	65	73	77	80	65	1	145
2	川原真由美	鹿児島	鹿児島国際大学	85	4	47.54	58	62	63	70	70	70	58	2	128
3	光畑 明美	岡山	岡山県立大学(附属)	81	4	47.48	45	50	55	55	60	63	55	3	118

## 48Kg級

順位	氏名	都道府県	所属	生学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	順	トータル		
					1	2	3	1	2	3					
1	豆原 一	富山	子イカテ運動	83	3	52.36	60	64	67	75	79	83	67	1	146
2	久保田佳乃	沖縄	日本体育大学	84	3	48.96	57	60	62	68	71	74	60	2	141
3	平塚佐代子	岐阜	日本体育大学	85	2	52.60	55	58	58	68	70	72	55	4	127
4	牧野麗子	岐阜	岐阜大学	83	3	52.50	52	55	55	60	63	65	55	3	120
5	夏目真里子	岐阜	岐阜大学	81	3	52.82	45	45	48	55	58	60	48	5	108

## 53Kg級

順位	氏名	都道府県	所属	生学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	順	トータル		
					1	2	3	1	2	3					
1	山口 紗子	埼玉	平成国際大学(教)	80	3	57.58	75	78	81	103	107	111	81	1	188
2	大宮 知子	熊本	明治大学	85	2	57.38	73	75	75	95	100	101	75	2	170
3	守 美穂子	福岡	日本体育大学	86	1	57.82	72	74	74	88	92	92	74	3	162
4	平良 真純	福岡	福岡県立高校(教)	79	3	57.84	70	72	72	82	86	86	72	4	162
5	古川 真純	自立	自衛隊体育学校	78	3	55.22	67	71	73	82	86	86	71	5	157
6	長崎 菜菜	兵衛	立命館大学	84	3	57.80	63	65	68	80	83	83	65	6	148
7	佐久間美穂	福岡	金沢学院大学	86	1	57.78	64	68	68	77	80	80	64	7	144
8	岩永小百合	山梨	岩永玩具団	63	3	57.12	56	58	59	70	73	74	59	8	133

## 58Kg級

順位	氏名	都道府県	所属	生学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	順	トータル		
					1	2	3	1	2	3					
1	橋田 麻由	京都	金沢学院大学	86	1	62.12	84	87	88	106	110	113	84	1	194
2	渡辺次子	沖縄	日本体育大学	83	4	60.92	80	80	80	100	104	108	80	4	188
3	島袋由利	埼玉	自衛隊体育学校	84	2	62.34	70	75	80	90	95	101	80	5	181
4	松本 芳波	千葉	早稲田大学	86	2	59.86	75	77	77	90	100	102	80	3	180
5	上田 真由	京都	早稲田大学	87	2	58.38	72	75	80	85	90	92	80	2	172
6	今井奈津美	兵庫	金沢学院大学	86	1	59.84	67	70	72	88	92	95	72	6	167
7	大山 恵理	群馬	早稲田大学	86	1	60.50	63	65	68	78	80	83	68	7	148
8	谷村 侑子	愛知	知春高校(教)	81	3	59.90	52	57	62	71	78	78	62	8	140

## 63Kg級

順位	氏名	都道府県	所属	生学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	順	トータル		
					1	2	3	1	2	3					
1	宮城 芽子	沖縄	日本体育大学	83	4	67.98	82	82	85	105	110	115	85	1	195
2	谷川 誠子	富山	金沢学院大学	87	1	67.32	77	80	82	92	97	100	80	3	177
3	中川 誠子	兵庫	早稲田大学	84	3	63.68	73	76	79	92	95	97	76	4	171
4	平橋 綾子	兵庫	立命館大学	85	3	65.88	73	77	80	90	90	95	80	2	170
5	原 京子	和歌山	日本体育大学	86	1	65.12	68	72	75	87	91	93	75	5	168
6	長谷川由佳	玉	明治大学	87	3	68.04	65	65	70	85	88	91	65	6	153

## 69Kg級

順位	氏名	都道府県	所属	生学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	順	トータル		
					1	2	3	1	2	3					
1	真下智恵美	群馬	日本体育大学	84	4	71.08	76	81	84	100	103	105	81	1	186
2	村野 弥生	沖縄	日本体育大学	87	1	74.60	67	70	71	90	93	95	71	2	164
3	後藤 理理	兵庫	明治大学	83	4	74.48	70	70	70	91	91	91	70	3	161
4	西山 真由	奈良	奈良県立大学(教)	74	2	72.84	58	63	63	80	80	80	63	5	143
5	堂本 真由	鳥取	金沢学院大学	86	1	69.18	63	63	63	75	78	78	63	4	141
6	大塚 望美	秋田	増田高校(教)	81	3	75.00	53	58	62	73	78	82	62	6	140

## +75Kg級

順位	氏名	都道府県	所属	生学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	順	トータル		
					1	2	3	1	2	3					
1	糸数 愛	沖縄	日本体育大学	88	1	87.58	72	76	80	93	97	100	76	2	178
2	鶴野 裕子	愛知	知春高校(教)	67	3	89.56	73	73	77	83	88	90	80	1	173
3	山田 純子	福井	若狭高校(教)	75	2	79.14	70	75	80	80	85	90	80	1	165

## 【高校の部】

### 48Kg級

順位	氏名	都道府県	所属	生学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	順	トータル		
					1	2	3	1	2	3					
1	中野 有理	兵庫	須磨友が丘高校	87	3	46.46	54	58	60	69	72	75	60	1	135
2	松永麻奈代	兵衛	須磨友が丘高校	87	3	48.00	55	58	58	71	75	78	58	2	133
3	守屋 美穂	岡山	倉敷商業高校	89	2	45.74	45	45	48	65	68	70	48	3	116
4	加門沙央里	岡山	倉敷商業高校	87	3	47.54	48	50	50	63	66	68	48	4	111
5	桐井亜里沙	福岡	八幡中央高校	87	3	47.74	42	42	45	55	59	62	42	5	104
6	井上麻里菜	岡山	倉敷商業高校	89	2	44.96	42	44	46	56	59	60	44	6	103
7	指倉くるみ	宮崎	富島高校	88	2	47.40	43	45	47	53	53	56	47	5	103
8	井上 美和	兵庫	須磨友が丘高校	90	1	46.54	41	41	43	53	57	59	43	7	102

### 53Kg級

順位	氏名	都道府県	所属	生学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	順	トータル			
					1	2	3	1	2	3						
1	竹下 聖緒	京都	加悦谷高校	88	3	50.56	67	71	74	83	87	90	74	1	164	
2	狩野 聖友	三重	四日市中央工業高校	87	3	51.78	65	68	71	78	81	84	71	2	152	
3	藤山 友紀	山梨	倉敷商業高校	89	2	50.06	60	62	65	74	78	80	62	3	140	
4	稲倉 春菜	岡山	倉敷商業高校	87	3	49.76	55	57	61	65	68	70	61	4	131	
5	正清あゆ美	岡山	倉敷商業高校	88	2	52.54	53	55	58	70	73	74	56	6	130	
6	田口 愛美	兵庫	若狭高校	87	3	51.18	52	52	55	66	69	71	55	7	124	
7	岩崎 美保	兵庫	須磨友が丘高校	89	1	51.58	55	58	58	66	69	71	55	7	124	
8	中井 美保	兵庫	須磨友が丘高校	88	2	51.72	45	49	52	62	65	68	49	13	117	
9	島本 沙樹	富山	滑川高校	89	1	52.46	48	50	52	60	63	65	65	10	117	
10	岡田 梨沙	富山	須磨友が丘高校	89	1	52.46	50	52	52	63	65	67	52	11	117	
11	出口 志穂	千葉	戸国園高校	88	2	52.78	50	54	57	60	63	63	54	8	114	
12	出口 志穂	千葉	戸国園高校	88	2	52.78	45	48	50	60	60	63	63	50	12	113
13	釜田 彩乃	石川	珠洲商業高校	89	2	52.82	46	48	50	57	59	61	48	14	109	
14	石田 梨子	兵庫	須磨友が丘高校	89	1	52.58	45	45	45	57	59	61	48	14	109	
15	栗田加奈子	兵庫	須磨友が丘高校	89	1	52.58	45	45	45	57	59	61	47	15	106	

### 58Kg級

順位	氏名	都道府県	所属	生学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	順	トータル		
					1	2	3	1	2	3					
1	金城 尚乃	沖縄	豊原高校	87	3	55.80	68	71	71	85	88	90	71	1	161
2	谷口 亜純	京都	加悦谷高校	87	3	55.84	68	71	73	85	85	89	71	2	160
3	浅田 祐希	兵庫	須磨友が丘高校	88	2	57.74	65	68	68	85	85	90	68	3	153
4	田邊 望	北海道	札幌福北高校	87	3	57.08	63	63	66	80	84	84	66	4	143
5	徳尾 直子	北海道	札幌福北高校	87	3	55.54	63	65	65	75	77	77	65	5	142
6	菊田 泰子	石川	飯田高校	88	2	58.66	62								

69Kg級

順位	氏名	都道府県	出身校	生学年	生体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	G&J	トータル
						1	2	3	1	2	3			
1	高田 裕	岡山	倉敷商業高校	87	65.60	70	73	75	80	85	70	106	115	155
2	西脇 千尋	岡山	加悦谷高校	89	63.02	63	67	67	79	81	85	106	113	148
3	大杉 星子	京都	鳥羽高校	87	64.64	60	63	65	70	75	65	102	107	144
4	前原 上之	福山	山清川高校	87	66.16	60	62	64	75	77	64	101	107	141
5	柳原 しのぶ	福山	豊見城高校	88	67.00	57	60	63	72	75	60	95	105	135
6	石岡 結理	群馬	馬共聖学園高校	89	66.52	55	58	58	73	73	58	95	103	131

75Kg級

1	井上 佐織	三重	四日市中央工業高校	89	73.38	65	70	73	90	95	100	115	125	168
2	山口 ミカ	山梨	桂高校	88	71.48	65	68	71	83	83	83	106	113	151
3	永澤 美由紀	京都	加悦谷高校	88	73.14	60	63	66	80	84	89	106	113	147

+75Kg級

1	嶋本 麻美	和歌山	和歌山東高校	87	97.38	80	85	90	100	106	111	125	135	196
2	比呂 真理子	沖縄	豊見城高校	88	83.68	65	67	69	85	87	89	106	113	158
3	大西 はるか	東京	加悦谷高校	88	84.68	62	65	68	84	87	89	106	113	158
4	谷上 望	石川	富田高校	88	81.26	57	60	63	71	75	63	94	101	138
5	須藤 彰子	群馬	利根実業高校	88	89.80	56	58	60	72	75	79	91	98	135

# 第53回関西学生選手権大会

●二日校 平成17年12月2日 [56Kg級~69Kg級]-3日 [77Kg級~+105Kg級] ●羽曳野コロッセム(羽曳野市)

56Kg級

順位	氏名	大学名	生学年	生体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	G&J	トータル
					1	2	3	1	2	3			
1	根智 一平	大阪商業大学	84	64.18	90	95	108	113	120	120	90	113	203
2	岡山 善行	姫路獨協大学	86	55.10	83	85	88	110	110	113	85	113	198
3	成尾 英士	大阪商業大学	85	54.96	80	83	87	108	112	112	83	112	195
4	西川 弘幸	京都産業大学	83	55.94	45	50	50	65	70	70	45	70	115

62Kg級

1	古澤 遼	大阪商業大学	84	61.42	100	105	115	120	125	100	125	135	225
2	岡田 英典	大阪商業大学	84	57.44	95	100	100	122	126	128	95	126	221
3	大河内 佑介	立命館大学	85	61.48	95	100	100	120	120	127	95	120	215
4	長野 和彦	京都産業大学	84	60.08	80	85	87	105	110	115	87	110	197
5	齋藤 裕	大阪商業大学	85	60.20	80	80	85	105	105	108	85	105	190
6	清水 一憲	関西大学	86	60.34	80	85	86	103	103	106	86	103	189
7	吉村 启太	桃山学院大学	85	60.20	70	75	80	95	95	95	75	90	165
8	萩原 泰裕	関西学院大学	84	61.78	63	67	70	83	87	80	67	87	154

69Kg級

1	稲住 昌也	関西大学	86	68.84	101	106	109	125	130	133	109	133	242
2	五百高 正和	大阪商業大学	85	64.52	105	110	115	130	130	135	110	130	240
3	吉本 泰之	大阪商業大学	84	64.10	100	105	108	120	126	131	105	126	231
4	津田 太郎	京都産業大学	85	68.08	90	95	95	115	120	125	95	120	215
5	松本 和哉	京都産業大学	86	64.14	85	90	95	105	110	115	90	115	205
6	橋本 武司	姫路獨協大学	84	66.18	85	90	93	110	115	115	90	110	200
7	石井 裕也	近畿大学	84	68.64	80	85	90	100	110	112	90	110	200
8	大竹 優哉	京都大学	83	68.16	85	85	85	101	108	107	85	101	186
9	森 智彦	関西学院大学	82	65.96	73	78	80	93	98	98	73	98	171

77Kg級

順位	氏名	大学名	生学年	生体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	G&J	トータル
					1	2	3	1	2	3			
1	岡田 光	大阪商業大学	83	76.18	110	115	115	135	140	140	110	135	245
2	河野 智一	大阪商業大学	84	73.24	100	108	113	125	130	135	105	130	238
3	高井 祥吾	立命館大学	84	72.62	100	105	105	120	130	138	105	130	235
4	石井 慎人	関西学院大学	85	72.44	90	95	101	120	125	131	101	131	232
5	大和田 慎也	大阪商業大学	84	76.58	100	100	105	126	131	131	105	126	231
6	大和田 慎也	近畿大学	83	75.40	95	100	105	115	118	118	100	115	215
7	小林 智光	京福大学	81	72.52	95	95	95	100	115	120	95	115	210
8	池本 史武	桃山学院大学	84	75.78	80	85	90	115	120	120	95	115	210
9	兼森 健	京都産業大学	84	75.78	80	85	85	90	115	121	85	101	206
10	松川 彰英	近畿大学	85	77.00	95	98	98	105	110	110	95	105	200
	白川 正也	関西学院大学	84	76.24	50	50	50	65	70	70	50	65	111

85Kg級

1	守崎 翔	関西大学	85	80.10	110	116	121	140	150	155	116	155	271
2	丹崎 雅	大阪商業大学	87	81.58	100	105	108	125	130	135	105	135	240
3	越智 裕樹	京都産業大学	85	80.62	100	100	105	130	135	135	100	135	235
4	塚本 健太	京都産業大学	83	82.92	96	101	105	125	130	130	105	130	235
5	金子 将之	大阪商業大学	85	77.02	105	105	110	120	126	131	105	126	231
6	杉本 智広	桃山学院大学	86	84.04	95	101	101	130	133	134	95	130	225
7	大山 剛史	立命館大学	86	80.22	91	98	98	115	120	125	98	125	221
8	森下 洋介	大阪商業大学	83	83.00	100	100	100	115	120	125	100	120	220
9	伊藤 寛	近畿大学	83	83.10	85	90	90	115	120	125	85	125	210
10	須永 翼	近畿大学	86	84.24	80	85	85	100	105	110	85	110	195
11	近藤 隆	姫路獨協大学	86	80.68	80	85	85	87	113	118	80	113	193
12	宮原 唯	姫路獨協大学	83	82.16	75	80	80	95	97	100	75	112	172
13	米岡 義剛	京都大学	85	80.14	73	73	73	78	95	95	73	113	168
	田中 瑛也	関西学院大学	82	78.80	90	90	90	105	110	113	90	105	112

94Kg級

1	片岡 真志	大阪商業大学	85	92.28	105	110	115	140	145	148	115	148	263
2	中里 剛志	京都産業大学	85	85.02	115	115	120	141	146	148	115	148	261
3	黒田 真司	大阪商業大学	83	89.16	113	118	118	143	148	150	113	148	261
4	川北 亮一	立命館大学	84	89.82	105	110	115	140	145	148	110	148	258
5	森本 徹	大阪商業大学	83	89.88	85	92	100	115	125	130	92	125	217
6	藤井 邦成	桃山学院大学	85	89.28	85	90	90	115	120	125	85	120	205
7	西澤 二郎	桃山学院大学	84	90.82	75	80	80	95	100	105	75	100	175

105Kg級

順位	氏名	大学名	生学年	生体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S	G&J	トータル
					1	2	3	1	2	3			
1	BEN Overkamp	関西大学	82	101.02	130	138	140	161	168	171	140	171	311
2	中井 修樹	大阪商業大学	85	102.06	115	120	125	155	160	165	120	160	280
3	中野 仁志	大阪商業大学	88	94.58	110	115	118	135	140	142	118	140	258
4	村上 勝彦	姫路獨協大学	86	104.88	90	95	95	120	126	130	95	126	221
5	前田 雄彦	関西学院大学	83	96.30	95	100	100	115	120	120	95	120	215
6	足立 真司	桃山学院大学	86	97.16	95	100	100	110	115	115	100	115	215
7	藤田 正和	大阪商業大学	86	103.00	95	95	95	100	120	120	95	120	215
8	濱田 康祐	大阪商業大学	87	94.02	80	85	85	105	110	115	85	110	195

+105Kg級

1	伊藤 敬太	大阪商業大学	84	106.52	123	123	130	150	160	162	130	162	292
2	奥村 章弘	大阪商業大学	87	129.05	115	120	120	155	160	166	120	166	266
3	梶山 大	大阪商業大学	83	109.42	125	125	135	150	160	165	125	160	285
4	狩野 裕樹	京都産業大学	85	123.30	117	120	120	155	155	160	117	160	285

大学対抗得点表

順位	大学名	生 年 体 重										合計得点									
		56Kg	62Kg	69Kg	77Kg	85Kg	94Kg	105Kg	+105Kg	ペ ス ト											
1	大阪商業大学	15 / 1	18 / 1	16 / 1	16 / 1	16 / 1	16 / 1	15 / 1	33 / 2	129 / 8											
2	京都産業大学	12 / 1	12 / 1	21 / 2	3 / 1	15 / 1	15 / 1	15 / 1	4 / 1	82 / 8											
3	関西大学		9 / 1	17 / 1		18 / 1	18 / 1	18 / 1		62 / 6											
4	立命館大学		15 / 1		15 / 1	10 / 2	14 / 1			54 / 5											
5	桃山学院大学	18 / 1	6 / 1	6 / 1	2 / 1	11 / 1	15 / 2	7 / 1	9 / 1	41 / 6											
6	姫路獨協大学		3 / 1	0 / 1	14 / 2	0 / 1	9 / 1			26 / 6											
7	関西学院大学		3 / 1	7 / 2	8 / 2					18 / 5											
8	近畿大学		0 / 1	6 / 1	0 / 1					6 / 3											
9	京都大学									17 / 2											
10	大阪経済大学																				
人数		3	6	8	8	11	5	6	3	50											

2005年インターナショナルフレイトシップトーナメント

●平成17年12月10日[男子56Kg級~77Kg級・女子48Kg級~58Kg級]・11日[男子85Kg級~95Kg級・女子63Kg級~75Kg級]

●群馬武道館(前橋市)

【男子】

56Kg級

順位	氏名	生 年 体 重	ス ナ ッ チ						ク リ ー ン & ジャ ー ク			ペ ス ト		
			1	2	3	1	2	3	S	順	トータル			
1	LI Xiangyu	CHN 87 55.74	109	113	116	130	140	140	140	116	1	140	2	258
2	山田 政晴	JPN 80 55.76	103	106	108	140	146	151	108	2	146	1	254	
3	YANG Chul-Woong	KOR 83 55.78	95	105	105	120	125	130	95	3	125	3	220	

62Kg級

1	XU Xiang	CHN 87 61.82	115	118	120	145	148	153	120	1	153	1	273
2	HWANG Kyu-Dong	KOR 75 61.84	110	117	117	140	147	153	117	3	153	2	270
3	杉内 稔	JPN 83 61.66	112	116	118	135	140	142	118	2	142	3	260

69Kg級

1	FENG Jinghui	CHN 83 68.36	121	125	130	155	160	165	130	1	160	1	290
2	鈴木 正紀	JPN 82 68.04	105	110	110	140	145	150	110	2	145	2	255
3	NOH Young-In	KOR 78 69.00	100	110	110	110	120	130	100	3	130	3	230

77Kg級

1	XUE Diwei	CHN 86 76.80	140	145	150	160	170	181	145	1	181	1	326
2	MUN Hee-Chul	KOR 81 76.84	135	140	140	170	181	182	135	2	181	2	316
3	吉岡 祐司	JPN 84 76.36	100	105	110	100	110	120	110	3	110	3	220

85Kg級

1	Qi Ji	CHN 87 79.20	142	142	176	184	188	188	142	1	184	1	326
2	LEE Kang-Suk	KOR 76 84.02	130	135	140	160	170	183	140	2	183	2	323
3	加山 健太	JPN 83 83.90	125	130	133	165	170	173	130	3	173	3	303

94Kg級

1	LI Bing	CHN 90 93.20	150	151	157	181	190	190	151	1	181	1	332
2	小笠原伸吾	JPN 84 90.92	140	146	150	175	180	180	146	3	180	2	326
3	KIM Hyun-Soo	KOR 81 87.84	130	140	146	165	175	180	146	2	175	3	321

105Kg級

順位	氏名	国 名	生 年	体 重	ス ナ ッ チ						ク リ ー ン & ジャ ー ク			ペ ス ト	
					1	2	3	1	2	3	S	順	トータル		
1	ZHAO Qi	CHN	83	102.88	150	160	160	190	195	200	160	1	200	1	360
2	水田 理	JPN	84	94.42	140	145	148	180	186	188	145	2	188	2	333
3	SIN Jae-Young	KOR	83	94.66	130	140	140	170	175	181	130	3	181	3	311

+105Kg級

1	KIM Dong-Hyun	KOR	80	121.28	150	160	165	190	196	201	165	1	201	1	366
2	末田 和臣	JPN	86	135.06	143	146	148	180	186	186	148	2	180	2	328

【女子】

48Kg級

1	大城 みさき	JPN	84	47.52	75	78	78	90	90	92	78	1	92	1	170
2	SHIN Hye-Jeong	KOR	80	47.84	60	65	68	75	80	82	65	2	80	2	145

53Kg級

1	沼田 洋子	JPN	86	52.72	70	73	75	90	93	93	75	1	93	1	168
---	-------	-----	----	-------	----	----	----	----	----	----	----	---	----	---	-----

58Kg級

1	WU Dan	CHN	91	57.38	85	90	95	105	105	105	90	1	105	1	195
2	KANG Ji-Na	KOR	85	56.88	70	75	75	90	100	102	75	3	102	2	177
3	松本 萌夏	JPN	86	57.86	75	80	80	95	95	100	80	2	95	3	175
4	YUN Ji-Yeon	KOR	85	57.64	65	70	70	85	90	95	70	4	90	4	160

63Kg級

1	TAN Jiangxia	CHN	85	62.36	80	85	88	100	104	110	88	1	110	1	198
2	NA An-Na	KOR	78	62.50	70	76	81	90	100	105	81	2	100	2	181
	島登由實利	JPN	84	62.62	75	75	75	85	90	95	75	3	85	3	160

69Kg級

1	SHEN Xiudi	CHN	82	65.08	80	85	87	105	111	115	87	2	115	1	202
2	GUAN Yan	CHN	92	67.70	85	90	95	100	105	110	90	1	105	3	195
3	宮城 寿子	JPN	83	67.84	83	86	89	107	111	112	86	4	107	2	193
4	WOO Jeong-A	KOR	83	66.62	75	81	86	95	105	107	86	3	95	4	181

75Kg級

1	HAN Hee-Kyoung	KOR	79	74.50	90	95	100	110	115	120	100	1	120	1	220
2	WANG Ying	CHN	86	74.86	85	91	100	110	115	121	91	2	115	2	206
3	真下智恵美	JPN	84	71.06	80	80	83	102	105	107	80	3	107	3	187

+75Kg級

1	DING Yi	CHN	91	105.84	110	110	110	130	135	140	110	1	135	1	245
2	KIM Dong-Ok	KOR	81	106.36	90	95	100	115	125	131	95	2	125	2	220
3	制野 真理	JPN	87	81.86	65	70	75	90	95	96	75	3	90	3	165

## (社) 日本ウエイトリフティング協会賛助会員の募集について

新しい年を迎え、皆様方のますますの御発展と御多幸をお祈り申し上げます。

平素より、当協会の各種事業展開に格別の御高配を賜り感謝申し上げます。

昨年は、世界ジュニア選手権大会において、48 kg級の角田祥子選手が金メダルを獲得いたしました。また、三宅宏実選手は世界選手権の成績により、日本オリンピック委員会よりエリートBに認定されました。男子においても、62 kg級の上地克彦選手が世界ジュニア大会において、銅メダルを獲得する等、ジュニア選手の素晴らしい活躍がありました。

これは、2008年の北京オリンピック大会並びに2016年のロンドンオリンピック大会を目指すうえから大変嬉しい状況でにあり、強化が順調に進んでいると確信するものであります。北京オリンピック大会の選手枠は、2006年及び2007年の両世界選手権の成績により決定される旨の通知が、国際ウエイトリフティング連盟よりありました。

前回より早期に準備する必要に迫られている現状であります。

現在本協会は、ナショナルトレーニングシステムの更なる充実、指導書の作成並びに選手顕彰等について、鋭意準備を進めており、長期的な視野でメダル獲得に向けて強化を推進する所存であります。今後とも、皆様方の御協力をお願い申し上げます。

つきましては、選手強化に伴う財源確保のため、定款第5条・第6条・第7条による賛助会員への加入について、下記により格段の御配慮をお願い致します。

平成18年1月

社団法人 日本ウエイトリフティング協会  
会 長 飛 田 秀 一

### 記

- 1 賛助会員 定款第5条2号 (この法人の事業を援助する個人又は法人)
  - 2 賛助会費 定款第7条2号 (1口10,000円、1口以上)
  - 3 入会手続 ①郵便振替払込取扱票により、最寄りの郵便局で払い込みますと、自動的に入会手続きとなります。  
②直接加入申し込みする場合は、下記までお願いいたします。
- 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内  
(社) 日本ウエイトリフティング協会 TEL03-3481-2359

### 払 込 取 扱 票

00		口座番号	百 十 万 千 百 十 番	金 額	千 百 十 万 千 百 十 円
0	0	1	4	0	4
1	2	9	5	7	6
加入者名 日本ウエイトリフティング協会 賛助会員係				金額 円	特 殊 取 扱
通 信 欄					
おとところ (郵便番号)				受 付 局 日 附 印	
ご依頼人 おなまえ 様 (電話番号)					

名票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(郵政省)  
これより下部には何も記入しないでください。

### 払 込 金 受 領 証

口座番号	0	0	1	4	0	4
	百	十	万	千	百	十
	1	2	9	5	7	6
加入者名	日本ウエイトリフティング協会賛助会員係					
金額	千 百 十 万 千 百 十 円					
ご依頼人	おなまえ 様					
料 金	(消費税込み) 受付局日附印					
特 殊 取 扱	円					

切り取らないで郵便局にお出しください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所印を押してください。

# WEIGHT LIFTING

## 会報2006年1月号 「リフターの声」

このページを切り取って、FAXしていただくか郵送してください。

FAX番号 日本ウエイト協会 03-3481-2394

\* 「ウエイトリフティング会報」に関するご意見・ご希望・取り上げてほしい話題・身近な良い話題など  
どのようなご意見でもお寄せ下さい。

切  
り  
取  
り  
線

\* 今月号で興味深かった記事をあげて下さい。

「 \_\_\_\_\_ 」 「 \_\_\_\_\_ 」 「 \_\_\_\_\_ 」

\* 取り上げてほしい人（ウエイト部内・部外は問いません）

・ 人名又は団体名 \_\_\_\_\_ ・ どんなテーマで取り上げてほしいか

「 \_\_\_\_\_ 」 「 \_\_\_\_\_ 」

\* これから取り上げてほしいテーマは

「 \_\_\_\_\_ 」

住所・電話 〒 \_\_\_\_\_

Tel \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

( \_\_\_\_\_ ) 歳

職業 \_\_\_\_\_

## 記号説明

### 新記録

- WR：世界新記録 (new World Record)  
JWR：ジュニア世界新記録 (Junior new World Record)  
AR：アジア新記録 (new Asian Record)  
JAR：ジュニアアジア新記録 (new Junior Asian Record)  
NR：日本新記録 (new Japan National Record)  
JNR：ジュニア日本新記録 (Junior new Japan National Record)  
UR：大学新記録 (new University Record)  
HR：高校新記録 (new senior Highschool Record)  
MR：中学新記録 (new Middle school Record)  
CR：大会新記録 (new Competition Record)

### タイ記録

- WS：世界タイ記録 (World record Same)  
JWS：ジュニア世界タイ記録 (Junior World record Same)  
AS：アジアタイ記録 (Asian record Same)  
JAS：ジュニアアジアタイ記録 (Junior Asian record Same)  
NS：日本タイ記録 (Japan National record Same)  
JNS：ジュニア日本タイ記録 (Junior Japan National Record Same)  
US：大学タイ記録 (University record Same)  
HS：高校タイ記録 (senior Highschool record Same)  
MS：中学タイ記録 (Middle school record Same)  
CS：大会タイ記録 (Competition record Same)

# ウエイトリフティング No. 93

## (社) 日本ウエイトリフティング協会会報

発行日 平成18年1月

発行者 (社) 日本ウエイトリフティング協会

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育館内

TEL 03-3481-2359

FAX 03-3481-2394

Eメール [weightlifting@japan-sports.or.jp](mailto:weightlifting@japan-sports.or.jp)

編集責任者 篠宮 稔

記録 笠原 達夫

編集長 松尾 謙資

副編集長 野呂記代志

関東地区 宮田 秀樹 関西地区 上田 貢 九州地区 福田登美男



KOSUKE KITAJIMA Swimming



SHINGO SUETSUGU Track & Field



LUKE DONALD Golf



KOSTELIC Skiing



KOJI MURDFUSHI Track & Field



HIDEKI MATSUI Baseball



KOSEI INOUE Judo



ATSUSHI YANAGISAWA Soccer



AI FUKUHARA Table Tennis

## 世界のスポーツシーンを創造する、ミズノ

「より良いスポーツ品とスポーツの振興を通じて社会に貢献する」という理念のもと、グローバルに活動するミズノ。物作りでは、“SOZO STUDIO”という新たな開発コンセプトから、プレーヤーの能力を最大限に引き出す製品の数々が生み出されています。頂点を目指すトップアスリートはもちろん、スポーツを愛するすべての人々への製品提供を通して、ミズノはこれからも世界のスポーツシーンを創造し続けます。

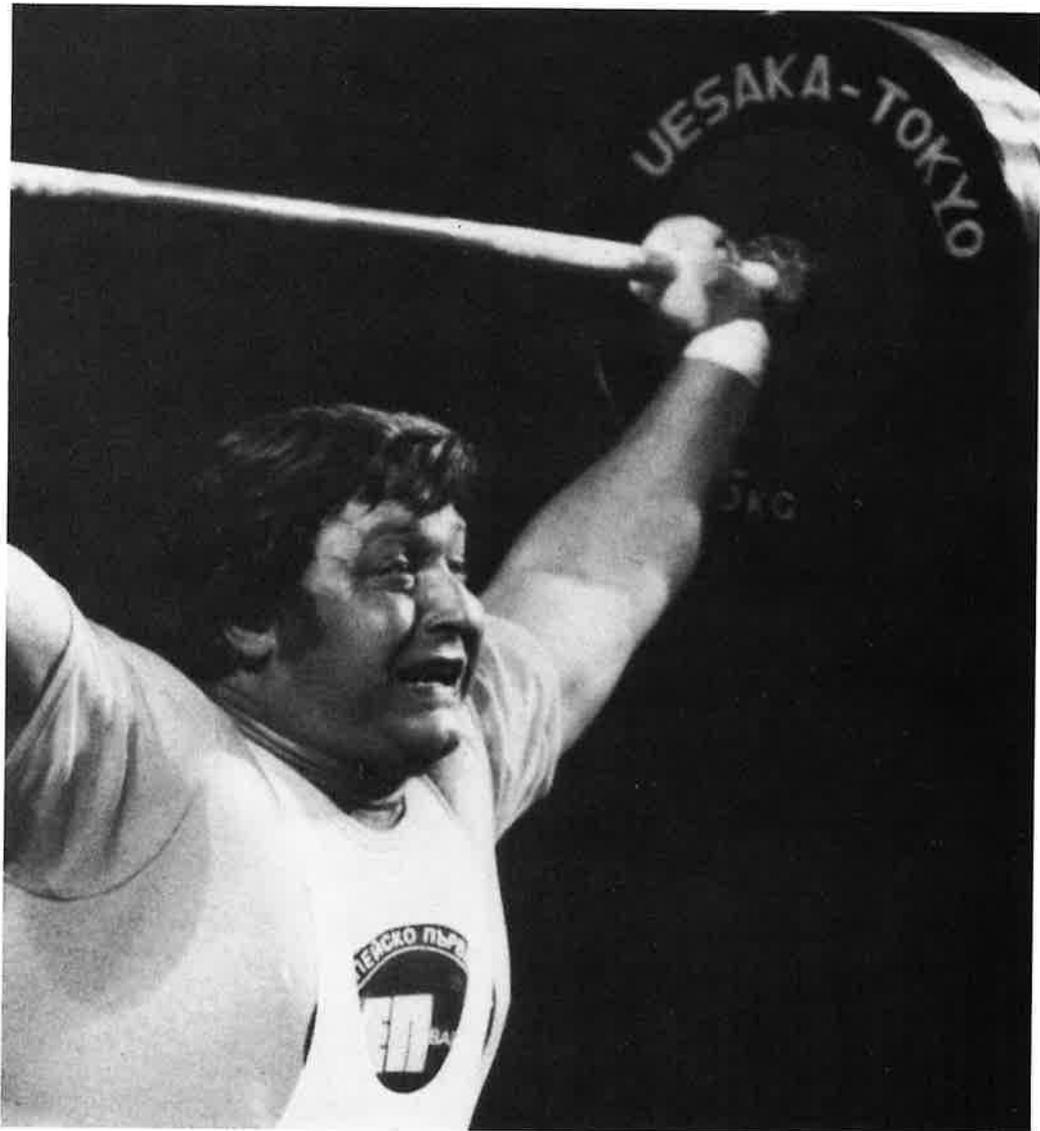


● [www.mizuno.co.jp](http://www.mizuno.co.jp) ● ☎ 0120-320-799

Major League Baseball trademarks and copyright are used with permission of Major League Baseball Properties, Inc.

# UESAKA

## OFFICIAL BARBELL



公認



認定工場

INTERNATIONAL WEIGHTLIFTING  
FEDERATION

国際ウエイトリフティング連盟認定工場  
日本ウエイトリフティング協会公認器具製造販売  
日本アマチュアボクシング連盟  
日本体操協会器械器具  
日本バスケットボール協会施設 検定工場  
日本バドミントン協会  
日本ハンドボール協会  
日本陸上競技連盟検定品製作

製造元



**上坂鉄工所**

本社 〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号  
電話 (03)3622-8171(代表)

販売元

**(株)ウエサカ ティー・イー**

代表取締役 鈴木 義夫

〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号  
TEL (03)3622-8171 FAX (03)3622-8175  
振込銀行 さくら銀行 本所(当)57201